

取扱説明書

RJ-2150

RJ-2140

RJ-2050

RJ-2030

ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書はお読みになったあとも、いつでも参照できるようにしてください。

はじめに

重要なお知らせ

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む（ただし必ずしもこれに限定されない）記載内容によって生じた、いかなる損害（間接損害を含む）についても責任は負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステムによって異なる場合があります。
- 安全に正しくお使いいただけるよう、ご使用になる前に必ず本機に付属されているすべての文書をお読みください。
- 本書に掲載のイラストや画面は、RJ-2150/2140 のものを使用していますが、必要に応じて RJ-2050/2030 も使用しています。

使用可能なマニュアル

本機をご利用するための取扱説明書、および本書の最新版は、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードすることができます。ご利用になる前に、取扱説明書をはじめとするマニュアルをダウンロードして、ご確認いただくようお願いします。

安全にお使いいただくために ^{1 2}	安全情報が記載されています。本機をご使用になる前にお読みください。
基本操作説明書 ^{1 2}	本機の使用についての基本的な情報と、困ったときの詳しい対処方法が記載されています。
取扱説明書 ²	「基本操作説明書」の内容、本機の設定や操作についての追加情報、ネットワーク接続と設定、困ったときの対処方法、お手入れの手順、製品ご使用時の注意事項が記載されています。
AirPrint を用いて印刷するためのご案内 ²	Apple デバイス (iPad、iPhone、iPod など) から AirPrint を使用して印刷する手順が記載されています。
P-touch テンプレートマニュアル ²	P-touch テンプレートについての情報が記載されています。
ラスターコマンドリファレンス ²	本機を直接制御するプリンター制御コマンドについて記載されています。

¹ 同梱されている紙面のマニュアル

² 弊社サポートサイトでは、PDF 形式でマニュアルを公開しています。
弊社サポートサイトからお使いの製品をご選択いただき、「製品マニュアル」の項目を選んでください。

本書で使用されている記号

本書では、以下の記号を使用しています。

 警告	この記号は、傷害を負う可能性のある危険を避ける方法を表しています。
 注意	この記号は、軽傷あるいは本機の故障を避けるために従っていただく手順を表しています。
 重要	この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。
 メモ	この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使用していただくための情報や手順を表しています。

安全上のご注意

 警告	
	航空機内などの使用を禁止された場所では、その指示に従ってください。指示に従わずに使用すると、運行装置に影響を与え、事故の原因となります。
	医療機器の周辺など、特殊な環境でご使用になる場合には、電磁波の問題がないか事前に十分に確認してください。電磁波が影響を与える場合がありますので、利用中の医療機器周辺では、使用を中止してください。
	芳香剤などを付着させないでください。樹脂カバーが変形・溶解して、感電や火災の危険性があります。
	

 注意	
	RD ロールは感熱紙を使用しております。日光・熱・紫外線・風・雨・屋内の照明にさらすとベース地や印刷した文字の色があせたり、ラベルの場合ははがれたりする可能性があります。耐久性を必要とする屋外や屋内での使用に RD ロールを使用しないでください。
	ラベルを貼る場所・材質・環境条件によっては、ラベルがはがれたり、取れなくなったり、変色したり、文字や色が付着したりする可能性があります。ラベルを貼りたい場所の環境条件や材質を確認し、目立たないところにラベルの小片を貼って試してから、ご使用ください。

重要	
■ 本機に貼られているラベル類（操作を示したり、製品番号が記載されたラベル）は、はがさないでください。 ■ ペン等の先が尖ったもので電源スイッチを押さないでください。スイッチや LED が陥没し、故障の原因となります。 ■ DC コネクタまたはミニ USB ポートにケーブルを挿したまま持ち歩かないでください。コネクタやポート部分の故障の原因となります。 ■ 高温多湿・日光・ほこりをさけて保管してください。変色・動作不良の原因となります。	

その他のご注意

プリンター

- Bluetooth 機能および無線 LAN 機能の両方の電源を入れていると、電波干渉により通信速度が低くなることがあります。その場合、Bluetooth 機能が無線 LAN 機能の使っていないほうの電源を切ってください。
- 用紙排出口、電源コネクタまたはミニ USB ポートに物を入れたり、ふさいだりしないでください。
- 本機のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。プリントヘッドとローラーをお手入れする場合にのみ、イソプロピルアルコールまたはエタノールを使用できます。本機の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 長期間ご使用にならないときは、RD ロール（感熱ロール）をはずして保管してください。プリンター内で放置すると、RD ロールの感熱面が変色、劣化するおそれがあります。
- 印刷するときは、ロール紙カバーを必ず閉めてください。
- オプション（別売品）を使用する場合は、そのオプションの取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。
- 本機は感熱紙を使用しております。感熱紙の表面や裏面にペン等で文字を書いたり捺印すると、周囲の印字した文字が消えたり変色したりすることがあります。また、インクが乾くまでに時間がかかります。
印字した文字は、次のものとの接触でも消えたり変色したりします。塩化ビニル製品、財布などの皮革製品、有機化合物（アルコール、ケトン、エステル等）、接着テープ、消しゴム、ゴムマット、マジック、サインペン、修正液、カーボン、糊、ジアゾ感光紙、ハンドクリーム、整髪料、化粧品、雨水、水、汗など。
- 濡れた手で本機に触れないでください。
- 折れ曲がった用紙・濡れた用紙・水滴のついた用紙は使用しないでください。紙詰まりや動作不良の原因となります。
- 濡れた手で用紙やラベルに触れないでください。動作不良の原因となります。

その他のご注意

RD ロール (感熱ロール)

- ブラザー純正品をご使用ください。( このマークが付いています。)
- RD ロールであっても、径のサイズによっては本機でご使用になれないものがあります。対応するロールの種類をお確かめの上、ご購入ください。
- RD ロールを落とさないように注意してください。落下してゴミが付着した場合、ヘッドや搬送機構を痛める原因となります。
- ラベルを貼る場所・材質・環境条件によっては、ラベルがはがれたり、取れなくなったり、変色したり、文字や色が付着したりする可能性があります。ラベルを貼りたい場所の環境条件や材質を確認し、目立たないところにラベルの小片を貼って試してから、ご使用ください。
- ラベルを貼る場所の表面が濡れていたり、汚れていたり、油がついていたりすると、ラベルがはがれやすくなります。表面を拭いてから貼ってください。
- RD ロールは感熱紙を使用しております。日光・熱・紫外線・風・雨・屋内の照明にさらすとベース地や印刷した文字の色があせたり、ラベルの場合ははがれたりする可能性があります。耐久性を必要とする屋外や屋内での使用に RD ロールを使用しないでください。
- 直射日光・高温多湿・ほこりをさけ、冷暗所で保管してください。また、開封したらできるだけはやくご使用ください。
- 印字面を爪や金属で傷つけたり、水・汗・ハンドクリームなどで濡れた手で触れたりしないでください。変色や色あせの原因となります。
- 人・動物・植物にラベルを貼らないでください。また、許可なく公共または私有のものにラベルを貼らないでください。
- RD ロールは、最後の印刷が正常に作成できない場合があります。そのためパッケージ上で記載されているラベル枚数よりも多く含まれています。
- ラベルをはがす際に、ラベルの一部が表面に残る場合があります。
- ラベルは一旦貼り付けると、きれいに剥がすことは難しくなります。

ご注意

- 本製品は購入した国での使用に限り承認されています。本製品は購入した国以外では使用しないでください。その国の無線通信や電力規則に違反する場合があります。
- 本書の **Windows Vista** はすべてのバージョンの **Windows Vista** を表します。
- 本書の **Windows 7** はすべてのバージョンの **Windows 7** を表します。
- 本書の **Windows 8** はすべてのバージョンの **Windows 8** を表します。
- 本書の **Windows 8.1** はすべてのバージョンの **Windows 8.1** を表します。
- 本書の **Windows 10** は、**Windows 10 Home**、**Windows 10 Pro**、**Windows 10 Enterprise**、**Windows 10 Education** を表します。
本書の **Windows 10** は、**Windows 10 Mobile**、**Windows 10 Mobile Enterprise**、**Windows 10 IoTCore** を含みません。
- 本書の **Windows Server 2008** はすべてのバージョンの **Windows Server 2008** と **Windows Server 2008 R2** を表します。
- 本書の **Windows Server 2012** はすべてのバージョンの **Windows Server 2012** と **Windows Server 2012 R2** を表します。
- すべての国ですべてのモデルが利用できるわけではありません。

© 2017 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

第 I 編 基本操作

1	プリンターを設定する	2
	各部の名称.....	2
	液晶ディスプレイ	3
	LED 表示ランプ.....	4
	ボタンの機能.....	5
	リチウムイオン充電電池 (Li-ion 充電電池 : PA-BT-003) を使用する.....	6
	リチウムイオン充電電池を取り付ける	6
	リチウムイオン充電電池を取り外す.....	7
	リチウムイオン充電電池 (Li-ion 充電電池) を充電する	8
	本機で充電する	8
	AC アダプター (別売品 : PA-AD-600) で充電する	9
	カーアダプター (別売品 : PA-CD-600CG) で充電する	9
	専用充電器 (別売品 : PA-BC-002) で充電する	10
	リチウムイオン充電電池の充電を中止する	10
	リチウムイオン充電電池の使用について	10
	本機の電源をオン / オフする	11
	言語を設定する	11
	用紙をセットする	11
	RJ-2150/2140 の場合	11
	RJ-2050/2030 の場合	14
	用紙をカットする	15
	用紙を取り外す	16
	RJ-2150/2140 の場合	16
	RJ-2050/2030 の場合	17
	ベルトクリップを取り付ける	18
	パソコンとモバイル端末にソフトウェアをインストールする.....	19
	利用可能なソフトウェア.....	19
	プリンタードライバとアプリケーションをインストールする (パソコンを使用する場合)	21
	本機とパソコンまたはモバイル端末を接続する	22
	USB で接続する	22
	Bluetooth で接続する (RJ-2150/2050/2030 のみ)	22
	Wi-Fi® で接続する (RJ-2150/2140/2050 のみ)	23
	液晶ディスプレイ	27
	液晶ディスプレイ設定.....	27
2	プリンターを使用する	29
	パソコンから印刷する.....	29
	プリンタードライバで印刷する.....	29
	プリンタードライバのオプションを設定する	30
	モバイル端末から印刷する.....	30

3 プリンターの設定を変更する 31

プリンター設定ツール.....	31
プリンター設定ツールを使用する前に	31
プリンター設定ツールを使用する	32
通信設定	34
設定ダイアログボックス	34
メニューバー	36
全般タブ	39
無線 LAN タブ (RJ-2150/2140/2050 のみ)	43
Wireless Direct タブ (RJ-2150/2140/2050 のみ)	47
Bluetooth タブ (RJ-2150/2050/2030 のみ)	48
複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する	50
本体設定	51
設定ダイアログボックス	51
メニューバー	53
基本設定タブ	55
拡張設定タブ	57
センサー調整タブ	59
画面設定タブ	60
複数のプリンターに設定変更を適用する	61
P-touch Template 設定	62
P-touch Template	62
P-touch Template 設定ダイアログボックス.....	63
用紙サイズ設定	65
用紙サイズ設定ダイアログボックス	65
用紙の形式を配布する	70
モバイル端末から印刷する際に設定を変更する	71

4 その他の機能 72

本体設定情報の印刷	72
マスのストレージ機能	73
内容	73
マスのストレージ機能を使用する	73
JPEG 印刷について	74
データ更新	75

5 お手入れ 76

プリントヘッドのお手入れ.....	76
ローラーのお手入れ	76
用紙排出口のお手入れ.....	77

第 II 編 アプリケーション

6 ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor の使用方法 79

ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor を使用する	79
P-touch Editor を使用する	79
テンプレートデータ作成について	83

テンプレートデータの作成	83
データベースとテンプレートデータをリンクする	86
7 P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法	88
P-touch Transfer Manager を使用する	89
テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する	89
パソコンからプリンターへテンプレートデータやその他のデータを転送する	92
プリンターに保存されたテンプレートデータやその他のデータをバックアップする	97
プリンター内のすべてのデータを削除する	98
BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する	99
P-touch Library を使用する	100
P-touch Library を起動する	100
テンプレートデータを開いて編集する	101
テンプレートデータを印刷する	102
テンプレートデータやその他のデータを検索する	102
8 P-touch Transfer Express でテンプレートデータを転送する	104
P-touch Transfer Express を準備する	105
テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する	106
テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する	107
Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express を利用者に配布する	109
Transfer Package ファイル (.pdz) を プリンターに転送する	110
9 プリンターのソフトウェア更新方法	113
P-touch Editor をアップデートする	113
ファームウェアを更新する	115
 第 III 編 無線ネットワーク (RJ-2150/2140/2050 のみ)	
10 はじめに	118
ネットワーク機能	118
11 プリンターのネットワーク設定を変更する	119
プリンターのネットワーク設定 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ) を変更する	119
BRAdmin Light ユーティリティを使用する	119
その他の管理ユーティリティ	121
ウェブブラウザ (Web Based Management) を使用する	121
BRAdmin Professional ユーティリティを使用する	121
12 ウェブブラウザ (Web Based Management) で管理する	122
概要	122
ウェブブラウザを使用して本機を設定する	123

第 IV 編 付録

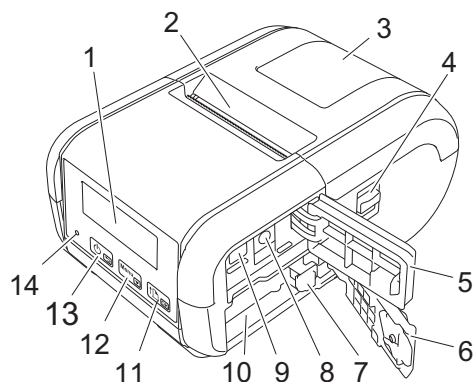
13	製品仕様	125
14	困ったときは	127
	概要	127
	印刷の問題.....	128
	印刷結果の問題	130
	プリンターの問題.....	131
	ネットワーク設定の問題.....	133
	ネットワーク経由で印刷できない インストール完了後、ネットワーク上で本機が見つからない	134
	セキュリティソフトウェアの問題.....	135
	ネットワーク機器の操作を確認する	135
	本機のエラーメッセージ	135
15	サポートされるプロトコルとセキュリティ機能	137
16	ネットワーク用語および情報	138
	ネットワーク接続およびプロトコルの種類	138
	ネットワーク接続方法について	138
	ネットワークの設定について	140
	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて	140
	無線ネットワークの用語と概念	142
	セキュリティ用語	142



基本操作

プリンターを設定する	2
プリンターを使用する	29
プリンターの設定を変更する	31
その他の機能	72
お手入れ	76

各部の名称



- 1 液晶ディスプレイ
- 2 用紙排出口
- 3 ロール紙カバー
- 4 ロール紙カバーオープンレバー
- 5 インターフェースカバー
- 6 充電電池カバー
- 7 充電電池ロック
- 8 DC コネクタ
- 9 ミニ USB ポート
- 10 充電電池収納スペース
- 11  (フィード) ボタン / OK ボタン
(用紙の頭出し、本体設定情報の印刷に使用)
- 12  Menu ボタン / ▼ ボタン
- 13  (電源) ボタン / 戻るボタン (本機の電源オン / オフに使用)
- 14 LED 表示ランプ

液晶ディスプレイ

本機の電源を入ると、液晶ディスプレイに以下のメイン画面が表示されます。



1 更新 アイコン (RJ-2150/2140/2050 のみ)

テンプレートやデータベース等の更新状況を示します。

🔄: 新規データあり

🔄! (点滅): データ更新失敗

🔄? (点滅): サーバーが不通

2 Wireless Direct アイコン (RJ-2150/2140/2050 のみ)

3 無線 LAN アイコン (RJ-2150/2140/2050 のみ)

📶: ネットワークは正しく接続されています。

📶📶📶: 本機がネットワークを検索中です。

4 Bluetooth アイコン (RJ-2150/2050/2030 のみ)

5 電池レベル

電池の残量が表示されます。

■ フル充電: 🔋

■ 半分: 🔋

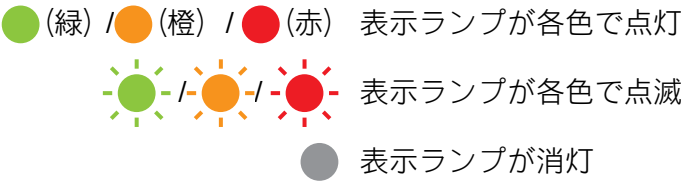
■ 残りわずか: 🔋

■ 充電中: 🔋⚡ 🔋⚡ 🔋⚡

6 プリンターステータス

LED 表示ランプ

LED 表示ランプは点灯や点滅により本機の状態を示します。下記の記号は、本表で使用する LED 表示ランプの色とパターンの意味を示しています。



LED 表示ランプ	内容
	電源オフ 充電完了（電源オフ時）
	充電電池残量：3 分の 1 以上残っている状態 充電完了（電源オン時）
	充電中
	プログラム転送失敗
	充電電池残量：残りわずか
	充電電池残量：空 用紙エラー ロール紙カバーオープンエラー システムエラー マスメモリエラー 通信エラー WPS 接続エラー メモリーフルエラー データベース検索エラー テンプレートなしエラー

ボタンの機能

⏻(電源) ボタン / ⬅(戻る) ボタンの機能	操作
電源を入れる	本機の電源が切れている状態で、液晶ディスプレイのバックライトがオンになるまで、⏻(電源) ボタンを長押しします。
電源を切る	電源が入っている場合は、液晶ディスプレイに「電源オフ」というメッセージが表示されるまで、⏻(電源) ボタンを長押しします（「本体設定」で [オートパワーオフ] 機能が有効になっている場合は、選択された時間が経過すると自動的に電源が切れます。）
本機をマスのストレージモードで起動する	[Menu] ボタンを押しながら、このボタンを長押しすると、本機はマスのストレージモードで起動します（「マスのストレージ機能」 (73 ページ)）をご覧ください。

Menu ボタン / ▼ ボタンの機能	操作
メニューの選択モードを開始する	電源が入っている状態で、[Menu] ボタンを押します。
メニュー項目を選択する	メニューを表示させて、▼ ボタンを押すと、項目が切り替わります。
マスのストレージ領域に保存されたファイルを実行する	本機がマスのストレージモードで動作しているときに、このボタンを押すと、マスのストレージ領域に保存したコマンドファイルを実行できます（「マスのストレージ機能」 (73 ページ)）をご覧ください。

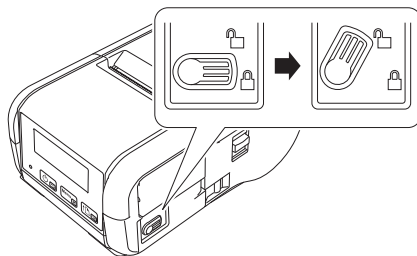
⬆(フィード) ボタン / OK ボタンの機能	操作
用紙を送る	用紙の種類が [ダイカットラベル] (RJ-2150/2140 のみ) または [マーク付きメディア] に設定されている場合： ⬆(フィード) ボタンを押すと、用紙が印刷位置まで自動的に送られます。 用紙の種類が [長尺テープ] に設定されている場合： ⬆(フィード) ボタンを押すと、用紙が送られます。
本体設定情報を印刷する	用紙がセットされていることを確認し、⬆(フィード) ボタンを長押しします。本体設定情報の印刷が開始されます（「本体設定情報の印刷」 (72 ページ)）をご覧ください。
選択した項目を確定する	表示されているメニュー項目を、[OK] ボタンを押して確定します。
Bluetooth 自動再接続機能の有効・無効を切り替える	1 [Menu] ボタンを押して [Bluetooth] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。 2 [オン] または [オフ] を選択した状態で、画面が切り替わるまで [OK] ボタンを押し続けます。

リチウムイオン充電電池（Li-ion 充電電池：PA-BT-003）を使用する

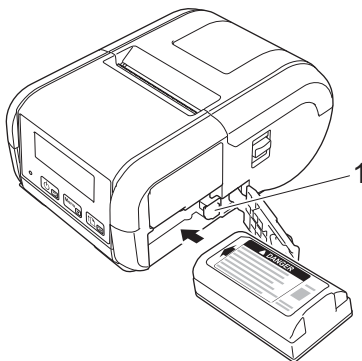
1

リチウムイオン充電電池を取り付ける

- 1 充電電池カバーのロックを外し、充電電池カバーを開けます。

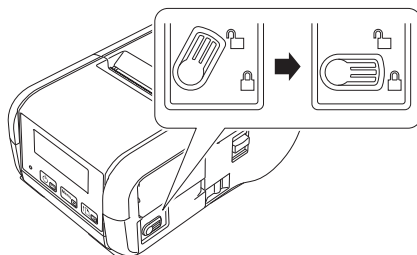


- 2 充電電池を充電電池ロックがかかるまで、充電電池収納スペースに挿入します。図のように充電電池の端子が奥側になっていて、正しい向きであることを確認します。また、充電電池を取り付ける際には、無理な力を加えないでください。



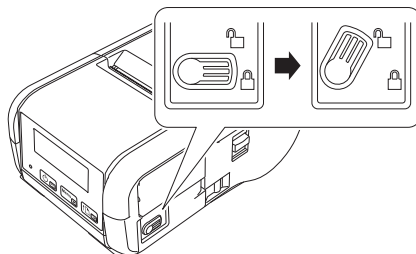
1 充電電池ロック

- 3 充電電池カバーを閉めて、カバーのロックをかけます。

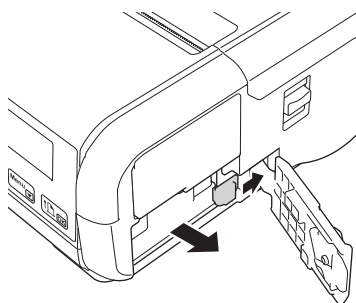


リチウムイオン充電電池を取り外す

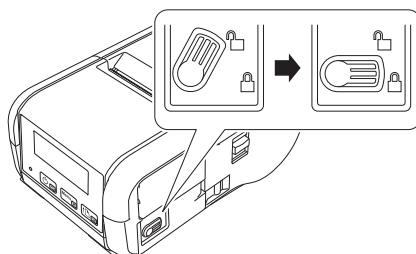
- 1 充電電池カバーのロックを外し、充電電池カバーを開けます。



- 2 電池ロックを押しながら、充電電池を取り出します。



- 3 充電電池カバーを閉めて、カバーのロックをかけます。



リチウムイオン充電池（Li-ion 充電池）を充電する

本機で充電する

1

リチウムイオン充電池（PA-BT-003）を充電するには、本機に充電池を取り付けて、次の手順に従ってください。



メモ

- 充電池は、使用する前に、次の手順に従って充電してください。
- 電池残量により印刷速度が変わることがあります。

- 1 充電池が本機に取り付けられていることを確認します。
- 2 本機に対応の AC アダプターと電源コードを使用して、本機を電源コンセントに接続します（「AC アダプター（別売品：PA-AD-600）で充電する」（9 ページ）をご覧ください）。または本機に対応のカーアダプターを使用して、本機を電源コンセントに接続します（「カーアダプター（別売品：PA-CD-600CG）で充電する」（9 ページ）をご覧ください）。

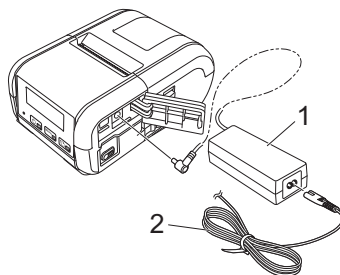


メモ

充電中は、LED 表示ランプがオレンジ色に点灯します。
充電が完了すると、LED 表示ランプが消灯（電源がオフの場合）、または緑色に点灯（電源がオンの場合）します。DC コネクタから、AC アダプターまたはカーアダプターを抜いてください。

AC アダプター（別売品：PA-AD-600）で充電する

- 1 充電電池が本機に取り付けられていることを確認します。
- 2 インターフェースカバーを開いて、AC アダプターを本機に接続します。
- 3 電源コードを AC アダプターに接続します。
- 4 電源コードを電源コンセントに接続します（AC100V ～ 240V、50 ～ 60Hz）。



1 AC アダプター

2 電源コード



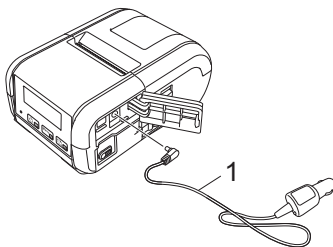
メモ

電源コードと AC アダプターは、別売品です。

カーアダプター（別売品：PA-CD-600CG）で充電する

車の 12V 電源コンセント（シガーソケットライター部など）に本機を接続して、充電電池を充電します。

- 1 充電電池が本機に取り付けられていることを確認します。
- 2 カーアダプターを車の 12V 電源コンセントに接続します。
- 3 インターフェースカバーを開いて、カーアダプターを本機に接続します。



1 カーアダプター



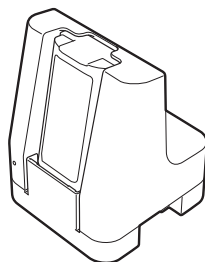
メモ

カーアダプターは、別売品です。

専用充電器（別売品：PA-BC-002）で充電する

電源コンセントを使用する場合、最大 4 台のリチウムイオン充電電池（Li-ion 充電電池）専用充電器を接続して同時に充電できます。

詳しくは、リチウムイオン充電電池（Li-ion 充電電池）専用充電器に付属の説明書をご覧ください。



リチウムイオン充電電池の充電を中止する

充電電池の充電を停止するには、AC アダプターのコードを抜くか、またはカーアダプターを DC コネクターから抜いてください。

リチウムイオン充電電池の使用について

- 濃度設定を濃くして印刷すると、薄い設定よりも早く充電電池を消耗します。印刷濃度はプリンター設定ツールで設定できます（「本体設定」（51 ページ）をご覧ください）。
- 充電電池の充電可能な温度範囲は 0°C ～ 40°C です。この範囲外の温度環境では充電は中止されます。温度環境が充電可能な温度範囲（0°C ～ 40°C）に戻ると、充電を再開します。
- 本機は、充電電池が取り付けられ、AC アダプター、またはカーアダプターも接続された状態で操作を行うと、満充電になっていなくても一時的に充電を停止することがあります。

リチウムイオン充電電池の特性について

充電電池の性能を最大限に発揮し、長くご利用いただくために、次の点にご注意ください：

- 極端に高温や低温になる場所で充電電池を使用したり保管しないでください。充電電池の劣化が早くなる場合があります。
- 本機を長期間保管するときは、充電電池を取り外してください。
- 充電電池は、50% 未満の充電状態にして、直射日光の当たらない涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 充電電池を長期間保管する場合は、6ヶ月に一度充電してください。
- 充電電池の充電中に手を触れると、機器が暖かくなっていることがあります。これは正常な動作で、機器は安全にお使いいただけます。本機が極端に熱くなった場合は、使用を中止してください。
- その他の注意事項については、「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

本機の電源をオン / オフする

オン：液晶ディスプレイのバックライトがオンになるまで、**⏻** (電源) ボタンを長押しします。

オフ：液晶ディスプレイに「電源オフ」というメッセージが表示されるまで、**⏻** (電源) ボタンを長押しします。

1

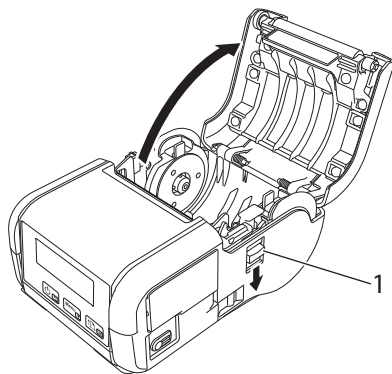
言語を設定する

- 1 **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを使用して **[本体設定]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 2 **[言語]** を選択して、**[OK]** ボタンを押します。
- 3 言語を選択して **[OK]** ボタンを押します。

用紙をセットする

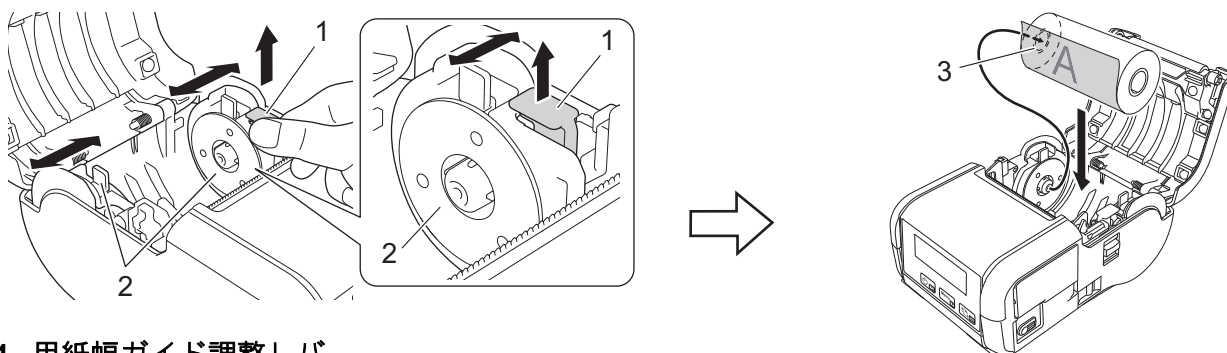
RJ-2150/2140 の場合

- 1 図のようにロール紙カバーオープンレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。



1 ロール紙カバーオープンレバー

- ② 用紙幅ガイド調整レバーを持ち上げ、両側の用紙幅ガイドを外側に引いて、用紙幅ガイドを開きます。
図のように、印刷面が下になるように用紙をロール紙収納スペースにセットします。

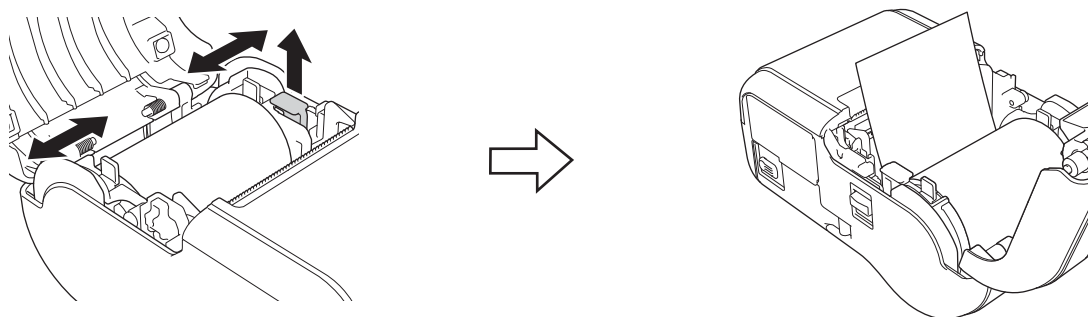


- 1 用紙幅ガイド調整レバー
2 用紙幅ガイド
3 印刷面（ロール紙外側）

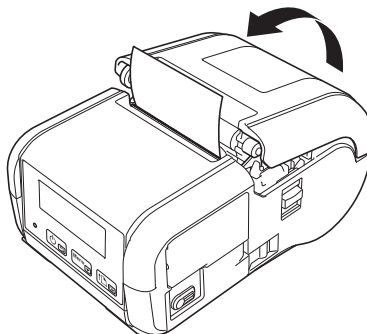
❗ 重要

- 用紙が横にずれないように、両側の用紙幅ガイドの位置を確認してください。
- 正しく印刷するには、図のように熱に反応する面がロールの外側になるようにセットしてください。

- ③ 用紙幅ガイド調整レバーを引き上げながら、用紙幅に合わせて用紙幅ガイドを両側から押します。用紙がロール紙収納スペース内にまっすぐ納まるようにセットします。



- 4 ロール紙カバーの中央をカチッと音がするまで押して、カバーを閉じます。



メモ

ダイカットラベル（RJ-2150/2140 のみ）を使用する場合は、用紙をセットした後、（フィード）ボタンを押します。ラベルが、正しい開始位置に配置されます。

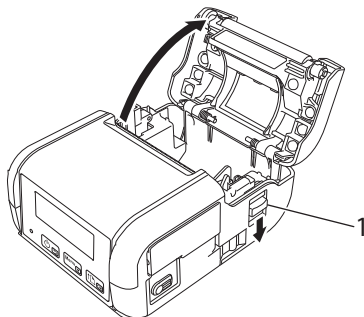


重要

用紙は、弊社の純正品をご使用ください。

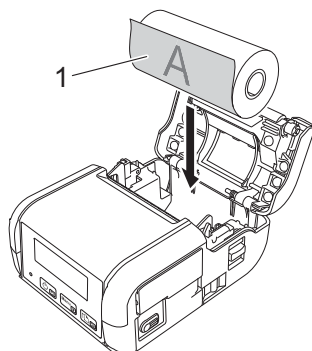
RJ-2050/2030 の場合

- 1 図のようにロール紙カバーオープンレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。



1 ロール紙カバーオープンレバー

- 2 図のように、印刷面が下になるように用紙をロール紙収納スペースにセットします。

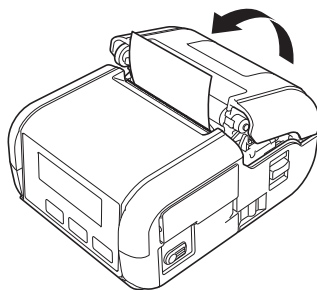


1 印刷面（ロール紙外側）

❗ 重要

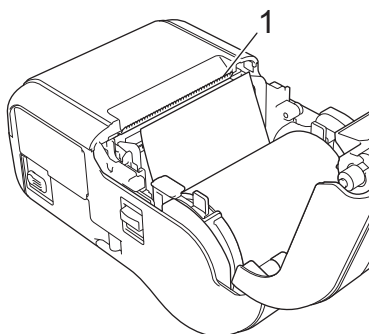
正しく印刷するには、図のように熱に反応する面がロールの外側になるようにセットしてください。

- 3 ロール紙カバーの中央をカチッと音がするまで押して、カバーを閉じます。



用紙をカットする

用紙は、本機のティアバーでカットできます。排紙された用紙の端を、もう一方の端に向かって斜めに引き上げます。



1 ティアバー

警告

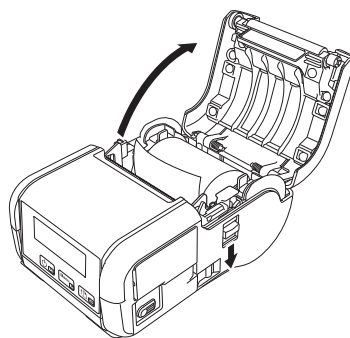
ティアバーは先端が尖っています。直接手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

用紙を取り外す

RJ-2150/2140 の場合

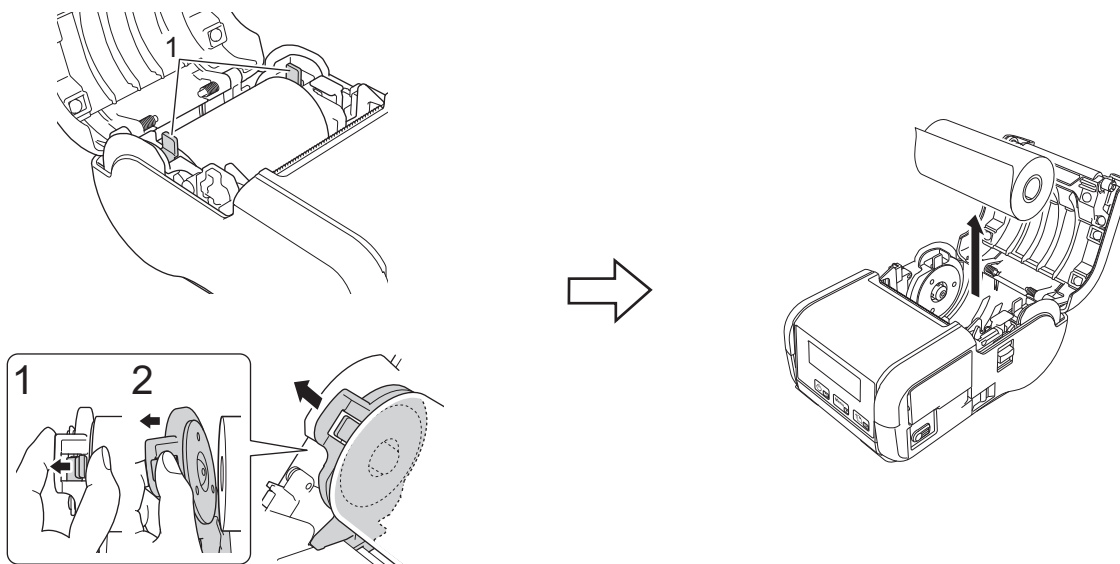
1

- 1 図のようにロール紙カバーオープンレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。



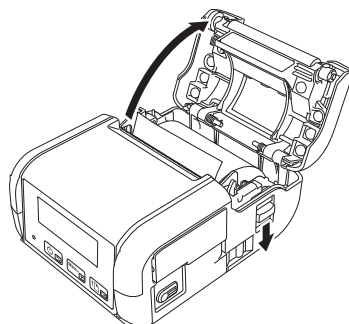
- 2 用紙リリースレバーを押しながら、片方の用紙幅ガイドを少し傾け、用紙を取り外します。用紙は、用紙幅ガイドの位置を変えずに取り出すことができます。用紙幅ガイドを強い力で傾けすぎないでください。用紙幅ガイドが破損する恐れがあります。

1 用紙リリースレバー

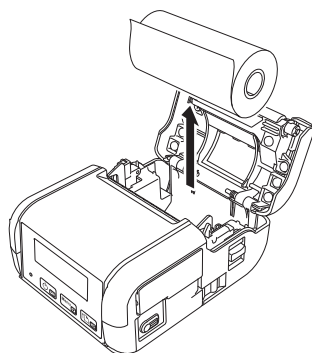


RJ-2050/2030 の場合

- 1 図のようにロール紙カバーオープンレバーを引いて、ロール紙カバーを開けます。



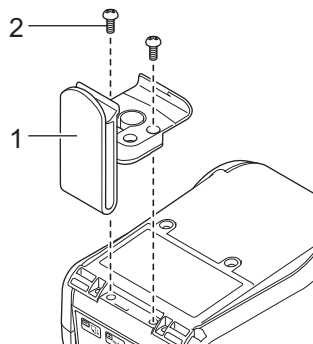
- 2 用紙を取り出します。



ベルトクリップを取り付ける

本機を携帯して使用する場合、付属のベルトクリップを取り付けてベルトに固定することができます。本機をベルトに取り付けるには、次の手順に従ってください。

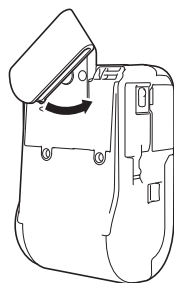
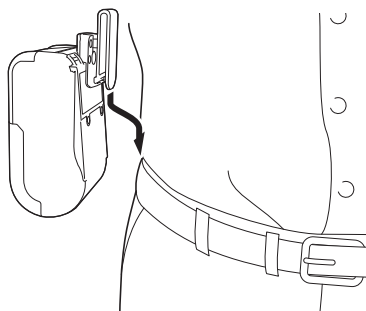
- 1 図のように、ベルトクリップを本機の背面にネジで固定します。



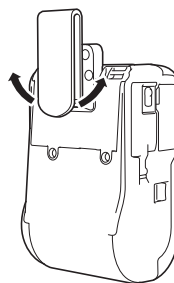
1 ベルトクリップ

2 ネジ

- 2 クリップをベルトにつけます。



クリップ部を図のように回してロックをします。



クリップ部を右もしくは左に回して、ロックを解除します。

❗ 重要

ベルトクリップが本機とベルトにしっかり固定されていることを確認します。ベルトクリップがしっかり固定されていないと、本機が落下し、破損したり、ケガをするおそれがあります。

パソコンとモバイル端末にソフトウェアをインストールする

使用するプリンターのモデルや印刷するパソコン、携帯端末により、複数の印刷方法が利用できます。必要に応じて、次の表を参照し、パソコンや携帯端末に他のアプリケーションをインストールしてください。

1

利用可能なソフトウェア

パソコンの場合

本機をパソコンに接続するため、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

ソフトウェア			RJ-2150	RJ-2140	RJ-2050	RJ-2030	機能
1	プリンタードライバー		✓	✓	✓	✓	—
2	プリンター設定ツール	通信設定	✓	✓	✓	✓	本機の通信設定と本体設定をパソコンから指定できます。
		本体設定	✓	✓	✓	✓	
		P-touch Template 設定ツール	✓	✓	✓	✓	P-touch Template 設定を構成できます。 P-touch Template は、デバイス（本機に接続したバーコードリーダーなど）からのデータを、本機に保存したレイアウトのテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能です。テンプレートやバーコードを印刷するのに役立ちます。
3	P-touch Editor		✓	✓	✓	✓	特別な文書进行設計し、テンプレートデータを保存し、データベースに接続し、ラベルとタグの大きなライブラリーを使用することができます。
4	P-touch Transfer Manager		✓	✓	✓	✓	P-touch Editor で作成したファイルを本機に転送し、本機のメモリーにファイルを保存できます。パソコンに接続することなく、本機のメモリーからファイルを印刷できます。
5	Transfer Express		✓	✓	✓	✓	文書进行本機に転送できます。
6	P-touch Update Software		✓	✓	✓	✓	ファームウェアとソフトウェア进行更新できます。

ソフトウェア		RJ-2150	RJ-2140	RJ-2050	RJ-2030	機能
7	BRAdmin Professional	✓	✓	✓	—	BRAdmin Professional は、BRAdmin Light よりもパワフルなネットワークプリンター管理機能を装備しています。ご使用のネットワーク接続プリンターの状態を設定およびチェックし、ネットワーク経由でテンプレートデータをプリンターに転送できます。
8	BRAdmin Light	✓	✓	✓	—	ネットワーク接続されたプリンターの初期設定を構成できます。
9	BRAgent	✓	✓	✓	—	別のセグメント*のプリンターを管理し、BRAdmin Professional がインストールされているパソコンにデータを送信できます。 *セグメントは1台のルーターが管理するエリアです。
10	Web Based Management	✓	✓	✓	—	標準のウェブブラウザを使用して、HTTP でネットワーク上のプリンターを管理できます。

モバイル端末の場合

ソフトウェア		RJ-2150	RJ-2140	RJ-2050	RJ-2030	機能
1	Mobile Transfer Express	✓	✓	✓	✓ (Androidのみ)	Mobile Transfer Express は、P-touch Transfer Manager (Windows バージョン) を使用して準備したファイル (テンプレートデータ、データベース、および画像) を、携帯端末を使用して本機に転送できるアプリケーションです。
2	AirPrint (Apple デバイスの場合)	✓	✓	✓	—	AirPrint を使用すると、追加のアプリケーションをインストールせずに、Apple デバイス (iPad、iPhone、iPod など) から印刷できます。
3	Web Based Management	✓	✓	✓	—	標準のウェブブラウザを使用して、HTTP でネットワーク上のプリンターを管理できます。
4	プリント サービス プラグイン (Android のみ)	✓	✓	✓	✓	プリント サービス プラグインを使用すると、追加のアプリケーションをインストールせずに、Android から印刷できます。

ソフトウェア開発キット (SDK) もご利用いただけます。

弊社の「開発者ツール」サイト (<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall>) にアクセスしてください。

プリンタードライバーとアプリケーションをインストールする（パソコンを使用する場合）

お使いのパソコンから印刷するには、プリンタードライバー、P-touch Editor、その他のアプリケーションをパソコンにインストールする必要があります。

- 1 弊社のウェブサイト（install.brother）にアクセスし、ソフトウェアのインストーラーと製品マニュアルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードした **.exe** ファイルをダブルクリックし、画面の手順に従ってインストールを行います。インストーラーのソフトウェア選択ウィンドウで、インストールするソフトウェアを選択します。

本機とパソコンまたはモバイル端末を接続する

本機を接続するには、次のような方法があります：

■ USB で接続する

「USB で接続する」（22 ページ）をご覧ください。

■ Bluetooth で接続する

「Bluetooth で接続する（RJ-2150/2050/2030 のみ）」（22 ページ）をご覧ください。

■ Wi-Fi® で接続する

「Wi-Fi® で接続する（RJ-2150/2140/2050 のみ）」（23 ページ）をご覧ください。

USB で接続する

- 1 USB ケーブルを接続する前に、本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 USB ケーブルのプリンター側を本機側面のミニ USB ポートに接続します。
- 3 USB ケーブルのホスト側をパソコンの USB ポートに接続します。
- 4 本機の電源を入れます。

Bluetooth で接続する（RJ-2150/2050/2030 のみ）



メモ

Bluetooth を搭載した機器（パソコン、モバイル機器）や Bluetooth アダプターのメーカーの推奨に従って、必要なハードウェアとソフトウェアをインストールしてください。

Bluetooth 管理ソフトウェアを使用して、次の手順に従って、本機とパソコンのペアリングを行います。

- 1 **[Menu]** ボタンを押して、**[Bluetooth]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
[オン] を選択します
- 2 お使いの Bluetooth 機器の管理ソフトウェアを使用して本機を検索します。
Bluetooth 通信が開始されます。



メモ

本機のネットワーク設定は、通信設定を使用して変更することもできます（「通信設定」（34 ページ）をご覧ください）。

Wi-Fi® で接続する (RJ-2150/2140/2050 のみ)

次の Wi-Fi 接続方法がご利用いただけます。

- Wireless Direct
- インフラストラクチャモード
- インフラストラクチャモード + Wireless Direct
- アドホックモード (アドホックモードの設定は、プリンター設定ツールを使用して行います (「プリンターの設定を変更する」 (31 ページ) をご覧ください)。 (アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。))
- WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

Wireless Direct

Wireless Direct を使用すると、無線 LAN アクセスポイント/ルーターを使用しないで本機をパソコンまたは携帯端末に直接接続できます。本機は無線 LAN アクセスポイントとして機能します。

1 本機の Wireless Direct 設定を確認します。

■ 本機の場合

- 1 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 2 **[▼]** ボタンを押して、**[モード選択]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 3 **[WirelessDirect]** を選択し、**[OK]** ボタンを押します。Wireless Direct アイコンが本機の液晶ディスプレイに表示されます。

■ パソコンの場合

USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。パソコンのプリンター設定ツールを起動し、**[通信設定]** ボタンをクリックします。**[全般]** タブの **[インターフェイスの選択]** で **[Wireless Direct]** が選択されていることを確認します。

通信設定の詳細については、「通信設定」 (34 ページ) をご覧ください。

2 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。 **[オン/オフ]** メニューを選択し、**[オン]** に設定します。

3 パソコンや携帯端末で本機の SSID (「DIRECT-*****RJ-XXXX」) を選択します。必要に応じて、パスワード (RJ-2150 の場合: 「215*****」、RJ-2140 の場合: 「214*****」、RJ-2050 の場合: 「205*****」。「*****」は、製品シリアル番号の下 5 桁です) を入力します。

メモ

- ・プリンター設定ツールを使用して、本機のネットワーク設定を変更できます (「プリンターの設定を変更する」 (31 ページ) をご覧ください)。
- ・プリンター設定ツールを使用すると、複数のプリンターにネットワーク設定の変更を適用できます。 (「複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する」 (50 ページ) をご覧ください。)

- シリアルナンバーラベルは、プリンターの背面にあります。
本体設定情報を印刷することで、シリアルナンバーを確認することもできます（「本体設定情報の印刷」（72 ページ）をご覧ください）。
- 本機が **Wireless Direct** の使用中は、**Wi-Fi** 経由でインターネットに接続することはできません。インターネットを使用するには、インフラストラクチャモードで接続します。

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、本機を無線 LAN アクセスポイント / ルーター経由でパソコンまたは携帯端末に接続できます。

■ 開始する前に

無線 LAN アクセスポイント / ルーターと通信するように、本機の **Wi-Fi** 設定を構成する必要があります。本機を設定した後、ネットワーク上のパソコンや携帯端末は本機にアクセスできるようになります。

❗ 重要

- 本機をネットワークに接続する場合、インストールする前にシステム管理者に問い合わせることを推奨します。このインストールを続行する前に、**Wi-Fi** 設定を確認する必要があります。
- **Wi-Fi** 設定を再び構成する、または本機の **Wi-Fi** 接続の状態が不明な場合、本機の **Wi-Fi** 設定をリセットします。
 - 1  (電源) ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。
 - 2  (フィード) ボタンと  (電源) ボタンを同時に約 3 秒間長押しします。LED 表示ランプが緑色に点滅し始めます。
 - 3  (電源) ボタンを押したまま、 (フィード) ボタンを 2 回押します。
 - 4  (電源) ボタンを離します。

メモ

通常の文書印刷で最良の結果を得るには、本機をできるだけ無線 LAN アクセスポイント / ルーターの近くで使用し、障害物を最小限にします。2 台のデバイス間に大きな物体や壁があったり、他の電子機器からの干渉があったりすると、文書のデータ転送速度が影響を受けます。

■ 本機を無線 LAN アクセスポイント / ルーターに接続する

- ① 無線 LAN アクセスポイント / ルーターの **SSID** (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を書き留めます。
- ② USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。
- ③ 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
[オン / オフ] メニューを選択し、**[オン]** に設定します。

4 本機のインフラストラクチャモード設定を構成します。

■ 本機の場合

- 1 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 2 **[▼]** ボタンを押して、**[モード選択]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 3 **[インフラストラクチャ]** を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

■ パソコンの場合

パソコンのプリンター設定ツールを起動し、**[通信設定]** をクリックします。**[全般]** タブの **[インターフェイスの選択]** で **[無線 LAN]** を選択し、**[無線 LAN]** タブの **[無線設定]** の **[接続モード]** で **[インフラストラクチャ]** を選択します。

通信設定の詳細については、「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。

- 5 パソコンのプリンター設定ツールを起動し、**[通信設定]** をクリックします。**[無線 LAN]** タブの **[無線設定]** を選択します。
書き留めた SSID を入力する、または **[検索]** をクリックして表示されたリストから SSID を選択します。

- 6 **[PSK (事前共有キー)]** にパスワードを入力します。



メモ

必要な情報は、認証方法と暗号化モードによって異なります。ご使用のネットワーク環境に関連した情報のみを入力してください。

- 7 **[設定]** をクリックします。
本機と無線 LAN アクセスポイント/ルーターの間で接続が確立したら、無線 LAN アイコン (📶) が本機の液晶ディスプレイに表示されます。



メモ

- 他のネットワーク設定を変更するには、プリンター設定ツールを使用してください (「プリンターの設定を変更する」(31 ページ) をご覧ください)。
- 携帯端末を無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続するには、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID を選択し、パスワードを入力する必要があります。

インフラストラクチャモード + Wireless Direct

インフラストラクチャモードと Wireless Direct は同時に使用できます。

■ 本機の場合

- 1 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 2 **[▼]** ボタンを押して、**[モード選択]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 3 **[両モード有効]** を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

■ パソコンの場合

- 1 パソコンのプリンター設定ツールを起動し、**[通信設定]** をクリックします。
- 2 **[全般]** タブの **[通信設定]** の **[インターフェイスの選択]** で **[インフラストラクチャと WirelessDirect]** を選択します。
通信設定の詳細については、「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。

WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS に対応している場合は、設定や接続が簡単に行えます。

- 1 無線 LAN アクセスポイント/ルーターに WPS 記号があることを確認します。



- 2 本機を無線 LAN アクセスポイント/ルーターの範囲内に置きます。この範囲は環境によって異なります。無線 LAN アクセスポイント/ルーターに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 3 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押します。
- 4 本機で **[Menu]** ボタン、**[▼]** ボタンを押して、**[無線 LAN]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 5 **[▼]** ボタンを押して、**[WPS]** メニューを選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- 6 **[する]** を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

接続が確立されると、無線 LAN アイコン (📶) が本機の液晶ディスプレイに表示されます。本機と同じネットワーク上にあるパソコンとモバイル端末が本機にアクセスできるようになります。



メモ

本機は WPS を使用して接続を 2 分間試みます。この間に、**[Menu]** ボタンを押すと、本機はさらに 2 分間接続を試みます。

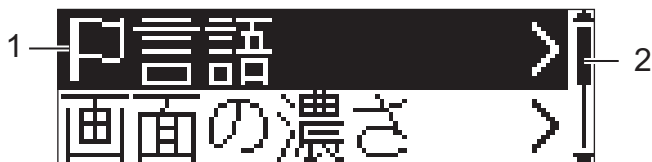
液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイ設定

本機または、本機に接続されたパソコンのプリンター設定ツールを使用して、液晶ディスプレイの設定を行うことができます。パソコンの接続や設定について、詳しくは「プリンターの設定を変更する」(31 ページ) をご覧ください。

本機で設定する

[Menu] ボタン、[▼] ボタンを押してメニューを選択し、[OK] ボタンを押します。[▼] を押してオプションを選択し、[OK] ボタンを押します。



- 1 現在選択されているオプションが反転表示されます。
- 2 スクロールバーは、最初の設定項目を上向き矢印で、最後の設定項目を下向き矢印で示します。最後の設定項目が選択されている場合、[▼] を押すと最初の設定項目にスクロールします。

用紙設定を表示する

- 1 [Menu] ボタン、[▼] ボタンを押して、[用紙設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。

画面の濃さを設定する

- 1 [Menu] ボタン、[▼] ボタンを押して、[本体設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
- 2 [画面の濃さ] を選択し、[OK] ボタンを押します。好みの濃さを選択し、[OK] ボタンを押します。

ブザー音を設定する

本機のボタンを押す際に、操作音を鳴らすかどうかを選択します

- 1 [Menu] ボタン、[▼] ボタンを押して、[本体設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
- 2 [ブザー音] を選択し、[OK] ボタンを押します。ブザー音を鳴らすかどうかを選択し、[OK] を押します。

データ更新をする (RJ-2150/2140/2050 のみ)

FTP サーバーに接続して、テンプレートやデータベース等の更新ファイルをダウンロードします。事前にプリンター設定ツールの「通信設定」で、FTP サーバーの情報を設定してください。詳しくは、「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。

この項目は、FTP サーバーの設定がされていて、更新ファイルがあるときに表示されます。

- 1 [Menu] ボタン、[▼] ボタンを押して、[データ更新] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
- 2 [する] を選択し、[OK] ボタンを押します。
更新を開始すると、液晶ディスプレイに「転送中」または「ダウンロード中」と表示されます。

パソコンから印刷する

プリンタードライバで印刷する

- 1 印刷する文書を開きます。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 USB、Bluetooth、または Wi-Fi を使用して本機をパソコンに接続します（「本機とパソコンまたはモバイル端末を接続する」（22 ページ）をご覧ください）。
- 4 用紙をセットします。



メモ

必要に応じて、プリンタードライバのダイアログボックスまたはプリンター設定ツールのプリンター設定を変更します（「プリンターの設定を変更する」（31 ページ）をご覧ください）。

- 5 アプリケーションから印刷します。
液晶ディスプレイに「印刷中」と表示されます。印刷が終わると、印刷開始前のモードに戻ります。
- 6 本機の電源を切ります。



メモ

- 本機の電源を切る場合は、液晶ディスプレイ がオフになるまで、充電池を取り外したりしないでください。
- プリンタードライバを使用せずに JPEG 画像を印刷する場合は、「JPEG 印刷について」（74 ページ）をご覧ください。

印刷濃度を設定する

印刷濃度は、[本体設定] で設定できます（「本体設定」（51 ページ）をご覧ください）。

充電池を使用する場合は、印刷濃度の設定を変更すると、印刷速度や 1 回の充電で印刷できるページ数が若干変更される可能性があります。

プリンタードライバーのオプションを設定する

プリンタードライバー画面で、用紙サイズ、印刷部数など様々な設定ができます。

メモ

プリンター設定ツールを使用して、詳細な設定もできます（「プリンターの設定を変更する」（31 ページ）をご覧ください）。

2

モバイル端末から印刷する

AirPrint を使用して、モバイル端末から印刷できます（RJ-2150/2140/2050 のみ）。

詳細については、「AirPrint を用いて印刷するためのご案内」をご覧ください。弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスし、ガイドをダウンロードしてください。

[製品から探す] - [製品マニュアル]

ソフトウェア開発キット（SDK）もご利用いただけます。

弊社の「開発者ツール」サイト (<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall>) にアクセスしてください。

プリンター設定ツール

プリンター設定ツールを使用すると、本機の通信設定、本体設定、P-touch Template 設定、および用紙サイズ設定をパソコンから指定できます。



メモ

プリンター設定ツールは初期インストーラーを使用すると、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。「パソコンとモバイル端末にソフトウェアをインストールする」(19 ページ) をご覧ください。



重要

プリンター設定ツールは、対応したプリンターでのみご利用いただけます。

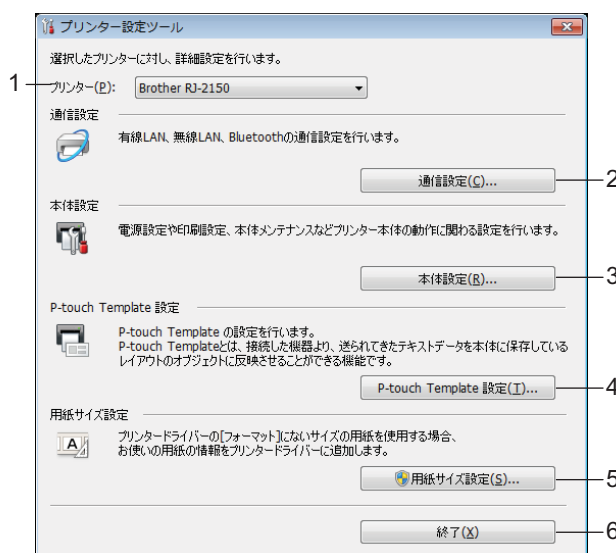
プリンター設定ツールを使用する前に

- 満充電した充電池が取り付けられていることを確認します。
- プリンタードライバーが正しくインストールされ、機能していることを確認します。
- USB ケーブルで、本機をパソコンに接続します。

このツールでは、Wi-Fi を使用して設定を指定することはできません。

プリンター設定ツールを使用する

- 1 設定するプリンターをパソコンに接続します。
- 2 プリンター設定ツールを起動します。
 - **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2** の場合：
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
 - **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2** の場合：
[アプリ] 画面の [Printer Setting Tool] アイコンをクリックします。
 - **Windows 10** の場合：
スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
メイン画面が表示されます。



- 1 **プリンター**
接続されたプリンターを示します。
- 2 **通信設定**
無線 LAN (RJ-2150/2140/2050 のみ) と Bluetooth (RJ-2150/2050/2030 のみ) の通信設定を行います。
- 3 **本体設定**
電源設定、印刷設定などの、本体の設定を指定します。液晶ディスプレイの設定も行えます。

4 P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

P-touch Template の詳細については、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。

5 用紙サイズ設定

プリンタードライバーの「用紙サイズ」リストにない用紙サイズを使用する場合、用紙の情報や設定をプリンタードライバーに追加できます。

❗ 重要

「用紙サイズ設定」を起動するためには、管理者権限でログインする必要があります。

6 終了

メイン画面を閉じます。

- ③ 設定するプリンターが「プリンター」に表示されているか確認します。別のプリンターが表示されている場合、ドロップダウンリストからプリンターを選択してください。
- ④ 変更する設定を選択してから、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
設定ダイアログボックスの詳細については、「通信設定」(34 ページ)、「本体設定」(51 ページ)、「P-touch Template 設定」(62 ページ) または「用紙サイズ設定」(65 ページ) をご覧ください。
- ⑤ 設定ダイアログボックスで「設定」-「終了」をクリックし、設定をプリンターに適用します。
- ⑥ メイン画面で「終了」をクリックし、設定の指定を完了します。

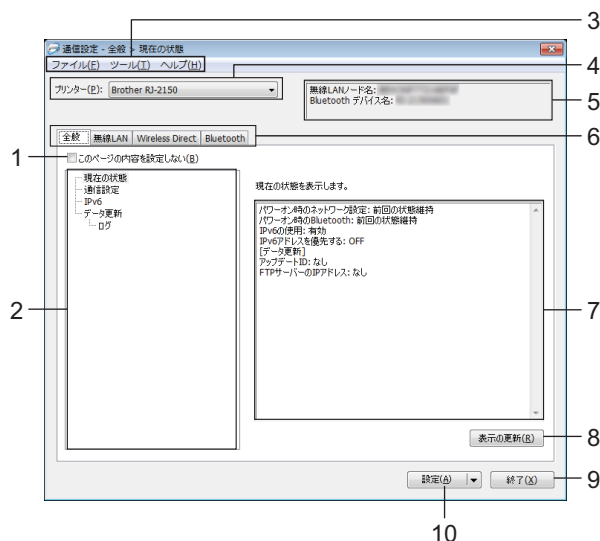
❗ 重要

プリンターがスタンバイ状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してプリンターを設定します。ジョブの処理中にプリンターを設定しようとすると、プリンターが誤作動する可能性があります。

通信設定

プリンター設定ツールの「通信設定」では、プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth 接続 (RJ-2150/2050/2030 のみ) 経由で接続すると、プリンターの通信情報を指定または変更できます。1 台のプリンターの通信設定を変更できるだけでなく、同じ設定を複数のプリンターに適用することもできます。

設定ダイアログボックス



1 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定の指定や変更ができなくなります。

 が表示されているタブの設定は、「設定」をクリックしてもプリンターに適用されません。また、「コマンドファイルに保存」または「エクスポート」を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

設定をプリンターに適用する、保存する、またはエクスポートするには、チェックボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 項目

「現在の状態」を選択すると、現在の設定が設定表示 / 変更エリアに表示されます。

変更する設定の項目を選択します。

3 メニューバー

4 プリンター

接続されたプリンターを示します。

5 ノード名

ノード名を表示します (ノード名は変更できます)。(「メニューバー」(36 ページ) をご覧ください。)

6 設定タブ

指定または変更する設定が含まれます。



がタブに表示されている場合、そのタブの設定はプリンターに適用されません。

7 設定表示 / 変更エリア

選択した項目の現在の設定を表示します。

8 表示の更新

最新の情報で表示された設定を更新します。

9 終了

[通信設定] を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

❗ 重要

設定の変更後、[設定] ボタンをクリックせずに [終了] をクリックすると、設定はプリンターに適用されません。

10 設定

設定をプリンターに適用します。

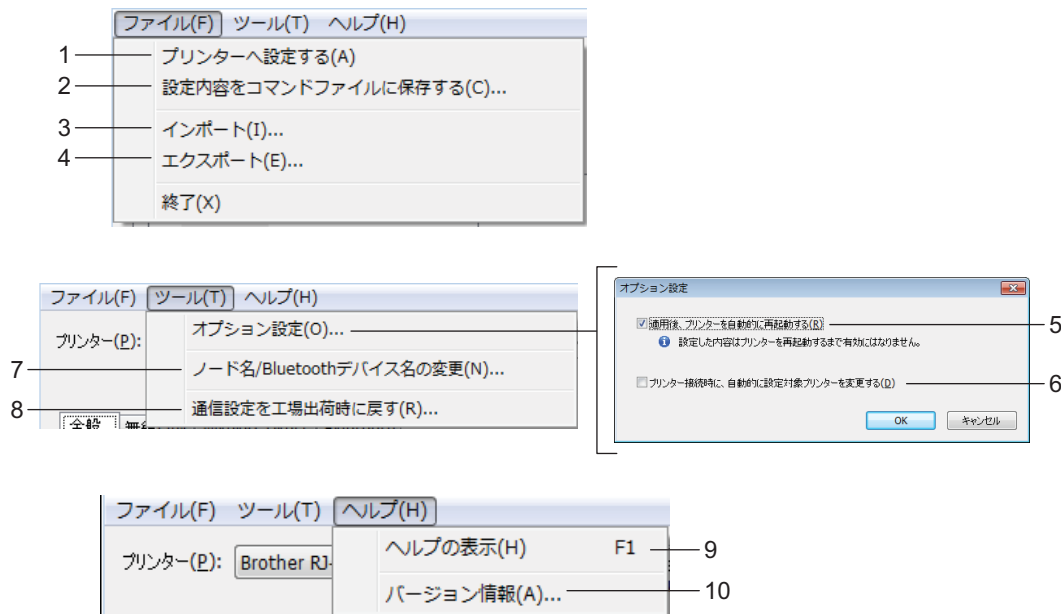
指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。保存したコマンドファイルをマスのストレージ機能を使用して、設定をプリンターに適用できます (「マスのストレージ機能」(73 ページ) をご覧ください)。

❗ 重要

[設定] をクリックすると、すべてのタブの全設定がプリンターに適用されます。

[このページの内容を設定しない] チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は適用されません。

メニューバー



1 プリンターへ設定する

設定をプリンターに適用します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「.bin」です。

保存したコマンドファイルをマストレージ機能で使って、設定をプリンターに適用できます（「マストレージ機能」(73 ページ) をご覧ください）。

メモ

「このページの内容を設定しない」チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

重要

- 次の情報は、コマンドファイルには保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ（IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合）
- 保存したコマンドファイルは、設定をプリンターに適用するために使用することのみを目的とします。このコマンドファイルを使用してプリンターに設定を行うには、マストレージ機能を使用してください。
- 保存したコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれます。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルの保護に必要な措置を取ってください。
- コマンドファイルを異なる機種に送信しないでください。

3 インポート

■ 現在の PC 無線設定からインポートする

パソコンから設定をインポートします。



メモ

- パソコンのワイヤレス設定をインポートする場合、パソコンの管理者権限が必要です。
- パーソナルセキュリティ認証の設定（オープンシステム、公開キー認証、および WPA/WPA2-PSK）のみをインポートできます。エンタープライズセキュリティ認証（LEAP および EAP-FAST など）、WPA2-PSK（TKIP）、および WPA-PSK（AES）設定はインポートできません。
- 複数の無線 LAN がご使用のパソコンで有効の場合、検出された最初の Wi-Fi 設定（パーソナル設定のみ）をインポートデータと見なします。
- [無線 LAN] タブ - [無線設定] からの設定（通信モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）のみをインポートできます。

■ プロファイルを選択してインポートする

エクスポートしたファイルをインポートし、設定をプリンターに適用します。

[参照] をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が、設定表示 / 変更エリアに表示されます。



メモ

- ノード名を除く、すべての設定（ワイヤレス設定や TCP/IP 設定など）をインポートできます。
- 選択したプリンターに対応したプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合、ネットワークに既存の設定済みプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

4 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。



メモ

[このページの内容を設定しない] チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

❗ 重要

エクスポートしたファイルは暗号化されません。

5 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択した場合、通信設定が適用された後でプリンターは自動的に再起動します。

このチェックボックスを選択していない場合、プリンターを手動で再起動する必要があります。



メモ

複数のプリンターを設定する場合、このチェックボックスのチェックを外しておくことで時間を短縮できます。この場合、各設定が目的通りに動作していることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときにこのチェックボックスを選択することを推奨します。

6 プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択してプリンターをパソコンに接続した場合、プリンターは自動的に検出され、プリンターの現在の設定が「**現在の状態**」ペインに表示されます。



メモ

接続したプリンターの機種が「**プリンター**」ドロップダウンリストに表示されたプリンターの機種と異なる場合、すべてのタブで利用可能な設定は、接続したプリンターに適合するよう変更されます。

7 ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更

ノード名を変更できます。

8 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定を工場出荷時の設定に戻します。

9 ヘルプの表示

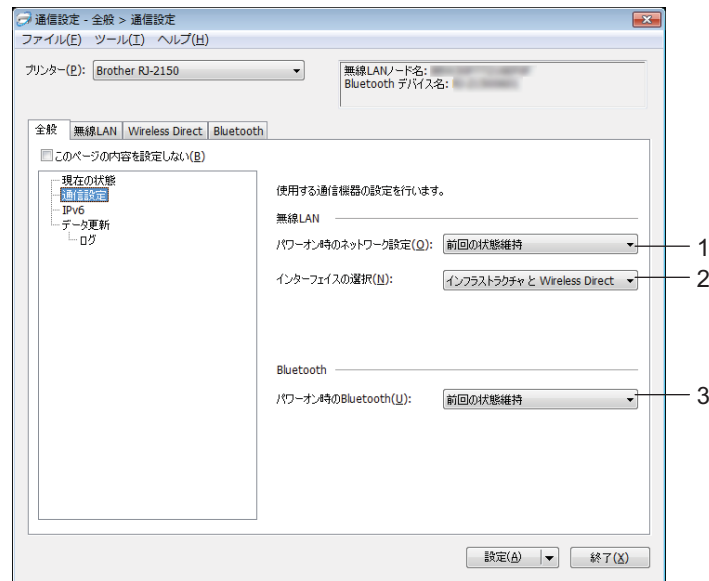
ヘルプを表示します。

10 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

全般タブ

通信設定



1 パワーオン時のネットワーク設定

本機の電源を入れたとき、Wi-Fi 経由で接続するための条件を指定します。

[常に ON]、[常に OFF]、または [前回の状態維持] を選択します。

2 インターフェイスの選択

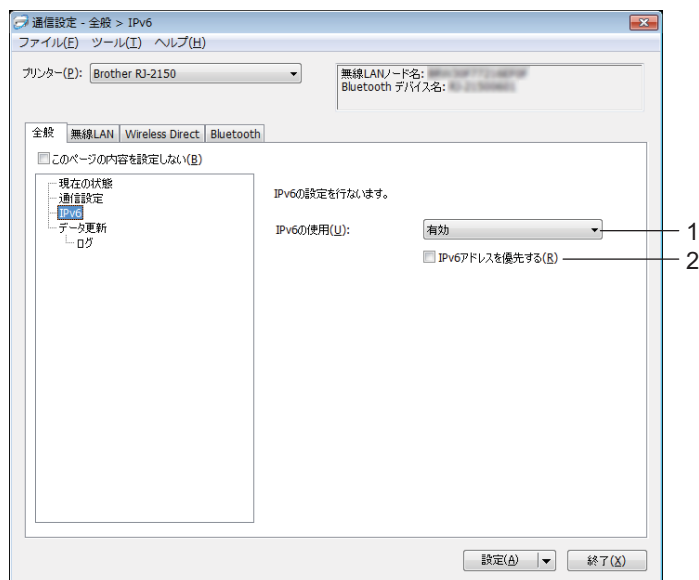
[インフラストラクチャ または アドホック]、[インフラストラクチャ と **Wireless Direct**] または [Wireless Direct] を選択します。

3 パワーオン時の Bluetooth

本機の電源を入れたときに、Bluetooth 接続のための条件を設定します。[常に ON]、[常に OFF] または [前回の状態維持] を選択します。

プリンターの設定を変更する

IPv6



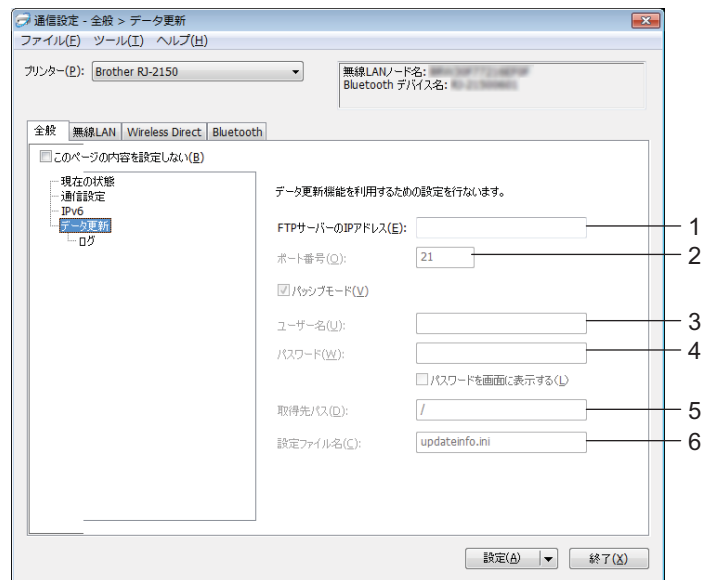
1 IPv6 の使用

[有効] または [無効] を選択します。

2 IPv6 アドレスを優先する

IPv6 アドレスを優先することを選択します。

データ更新 (RJ-2150/2140/2050 のみ)



1 FTP サーバーの IP アドレス

FTP サーバーのアドレスを入力します。

2 ポート番号

FTP サーバーへ接続するポート番号を指定します。

3 ユーザー名

FTP サーバーへログイン時に使用するユーザー名を入力します。

4 パスワード

FTP サーバーへログイン時に使用するパスワードを入力します。

5 取得先パス

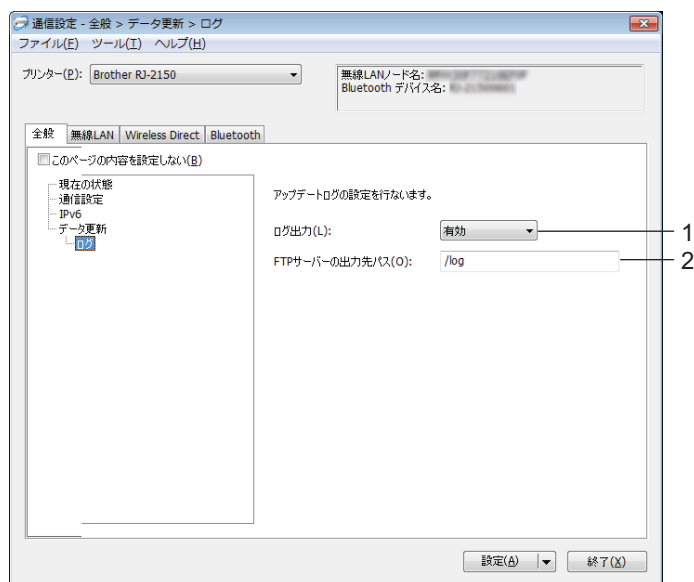
FTP サーバー上に保存されている設定ファイルの場所と、ダウンロードファイルの保存先パスを指定します。

6 設定ファイル名

FTP サーバーにあらかじめ配置しておく設定ファイルの名前を設定します。

プリンターの設定を変更する

■ ログ



1 ログ出力

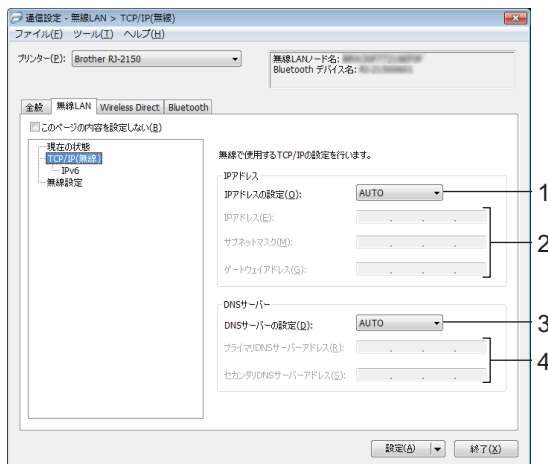
FTP サーバーへ更新ログを出力するかを設定します。

2 FTP サーバーの出力先パス

FTP サーバー上に出力する更新ログの出力先パスを指定します。

無線 LAN タブ (RJ-2150/2140/2050 のみ)

TCP/IP (無線)



1 IP アドレスの設定

[**AUTO**]、[**BOOTP**]、[**DHCP**]、[**RARP**] または [**STATIC**] を選択します。

2 IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレス

それぞれの値を指定します。

IP アドレスが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ、設定を入力できます。

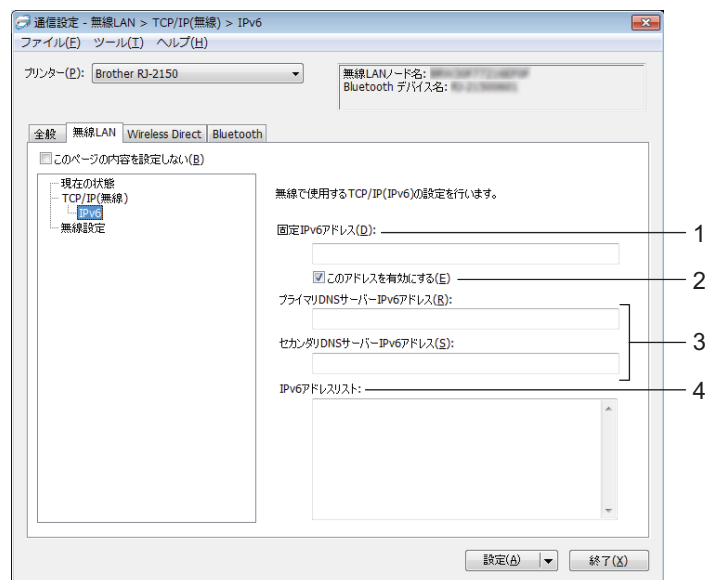
3 DNS サーバーの設定

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

4 プライマリ DNS サーバーアドレス／セカンダリ DNS サーバーアドレス

DNS サーバーが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ、設定を入力できます。

IPv6



1 固定 IPv6 アドレス

IPv6 アドレスを指定します。

2 このアドレスを有効にする

指定された静的 IPv6 アドレスを有効にします。

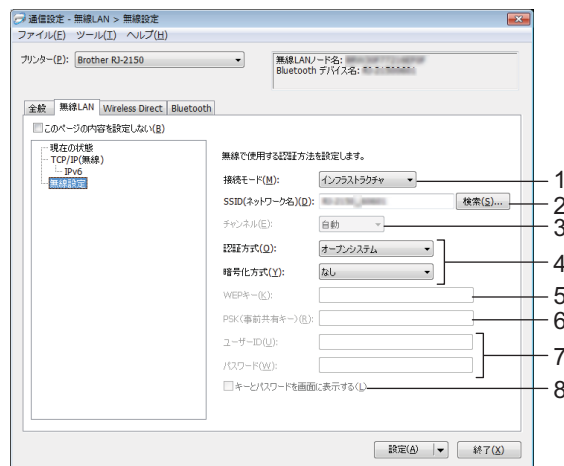
3 プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス / セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス

DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。

4 IPv6 アドレスリスト

IPv6 アドレスのリストを表示します。

無線設定



1 接続モード

「インフラストラクチャ」または「アドホック」を選択します。

2 SSID (ネットワーク名)

「検索」をクリックすると、別のダイアログボックスに選択可能な SSID が表示されます。

3 チャンネル

利用可能なチャンネルを示します。



メモ

この設定は、アドホックモードでのみ有効です。
アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。

4 認証方式 / 暗号化方式

様々な認証方式向けにサポートされた暗号化方式を「接続モードと認証方式 / 暗号化方式」(46 ページ) に示します。

5 WEP キー

WEP が暗号化モードとして選択された場合にのみ、設定を指定できます。

6 PSK (事前共有キー)

WPA/WPA2-PSK が認証方式として選択された場合にのみ、設定を指定できます。

7 ユーザー ID/ パスワード

LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択された場合にのみ、設定を指定できます。さらに、EAP-TLS では、パスワードの登録は必要ありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。ウェブブラウザの使用の詳細については、「ウェブブラウザ (Web Based Management) で管理する」(122 ページ) をご覧ください。

8 キーとパスワードを画面に表示する

このチェックボックスを選択した場合、キーとパスワードがプレーン (暗号化されていない) テキストで表示されます。

接続モードと認証方式 / 暗号化方式

- [接続モード] を [アドホック] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP

- [接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP
共有キー認証	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES / AES
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES / AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
PEAP/GTC	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES / AES
EAP-TLS	TKIP+AES / AES

❗ 重要

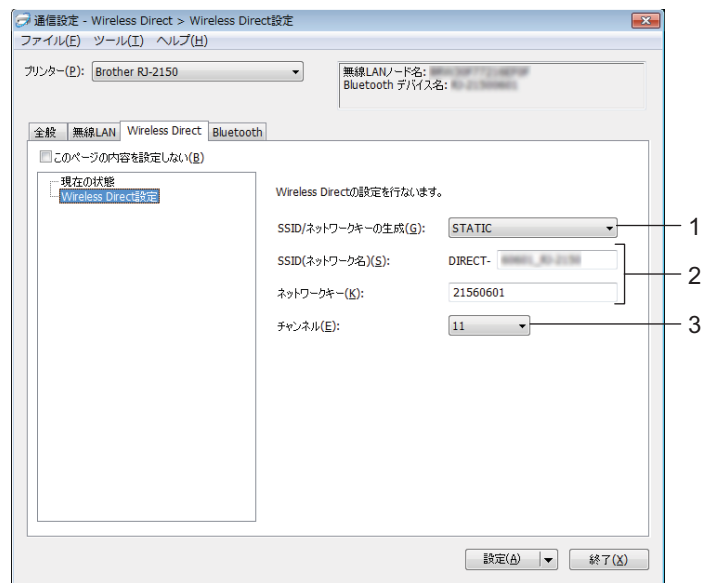
より高レベルのセキュリティ設定を指定する：

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書の検証を実施する場合、証明書をプリンター設定ツールから指定することはできません。ネットワークに接続するようプリンターを設定した後、ウェブブラウザからプリンターにアクセスすることで証明書を指定します。

ウェブブラウザの使用の詳細については、「ウェブブラウザ（Web Based Management）で管理する」（122 ページ）をご覧ください。

Wireless Direct タブ (RJ-2150/2140/2050 のみ)

Wireless Direct 設定



1 SSID/ ネットワークキーの生成

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

2 SSID (ネットワーク名) / ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID (25 文字以下の ASCII 文字) とネットワークキー (63 字以下) を指定します。

[**SSID/ ネットワークキーの生成**] で [**STATIC**] を選択した場合にのみ、設定できます。



メモ

工場出荷時の SSID は、「DIRECT-*****RJ-XXXX」、パスワードは、RJ-2150 の場合 : 「215*****」、RJ-2140 の場合 : 「214*****」、RJ-2050 の場合 : 「205*****」です。「*****」は、製品シリアル番号の下 5 桁です。

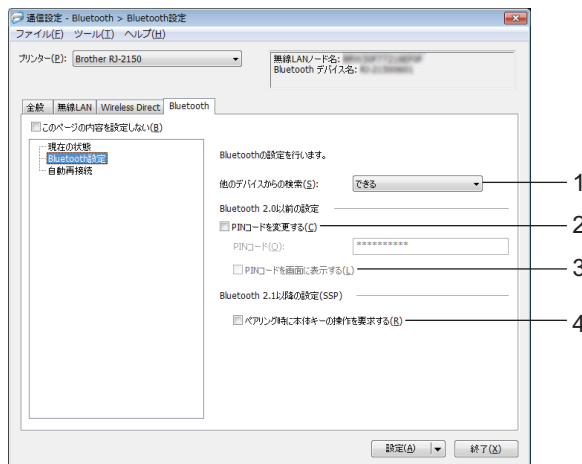
(シリアルナンバーラベルは、プリンターの背面にあります。)

3 チャンネル

Wireless Direct で使用するチャンネルを選択します。

Bluetooth タブ (RJ-2150/2050/2030 のみ)

Bluetooth 設定



1 他のデバイスからの検索

他の Bluetooth デバイスがプリンターを「検出」できるようにします。

設定項目：[できる]、[できない]

2 PIN コードを変更する

チェックボックスを選択すると、PIN コードを変更できます。

3 PIN コードを画面に表示する

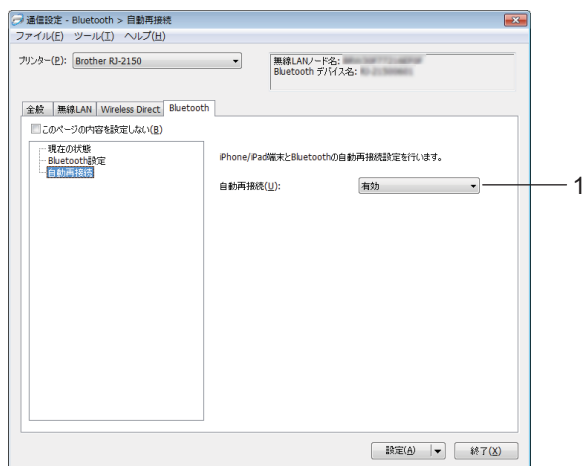
チェックボックスを選択すると、PIN コードを表示します。

4 ペアリング時に本体キーの操作を要求する

このチェックボックスを選択した場合、Bluetooth バージョン 2.1 以降に準拠する装置とペアリングする際、プリンターのキー操作（認証作業）が必要です。

プリンターの設定を変更する

自動再接続 (RJ-2150/2050 のみ)



1 自動再接続

Apple デバイス (iPad、iPhone、iPod touch) と Bluetooth の自動再接続設定を行います。

設定項目：[有効]、[無効]

複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する

- 1 最初のプリンターに設定を適用した後でプリンターをパソコンから取り外します。次に、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
- 2 [プリンター] ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。



メモ

[オプション設定] ダイアログボックスの [プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する] チェックボックスを選択した場合、USB ケーブルで接続したプリンターが自動的に選択されます。

詳細については、「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。

- 3 [設定] ボタンをクリックします。
最初のプリンターに適用された同じ設定が、2 台目のプリンターに適用されます。



メモ

無線 LAN アクセスポイント/ルーターとの接続が設定により正しく確立できることを確認できるように、最初のプリンターを設定する際に [適用後、プリンターを自動的に再起動する] チェックボックスを選択することを推奨します。詳細については、「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。

- 4 設定を変更するすべてのプリンターに、① ~ ③ のステップを繰り返します。



重要

IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合、プリンターの IP アドレスも、最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。
必要に応じて、IP アドレスを変更してください。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、同じ設定を他のプリンターに適用できます。(「通信設定」(34 ページ) をご覧ください。)

本体設定

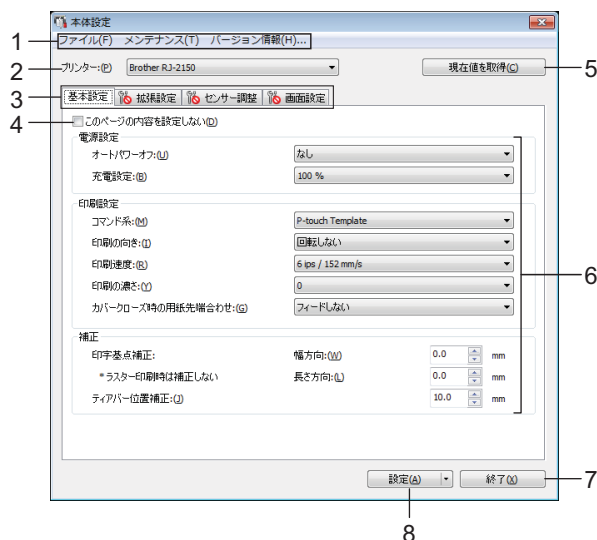
プリンター設定ツールの「**本体設定**」では、プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth 接続経由（RJ-2150/2050/2030 のみ）で接続すると、印刷設定情報を指定または変更できます。1 台のプリンターの本体設定を変更するだけでなく、同じ設定を複数のプリンターに適用することもできます。

パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバから様々な印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの「**本体設定**」を使用すると、より詳細な設定を指定できます。

「**本体設定**」を開くと、プリンターの現在の設定を取得および表示します。現在の設定を取得できない場合、前回の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、また前回の設定が指定されていない場合、本ツールの初期設定値が表示されます。

3

設定ダイアログボックス



1 メニューバー

各メニューの中に含まれている機能をリストから選択します。

2 プリンター

本体設定をするプリンターを選択します。接続されているプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

3 設定タブ

指定または変更する設定が含まれます。



メモ

 がタブに表示されている場合、そのタブの設定を指定または変更できません。また、「[設定]」をクリックした場合でも、タブの設定はプリンターに適用されません。「[コマンドファイルに保存]」または「[エクスポート]」を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

4 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定の指定や変更ができなくなります。

 が表示されているタブの設定は、[設定] をクリックしてもプリンターに適用されません。また、[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

5 現在値を取得

現在接続しているプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。  があるタブのパラメーターに対しても設定を取得します。

6 パラメーター

現在の設定を表示します。

7 終了

[本体設定] を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

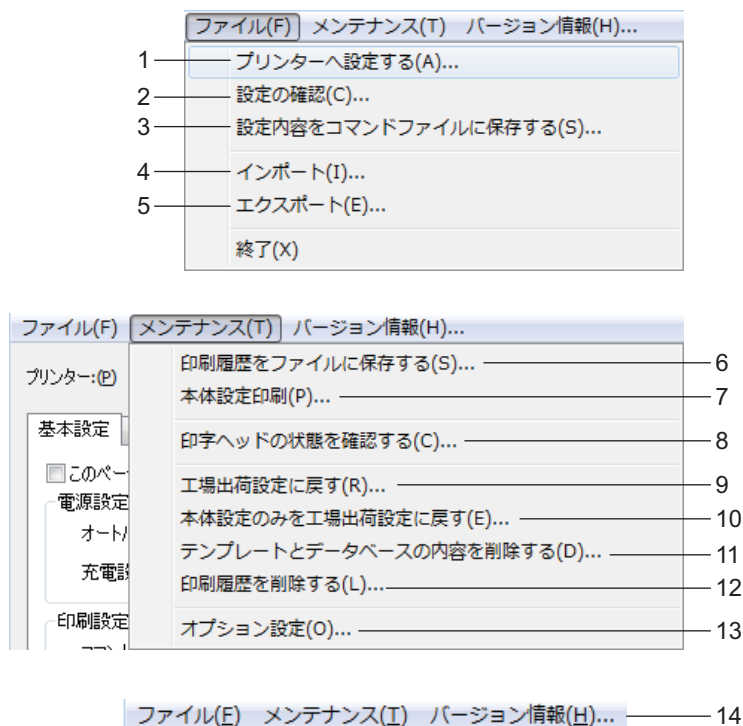
8 設定

設定をプリンターに適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。

保存したコマンドファイルをマスのストレージ機能を使用して、設定をプリンターに適用できます。（「マスのストレージ機能」(73 ページ) をご覧ください。）

メニューバー



1 プリンターへ設定する

設定をプリンターに適用します。

[設定] をクリックしたときと同じ操作を実行します。

2 設定の確認

現在の設定一覧を表示します。

3 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定をコマンドファイルに保存します。

[コマンドファイルに保存] が [設定] ドロップダウンリストから選択されたときと同じ操作を実行します。

4 インポート

エクスポートされたファイルをインポートします。

5 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。

6 印刷履歴をファイルに保存する

印刷履歴を csv 形式でファイルに書き出して保存します。

7 本体設定印刷

ファームウェアのバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。

↑ (フィード) ボタンを使用してこのレポートを印刷することもできます (「本体設定情報の印刷」 (72 ページ) をご覧ください)。

8 印字ヘッドの状態を確認する

プリントヘッドが断線していないかを確認します。

9 工場出荷設定に戻す

すべてのプリンター設定を工場出荷時の設定にリセットします。

10 本体設定のみを工場出荷設定に戻す

[**本体設定**] で変更できる設定項目のみを工場出荷状態に戻します。

11 テンプレートとデータベースの内容を削除する

プリンターに保存されたテンプレートデータとデータベースを削除します。

12 印刷履歴を削除する

プリンターに保存された印刷履歴を削除します。

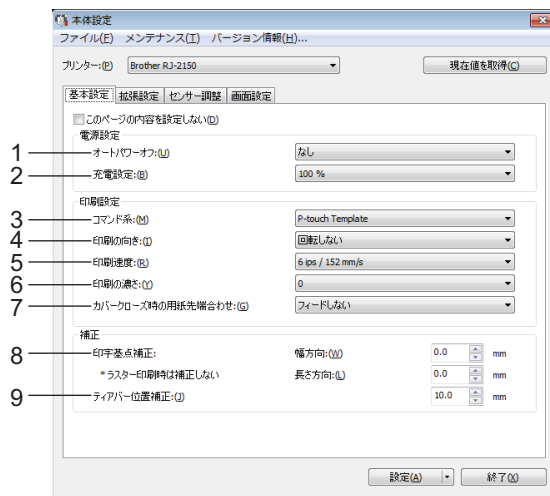
13 オプション設定

[**起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しない。**] を選択した場合、メッセージは次回から表示されません。

14 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

基本設定タブ



1 オートパワーオフ

本機の電源が自動的に切れるまでの時間の時間を指定します。
設定項目：[なし]、1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/20/30/40/50/60 分

2 充電設定

充電量を設定します。
設定項目：[100 %]、[80 %]



メモ

充電電池の寿命を長持ちさせたい場合は、[80 %] を選択してください。[80 %] を選択すると、1 回の充電で使用可能時間は短くなりますが、充電電池自体の寿命は長くなります。

3 コマンド系

プリンターのコマンド形式を選択します。
設定項目：[ラスター]、[ESC/P]、[P-touch Template]、[SBPL emulation]

4 印刷の向き

印刷の向きを選択します。
設定項目：[回転しない]、[回転する]

この設定は、プリンタードライバーを使用しない場合にのみ適用されます。プリンタードライバーを使用する場合は、プリンタードライバーで行った設定が適用されます。

5 印刷速度

プリンターの印刷速度を選択します。
設定項目：[3 ips / 76 mm/s]、[4 ips / 101 mm/s]、[5 ips / 127 mm/s]、[6 ips / 152 mm/s]

6 印刷の濃さ

本機の印刷の濃さを調整します。
設定項目：-5 ~ +5

7 カバークローズ時の用紙先端合わせ

カバーを閉じたとき、用紙を自動でフィードするかどうかを選択します。

設定項目： [フィードする]、[フィードしない]

8 印字基点補正 幅方向 / 印字基点補正 長さ方向

基準点の位置（印字位置を決める原点の基点）を調整します。プリンターモードの違いやアプリケーションで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

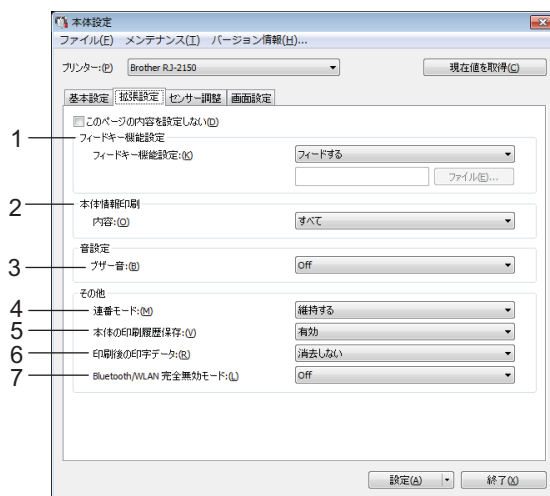
ラスター印刷時は補正できませんのでご注意ください。

9 ティアバー位置補正

用紙をカットするためのティアバーの位置を調整します。

設定項目： -10.0 ～ 10.0 mm

拡張設定タブ



1 フィードキー機能設定

↑ (フィード) ボタンを押したときに実行される操作を選択します。

[プログラム設定] が選択されている場合は、[ファイル] ボタンをクリックし、コマンドファイルを選択します。

設定項目： [フィードする]、[プログラム設定]

2 本体情報印刷

本体設定情報の印刷時に印刷するセクションを選択します。

設定項目： [すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、[転送データ]

(「本体設定情報の印刷」(72 ページ) をご覧ください。)

3 ブザー音

操作パネルのボタンを押したときに警告音を鳴らすかどうかを選択します。

設定項目： [On]、[Off]

4 連番モード

印刷された最後の番号から順番に並べるかどうかを選択します。

設定項目： [維持する]、[初期値に戻す]

5 本体の印刷履歴保存

プリンターの印刷履歴を保存するかどうかを選択します。「無効」と設定されたプリンターに対して、[ツール] - [印刷履歴をファイルに保存する] を実行できません。

設定項目： [有効]、[無効]

6 印刷後の印字データ

印刷した後、自動的に印刷データを消去するかどうかを選択します。

設定項目： [消去する]、[消去しない]

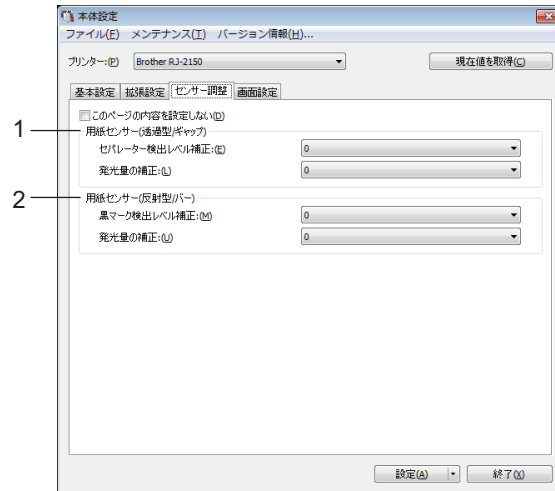
7 Bluetooth/WLAN 完全無効モード

Bluetooth 接続や無線 LAN 接続を無効にできます。この機能は、信号伝送ができない場所でプリンターを使用する場合に役立ちます。

利用可能な設定： [On]、[Off]

センサー調整タブ

RD ロールをご使用の場合は、センサーを調整する必要はありません。



1 用紙センサー（透過型 / ギャップ）（RJ-2150/2140 のみ）

[プリンター] で RJ-2050 または RJ-2030 が選択されていると、この項目は使用できません。透過型 / ギャップセンサーのパラメータについて、以下の調整ができます。

[セパレーター検出レベル補正]

プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出するセンサーの精度を調整します。

設定項目：-2 ～ +2

[発光量の補正]

透過型 / ギャップセンサーが放つ光の量を調整します。

設定項目：-2 ～ +2

2 用紙センサー（反射型 / バー）

透過型 / ギャップセンサーのパラメータについて、以下の調整ができます。反射型 / 黒マークセンサーのパラメータを調整できます。

[黒マーク検出レベル補正]

黒マークを検出するセンサーの精度を調整します。

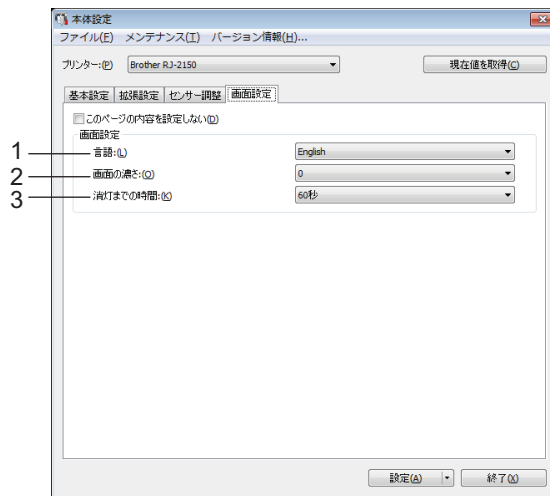
設定項目：-2 ～ +2

[発光量の補正]

反射型 / 黒マークセンサーが放つ光の量を調整します。

設定項目：-2 ～ +2

画面設定タブ



1 言語

液晶ディスプレイの表示言語を選択します。

設定項目： [Dansk]、[Deutsch]、[English]、[Español]、[Français]、[Italiano]、
[Nederlands]、[Norsk]、[Português]、[Suomi]、[Svenska]、[中文]、[日本語]

メモ

お使いの機種によって、表示可能な言語が異なります。表示できない言語を選択した場合、液晶ディスプレイの表示言語は変更されません。

選択した言語が液晶ディスプレイに表示されることを確認してください。

2 画面の明るさ

液晶ディスプレイの明るさを選択します。

設定項目： -2 ～ +2

3 消灯までの時間

液晶ディスプレイのバックライトが自動的に消灯するまでのアイドル時間を指定します。

設定項目： [Off]、[5 秒]、[10 秒]、[20 秒]、[30 秒]、[60 秒]

複数のプリンターに設定変更を適用する

- ① 最初のプリンターに設定を適用した後でプリンターをパソコンから取り外します。次に、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
- ② [プリンター] ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。
- ③ [設定] ボタンをクリックします。
最初のプリンターに適用された同じ設定が、2 台目のプリンターに適用されます。
- ④ 設定を変更するすべてのプリンターに、① ～ ③ のステップを繰り返します。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、同じ設定を他のプリンターに適用できます。（「本体設定」(51 ページ) をご覧ください。）

P-touch Template 設定

P-touch Template モードは、デバイス（本機に接続したバーコードリーダーなど）からのデータを、本機に保存したレイアウトのテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。テンプレートやバーコードを印刷するのに役立ちます。

プリンター設定ツールの「P-touch Template 設定」では、P-touch Template 機能を使用するための設定を指定または変更できます。

P-touch Template 機能を使用するには転送機能を使用して本体にテンプレートデータを転送しておく必要があります。転送機能については、「P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法」（88 ページ）をご覧ください。

3

P-touch Template

次に、P-touch Template の機能を示します。

基本操作

■ 定型テンプレート印刷

頻繁に使用するテンプレートが本機に保存されている場合、各テンプレートのバーコードをスキャンするだけでテンプレートを再印刷できます。

■ バーコード印刷

バーコードリーダーでスキャンしたバーコードを、事前に作成したテンプレートのプロトコルやサイズで印刷できます。

■ データベース支援テンプレートの印刷

テンプレートデータのオブジェクトをデータベースにリンクし、データベースのキーバーコードをスキャンすることで、テンプレートデータのオブジェクトをデータベースデータに置き換えてテンプレートを印刷できます。

高度な操作

■ ナンバリング機能（連番）印刷

テンプレートの番号またはバーコードを自動で 1 カウントずつ増やしながら、テンプレートを印刷できます。

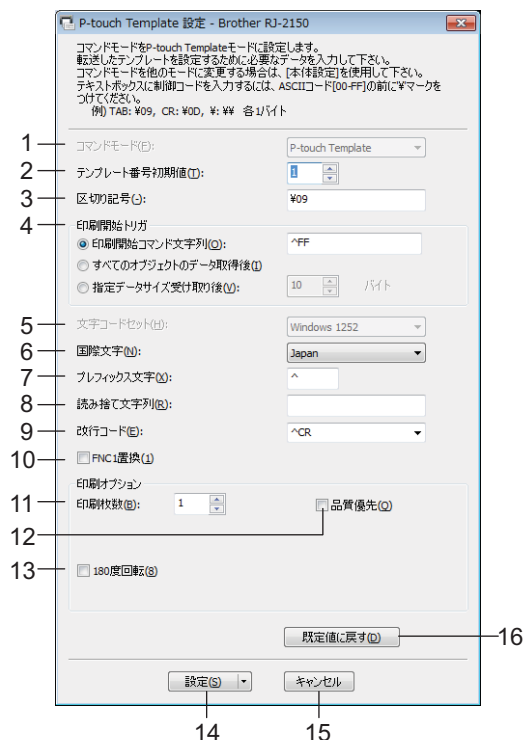


メモ

「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードできます。

[製品から探す] - [製品マニュアル]

P-touch Template 設定ダイアログボックス



1 コマンドモード

P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

モードを変更するには、本体設定を使用します。

2 テンプレート番号初期値

本機の電源を入れた際、デフォルトとして選択するテンプレート番号を指定します。

ただし、テンプレートデータが本機に登録されていない場合、テンプレート番号を指定しないでください。

3 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示すのに使用される記号。1 ～ 20 文字で指定できます。

4 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガーを指定できます。

[印刷開始コマンド文字列]：ここで指定されたコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。

[すべてのオブジェクトのデータ取得後]：最終オブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

[指定データサイズ受け取り後]：ここで指定された文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数にカウントされません。

5 文字コードセット

[Windows 1252]

6 国際文字

文字セットの国を示します。

利用可能な設定： [United States]、[France]、[Germany]、[Britain]、[Denmark]、[Sweden]、[Italy]、[Spain]、[Japan]、[Norway]、[Denmark II]、[Spain II]、[Latin America]、[Korea]、[Legal]

上記のリストから選択した国により、次の 12 のコードを切り替えます。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

切り替えた文字については、「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください（弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードできます）。

7 プレフィックス文字

プレフィックス文字コードを指定します。P-touch Template モードで使用するコマンドを識別します。

8 読み捨て文字列

ここで指定された文字は、データ受信時に印刷されません。1 ～ 20 文字を指定します。

9 改行コード

改行コードは、次のデータがテキストオブジェクト内の次の行に移動することを示すため、データ送信時に使用します。次の 4 つの改行コードの 1 つを選択できます。または改行コードとして 1 ～ 20 文字を指定できます。

利用可能な設定： [^CR]、[¥0D¥0A]、[¥0A]、[¥0D]

10 FNC1 置換

11 印刷枚数

印刷部数を設定します。1 ～ 99 の数字を指定できます。

12 品質優先

印刷品質の設定を選択します。このチェックボックスを選択すると、印刷品質が優先されます。チェックを外すと、印刷速度が優先されます。

13 180 度回転

このチェックボックスを選択すると、180 度回転して印刷します。

14 設定

[設定] ボタンをクリックすると、設定は、ダイアログボックスが閉じるときに .ini ファイルとして保存されます。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。保存したコマンドファイルをマスのストレージ機能を使用して、設定をプリンターに適用できます（「マスのストレージ機能」(73 ページ) をご覧ください）。

15 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

16 既定値に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

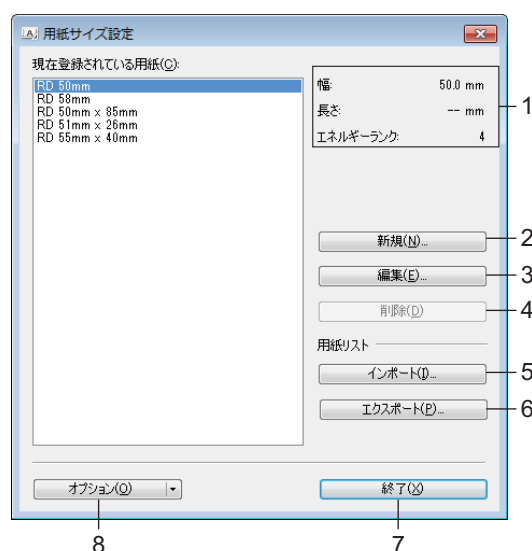
用紙サイズ設定

プリンター設定ツールの「用紙サイズ設定」では、プリンタードライバの「用紙サイズ」リストにない用紙サイズを追加できます。

本機に用紙サイズを追加するためには、通常のプリンターの用紙設定とは異なり、用紙の形式を本機に送る必要があります。

本機に登録されていない用紙の形式を使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

用紙サイズ設定ダイアログボックス



1 現在の設定

選択した用紙の形式について、現在の設定が表示されます。

2 新規

このボタンをクリックすると、「新規」ダイアログボックスが表示され、新しい用紙の形式を登録できます。詳しくは、「新規ダイアログボックス」(67 ページ) をご覧ください。

❗ 重要

登録済みの用紙と同じサイズ of 用紙は、登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。

現在登録されている用紙と同じサイズ of 用紙を使用する場合は、「用紙サイズ設定」ダイアログボックスの「現在登録されている用紙」リストから、必要なサイズを選択し、「編集」ダイアログボックスで設定を変更して「上書き」ボタンを押してください。

3 編集

選択した用紙の形式の設定を編集します。

編集した用紙の形式を上書きして保存する場合は、**[上書き]** をクリックします。編集した用紙の形式を追加する場合は、**[追加]** で名前を変更し、**[用紙名]** をクリックします。

4 削除

選択された用紙の形式を削除します。削除した用紙の形式は復元できません。

5 インポート

用紙の形式の設定が記載されたテキストファイルを読み込んで、**[現在登録されている用紙]** リストの内容を置き換えます。

❗ 重要

リストをインポートすると、**[現在登録されている用紙]** リストの内容すべてがインポートした用紙の形式で置き換えられます。

6 エクスポート

[現在登録されている用紙] リストの用紙の形式をファイルにエクスポートします。エクスポートした形式は、他のパソコンに配布できます。詳しくは、「用紙の形式を配布する」(70 ページ) をご覧ください。

7 終了

[用紙サイズ設定] を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8 オプション

[▼] ボタンをクリックし、操作を選択します。

[本体に用紙を登録] をクリックすると、選択した用紙の形式が本機に登録されます。

[コマンドファイルに保存] をクリックすると、用紙の設定内容がコマンドファイルとしてエクスポートされます。(ファイルの拡張子は「.bin」です。)

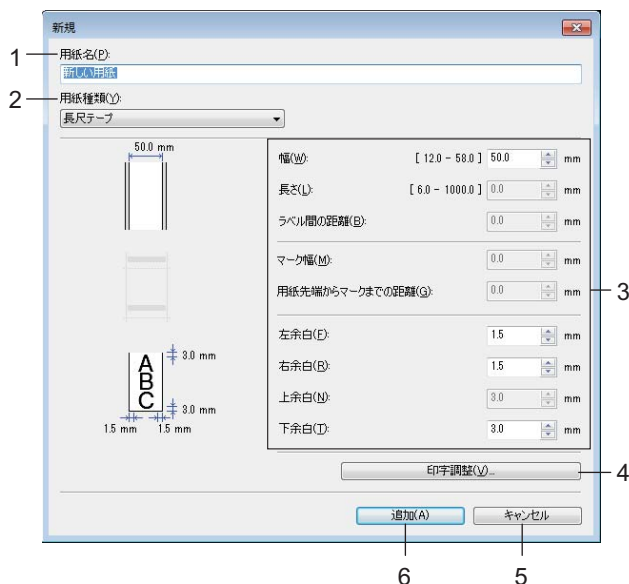
📝 メモ

- 本体に用紙を登録し、**[終了]** をクリックすると、**[用紙サイズ設定]** 画面が表示されます。**[現在登録されている用紙]** リストには追加した用紙サイズが表示されます。アプリケーションが実行中の場合は、終了し再起動すると、新しい用紙の形式がリストに表示されます。
- 次の機能を使用すると、これらの設定を簡単に本機に適用できます。
 - マスストレージ機能 (73 ページ)
 - Bluetooth (Object Push Profile (OPP))
 - Wi-Fi® (File Transfer Protocol (FTP))

❗ 重要

これらの設定コマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。これらのコマンドは **[用紙サイズ設定]** にインポートできません。

新規ダイアログボックス



1 用紙名

追加する用紙設定の名前を入力します。

2 用紙種類

用紙種類を選択します。

設定項目： [長尺テープ]、[ダイカットラベル] (RJ-2150/2140 のみ)、[マーク付きメディア]

3 詳細設定：

追加する用紙の詳細を指定します。

4 印字調整

このボタンをクリックすると、[印字調整] 画面が表示され、用紙ごとに詳細な印刷調整を行うことができます。詳しくは、「印字詳細調整ダイアログボックス」(68 ページ) をご覧ください。

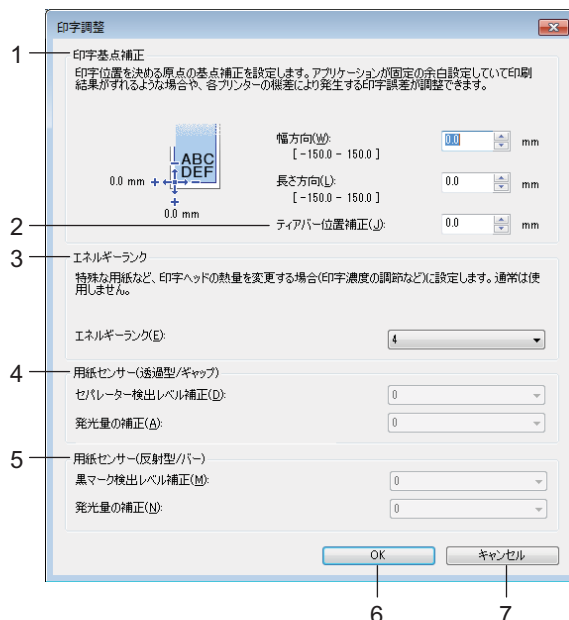
5 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

6 追加

このボタンをクリックすると、用紙設定が追加されます。

印字詳細調整ダイアログボックス



1 印字基点補正

基準点の位置（印字位置を決める原点の基点）を調整します。プリンターモードの違いやアプリケーションで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

2 ティアバー位置補正

ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。

設定項目：-10.0 mm ～ 10.0 mm

3 エネルギーランク

特殊な用紙など、印字ヘッドの熱量（エネルギー）調整が必要な場合に設定します。



メモ

- ・レシート用紙を使用する場合は、[エネルギーランク] を [4] に調整してください。
- ・お使いの環境や媒体によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。

4 用紙センサー（透過型 / ギャップ）（RJ-2150/2140 のみ）

透過型 / ギャップセンサーがダイカットラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

[用紙種類] が [ダイカットラベル] に設定されている場合に設定できます。

メモ

〔本体設定〕ダイアログボックス（「センサー調整タブ」（59 ページ）をご覧ください）の〔用紙センサー（透過型 / ギャップ）〕の設定が影響するため、適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

5 用紙センサー（反射型 / バー）

反射型 / 黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

〔用紙種類〕が〔マーク付きメディア〕に設定されている場合に設定できます。

メモ

〔本体設定〕ダイアログボックス（「センサー調整タブ」（59 ページ）をご覧ください）の〔用紙センサー（反射型 / バー）〕の設定が影響するため、適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

6 OK

設定を保存し、前のダイアログボックスに戻ります。

7 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

用紙の形式を配布する

エクスポートした [現在登録されている用紙] の情報を他のパソコンに配布できます。

用紙の形式のみを配布する

配布先のパソコンにプリンタードライバーがインストールされている場合は、用紙の情報のみを配布します。

- 1 配布元のパソコンでフォーマットの各項目を設定し、[エクスポート] をクリックします。(詳しくは、「用紙サイズ設定」(65 ページ) をご覧ください。) 次のファイルが作成されます。
RJ-2150 :
bsr215ed.txt、bsr215ed.ptd、pdt3937.bin
RJ-2140 :
bsr214ed.txt、bsr214ed.ptd、pdt3837.bin
RJ-2050 :
bsr205ed.txt、bsr205ed.ptd、pdt3737.bin
RJ-2030 :
bsr203ed.txt、bsr203ed.ptd、pdt3637.bin
- 2 bsr215ed.txt、bsr214ed.txt、bsr205ed.txt、または bsr203ed.txt を配布先のパソコンに保存します (任意の場所)。
- 3 配布先のパソコンで、[インポート] をクリックします。フォーマットが置き換えられます。

モバイル端末から印刷する際に設定を変更する

モバイル端末から印刷する場合、必要に応じて、印刷する前にアプリケーションを使用して設定を変更します。変更できる設定は、アプリケーションによって異なります。

メモ

モバイル端末に接続する前に、本機をパソコンに接続し、プリンター設定ツールを使用することで、詳細な設定を指定できます（「プリンターの設定を変更する」（31 ページ）をご覧ください）。

本体設定情報の印刷

↑ (フィード) ボタンを使用して、以下のように本体設定情報のレポートを印刷できます。

- プログラムのバージョン情報
- プリンターの使用履歴
- ドット抜け確認用パターン
- プリンター設定情報
- 転送データの一覧
- ネットワークの設定情報



メモ

- 印刷する項目は、事前に本体設定で設定できます（「本体設定」(51 ページ) をご覧ください）。
- 「本体設定」欄には、ノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」となっています。（「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の **MAC** アドレス、イーサネットアドレスに基づいています。）
- 本体設定情報の印刷は、プリンター設定ツールでも行えます。

- 1 58 mm 幅のロール紙（レシート）がセットされ、ロール紙カバーが閉まっていることを確認します。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 液晶ディスプレイに「印刷中」というメッセージが表示されるまで、↑ (フィード) ボタンを長押しします。

マスストレージ機能

内容

マスストレージ機能を使用すると、プリンタードライバーを使用することなく、USB インターフェイスを通じて本機にファイルを送信することができます。

この機能は、次の場合に便利です：

- 本機に、コマンドファイル（.bin 形式）に保存された本体設定を適用したり、管理者が配布した .blf 形式ファイルのテンプレートデータを追加する場合
- プリンタードライバーをインストールせずに、コマンドを実行する場合
- データを印刷し送信するための USB ホスト機能を持ったオペレーションシステム（Windows 以外のオペレーションシステムを含む）を搭載したデバイスを使用する場合

4

マスストレージ機能を使用する

- 1 本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 **[Menu]** ボタンを押しながら、（電源） ボタンを長押しします。
本機がマスストレージモードで起動します。液晶ディスプレイに「マスストレージ」と表示されます。
- 3 パソコンなどの装置と本機を USB で接続します。
本機のマスストレージ領域がパソコンなどの装置の画面に表示されます。



メモ

マスストレージ領域が自動的に表示されない場合は、表示方法について、お使いのパソコンなどの装置の取扱説明書をご覧ください。

- 4 対象のファイルをドラッグ & ドロップで、マスストレージ領域にコピーします。
- 5 **[Menu]** ボタンを押します。
コマンドファイルが実行されます。液晶ディスプレイに「転送中」と表示されます。
- 6 ファイルの実行後、液晶ディスプレイに「マスストレージ」と再度表示されます。
- 7 マスストレージモードを解除するには、本機の電源を切ります。
再度起動したときに、本機は通常モードで起動します。

❗ 重要

- 電源を切ると、マスのストレージモードが解除され、マスのストレージ領域内のファイルは削除されます。
- この機能で使えるファイル形式は、.bin、.blf、.jpg です。他の形式のファイルは使えないでください。
- マスのストレージ領域内にフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成した場合、フォルダー内のファイルは実行されません。
- マスのストレージ領域の容量は、2.5MB です。2MB 以上のファイルの使用は、動作を保証できませんのでご注意ください。
- 複数のファイルをコピーした場合、ファイルの実行順は保証できませんのでご注意ください。
- 本機がマスのストレージモードで動作している間は、Wi-Fi 機能と Bluetooth 機能を使用できません。
- コピーしたファイルの実行中は、マスのストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。

JPEG 印刷について

画像データ（JPEG）は、プリンタードライバーを使用せずに印刷できます。

📝 メモ

- JPEG 画像は、マスのストレージ機能を使用して印刷できます。
- Bluetooth 接続による印刷には OPP（Object Push Profile）が使用されます。
- 本機は、ディザリング処理を使用して、カラーの JPEG 画像をモノクロの画像に変換します。
- すでにモノクロの JPEG 画像を送信すると、ディザリングによって印刷した画像が不鮮明になることがあります。
- このような画像品質を改善するためには、JPEG 画像の前処理をオフにしてください。

■ 印刷できるのは JPEG 画像のみです。（拡張子 .jpg のファイルに限定されます。）

■ 最大ファイルサイズは 5MB です。
（マスのストレージ機能を使用する場合は 2.38MB。）

■ 最大解像度は次のとおりです。

高さ × 幅 = 8000×432 ドット

これらのドット数を超える場合、プリンターが受信するデータは廃棄され、印刷されません。

■ 印刷は 1 ピクセル = 1 ドットです。

■ 本機は、二値画像処理（シンプルバイナリー）を実行して画像を印刷します。

■ 画像は、受信したデータの高さと幅の比率で印刷されます。

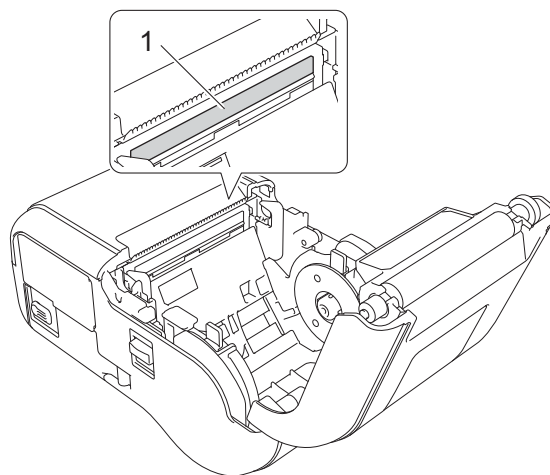
データ更新

データ更新機能は、更新ファイルがあるネットワークフォルダに接続して、プリンター設定をほぼ自動で更新できる機能です。データ更新について詳しくは、「データ更新をする（RJ-2150/2140/2050 のみ）」（28 ページ）をご覧ください。

本機は、必要に応じてお手入れをしてください。ほこりの多い場所など、使用される環境によっては、頻繁にお手入れをする必要があります。

プリントヘッドのお手入れ

イソプロピルアルコールもしくはエタノール*を使用して、乾燥した糸くずの出ない布でプリントヘッドを拭いてください。頻繁にお手入れしてください。

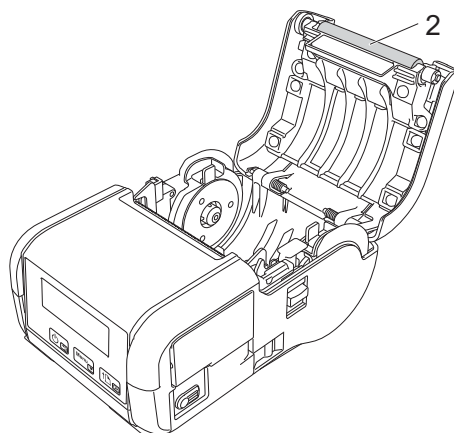


1 プリントヘッド

* 必要に応じて、製造元の安全ガイドラインに従って使用してください。

ローラーのお手入れ

イソプロピルアルコールもしくはエタノール*を使用して、乾燥した糸くずの出ない布でローラーを拭いてください。清掃したあとは、ローラーに糸くずなどが残っていないことを確認してください。

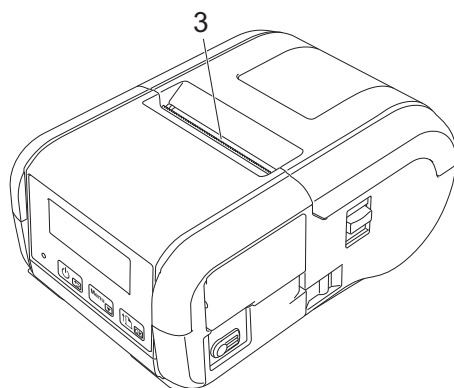


2 ローラー

* 必要に応じて、製造元の安全ガイドラインに従って使用してください。

用紙排出口のお手入れ

用紙排出口に付着した糊で紙詰まりする場合、または用紙排出口が汚れた場合は、用紙排出口をイソプロピルアルコールに浸した布で拭き取ってください。



3 用紙排出口



アプリケーション

ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor の使用方法	79
P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法	88
P-touch Transfer Express でテンプレートデータを転送する	104
プリンターのソフトウェア更新方法	113

ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor を使用する

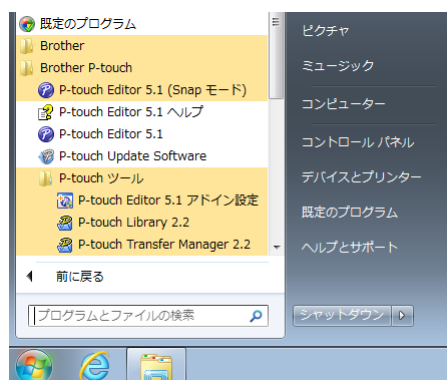
パソコンを使用してプリンターを使用するには、P-touch Editor とプリンタードライバをインストールする必要があります。

最新のドライバとソフトウェアをダウンロードするには、こちら (install.brother) をご覧ください。

P-touch Editor を使用する

P-touch Editor を起動する

- 1 **Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合**
スタートボタンで、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Editor] をクリックします。
P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。



Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で [P-touch Editor] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

Windows 10 の場合

スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] 下の [P-touch Editor] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

メモ

- インストール時にショートカットを作成しておく、ショートカットから P-touch Editor を起動することもできます。
 - デスクトップのショートカットをアイコンダブルクリックします。
 - クイック起動バーのショートカットをアイコンダブルクリックします。
- 起動時に P-touch Editor の機能を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで [ツール] - [オプション] をクリックします。[オプション] ダイアログボックスが表示されます。[全般] のタブの [起動時の設定] の [動作] プルダウンから必要な設定を選択します。初期設定は [新規ビューを表示] です。

2 画面でオプションを選択します。

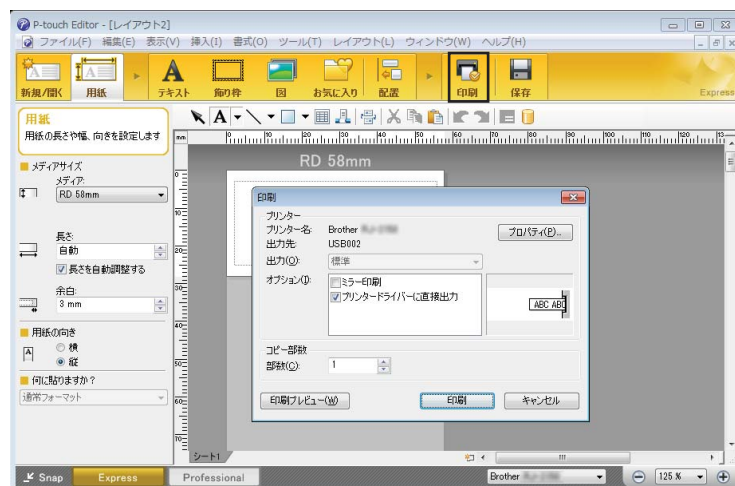


- 新しいレイアウトを作成するには、[新しいレイアウト] ボタンをダブルクリックするか、[新しいレイアウト] を選択して [→] をクリックします。
- 定型レイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、希望するカテゴリーボタンをダブルクリックするか、希望のカテゴリーボタンを選択して [→] をクリックします。
- 定型レイアウトをデータベースに接続するには、[データベースを接続する] の隣のチェックボックスを選択します。
- 既存のレイアウトを開くには、[開く] をクリックします。

P-touch Editor を使用して印刷する

Express モード

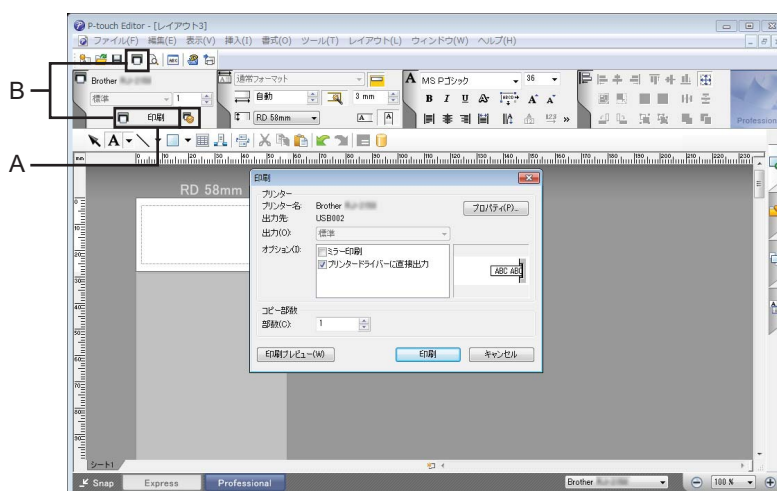
このモードでは、テキストや画像を使用して簡単にラベルレイアウトを作成できます。
以下に、[Express] モード画面について説明します。



メニューバーの [ファイル] から [印刷] を選択する、または [印刷] のアイコンをクリックすると印刷できます。(印刷する前に [印刷] 画面で印刷設定を行ってください。)

Professional モード

このモードでは、多様なツールとオプションを使い、本格的なラベルレイアウトを作成できます。
以下に、[Professional] モード画面を説明します。



メニューバーの [ファイル] から [印刷] を選択する、または [印刷] のアイコン (A) をクリックすると印刷できます。印刷する前に [印刷] 画面で印刷設定を行ってください。

また、印刷設定を選択しなくても、“B”を選択すると印刷を開始できます。

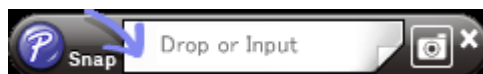
Snap モード

このモードを使用すると、パソコン画面のコンテンツのすべてまたは一部を取り込み、画像として印刷し、いつでも使用できるように保存できます。

- 1 **[Snap]** モード選択ボタンをクリックします。
[Snap モードの説明] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 **[OK]** をクリックします。
[Snap] モードパレットが表示されます。

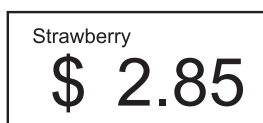


テンプレートデータ作成について

パソコンから P-touch Editor を使用し、ラベルレイアウトを作成します。P-touch Editor はこちら (install.brother) からダウンロードできます。使用の詳細は、「ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor の使用方法」(79 ページ) をご覧ください。

テンプレートデータの作成

■ ラベルサンプル



- 1 Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
スタートメニューから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Editor] をクリックします。

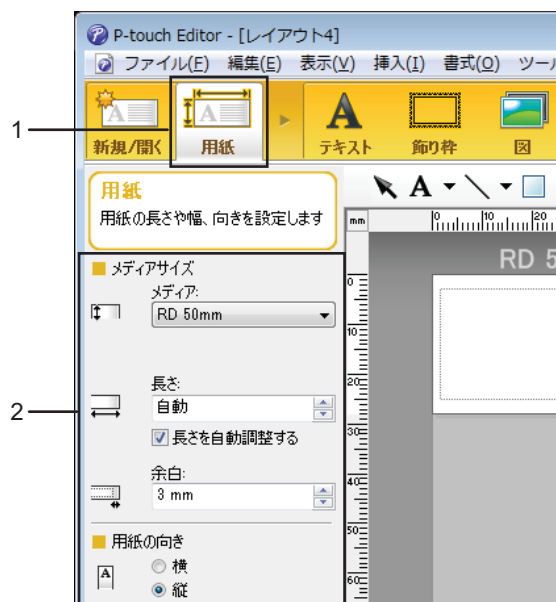
Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で [P-touch Editor] をクリックするか、デスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

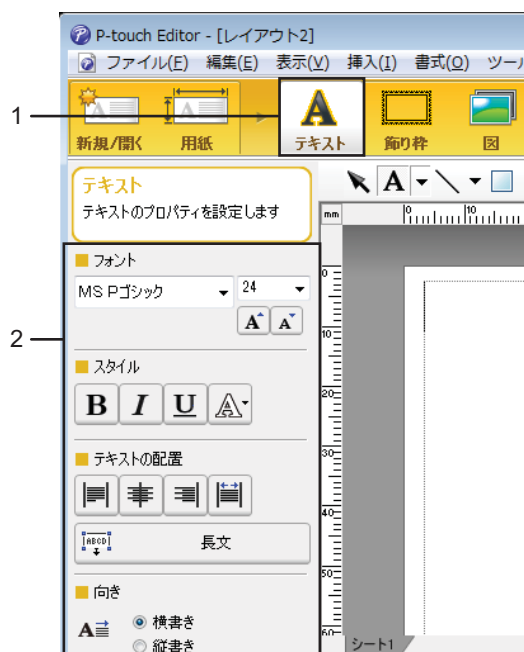
Windows 10 の場合

スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] 下の [P-touch Editor] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

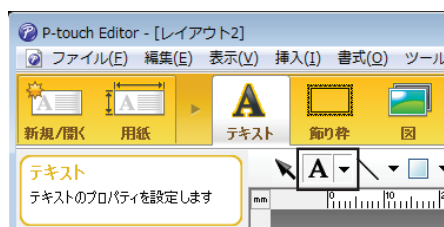
- 2 [新規 / 開く] ダイアログボックスが表示されたら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。
- 3 [用紙] (1) をクリックし、用紙と長さ (2) を指定します。(この画面は [Express] モードで表示されます。)



- ④ [テキスト] (1) をクリックし、フォントとスタイル (2) を指定します。



- ⑤ **A** をクリックするとカーソルが表示されますので、テキストを入力します。

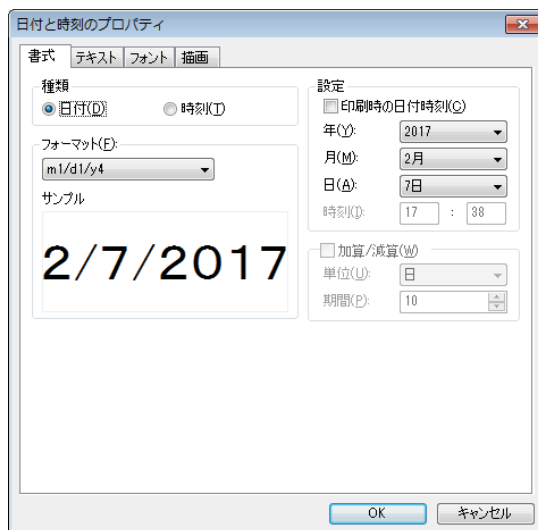


6

- ⑥ テキストを挿入し、テキストボックスをクリックしてテキストをテンプレートに移動します。
- ⑦ 手順 ⑤ と ⑥ を繰り返して、テキストを入力しレイアウトを整えます。
テキストを入力します。次にメニューバーの [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を指定してデータを保存します。

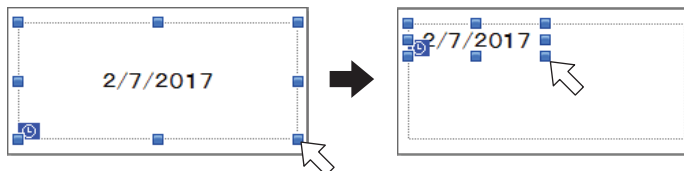
日付と時間をラベルに挿入する

- 1 P-touch Editor で、編集するラベルレイアウトを開きます。
- 2 メニューバーで、[挿入] - [日付と時刻] をクリックして [日付と時刻のプロパティ] ダイアログボックスを表示します。挿入するテキスト形式の設定を選択します。



❗ 重要

ラベルに挿入した日付と時間は、プリンターに内蔵された文字サイズで印刷されます。文字サイズは日付と時間のオブジェクトのサイズにより決定されるため、P-touch Editor でオブジェクトを必要なサイズに調整します。その後、ラベルレイアウトをプリンターに転送してください。



データベースとテンプレートデータをリンクする

■ ラベルサンプル

Strawberry	Orange	Apple
\$ 2.85	\$ 1.55	\$ 2.15

作成したテンプレートデータにデータベースをリンクできます。テンプレートデータのテキストはデータベースのテキストと置き換えられるため、テンプレートデータを1つ作成することで複数のラベルを簡単に印刷できます。

データベースの設定について、詳しくは **[P-touch Editor ヘルプ]** を参照してください。

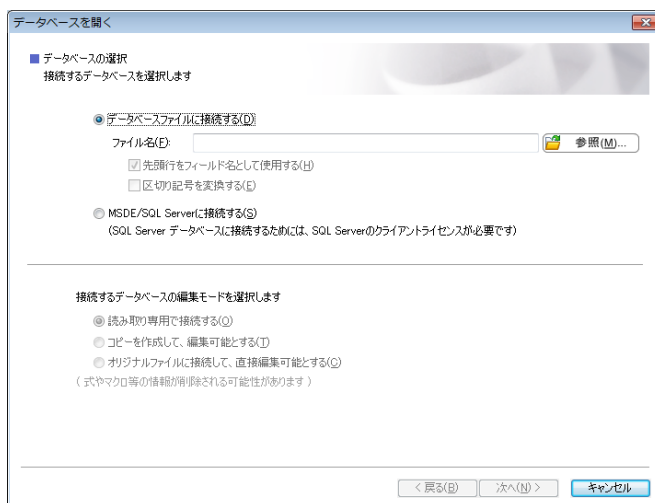
- 1 あらかじめデータベースファイルを準備します。



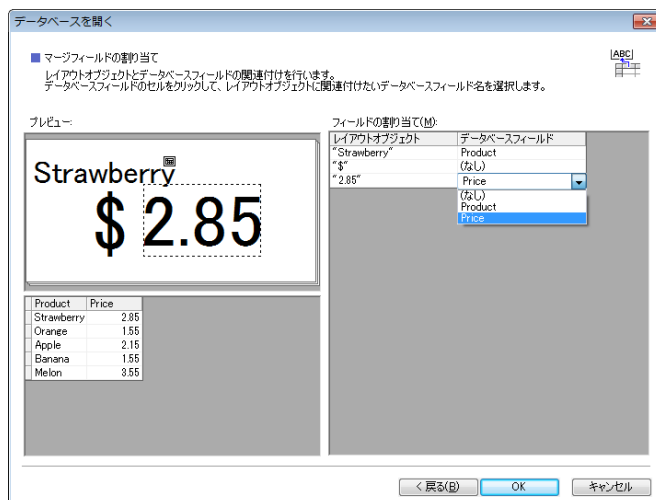
メモ

- XLS、XLSX、MDB、CSV、TXT、ACCDB 形式で保存したファイルがデータベースとして使用できます。
- 1つのテンプレートデータに1つのデータベースをリンクできます。そのデータベースには、最大 65,000 レコードを作成できます。(テンプレートデータとデータベースの合計サイズは 12MB です。)

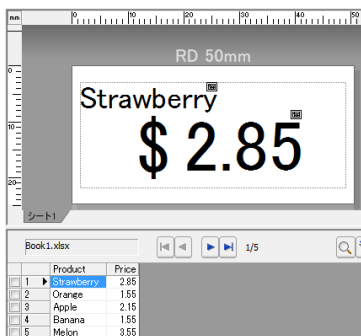
- 2 P-touch Editor で、データベースにリンクさせたテンプレートデータを開きます。
- 3 メニューバーで、**[ファイル]** - **[データベース]** - **[接続]** をクリックして **[データベースを開く]** ダイアログボックスを表示します。**[データベースファイルに接続する]** を選択し、**[参照]** をクリックし、リンクさせたいデータベースを選択します。



- 4 [次へ] をクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。[フィールドの割り当て] の下の [データベースフィールド] で、どのデータベースコラムをどのオブジェクトにリンクさせるかを指定し、[OK] をクリックします。



- 5 テンプレートデータとデータベースがリンクし、メイン画面が表示されます。データベース行をクリックすると、その行のテキストに置き換えたラベルが表示されます。



最後に、P-touch Transfer Manager を使用して作成したテンプレートデータをプリンターに転送します。詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」(89 ページ) をご覧ください。

P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法

P-touch Transfer Manager

このアプリケーションを使用すると、テンプレートデータやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存できます。

P-touch Transfer Manager を使用してデータをプリンターに転送後、P-touch Template を使用して、テンプレートデータに挿入し印刷するテキストデータをプリンターに送信します。P-touch Template について、詳しくはサポートサイトから、「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。(support.brother.co.jp)

[製品から探す] - [製品マニュアル]

次のいずれかの方法を使用して、テンプレートデータやその他のデータを転送することができます。

■ USB 経由 (詳細については、「パソコンからプリンターへテンプレートデータやその他のデータを転送する」(92 ページ) をご覧ください。)

■ ネットワーク経由

ネットワーク経由で、テンプレートデータやその他のデータを転送するには、P-touch Transfer Manager または BRAdmin Professional を使用します。

BRAdmin Professional は弊社のウェブサイトからダウンロードできます。

P-touch Library

このアプリケーションを使用すると、パソコンを使用して P-touch Template やその他のデータを管理できます。

P-touch Library はテンプレートの印刷に使用できます。

ネットワーク経由でテンプレートデータを転送するには、P-touch Transfer Manager または BRAdmin Professional を使用します。BRAdmin Professional は、弊社のウェブサイトからダウンロードできます。

P-touch Transfer Manager を使用する

P-touch Transfer Manager を使用するには、最初に P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する必要があります。

テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する

- 1 テンプレートデータとして使用するラベルレイアウトを P-touch Editor で作成し、[ファイル] - [名前を付けて保存] メニューを選択してテンプレートファイル (*.lbx) として保存します。
 - 2 [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。
- P-touch Transfer Manager が起動すると、メイン画面が表示されます。



メモ

次の方法でも P-touch Transfer Manager を起動できます。

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合

スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

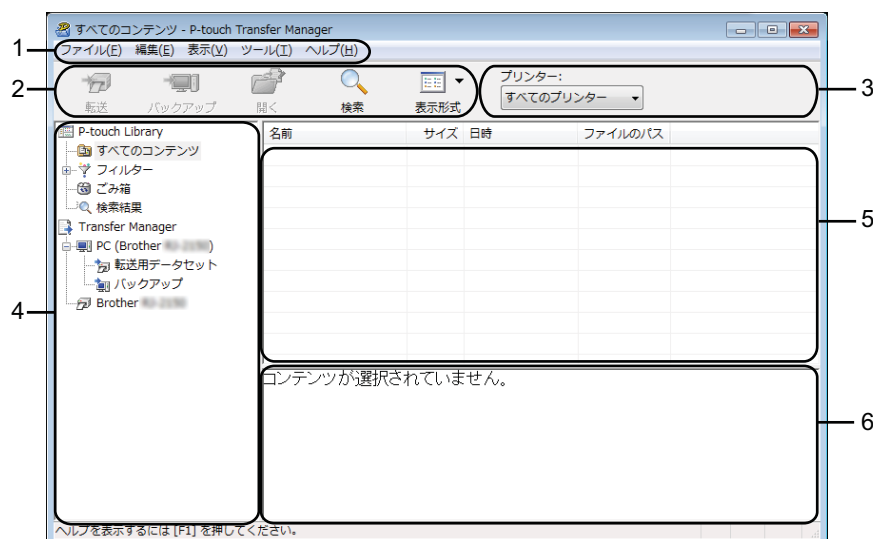
Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

Windows 10 の場合

スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] 下の [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル（[ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、[ヘルプ]）の下にグループ化された様々なコマンドにアクセスできます。

2 ツールバー

頻繁に使用するコマンドへアクセスできます。

3 プリンター機種選択メニュー

データ転送先のプリンターを選択できます。プリンターを選択すると、選択したプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

4 フォルダーリスト

フォルダーとプリンターのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択フォルダー内のテンプレートデータがテンプレートデータリストに表示されます。

プリンターを選択すると、現在のテンプレートデータとプリンターに保存されているその他のデータが表示されます。

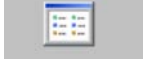
5 テンプレートデータリスト

選択フォルダー内のテンプレートデータのリストを表示します。

6 プレビュー

テンプレートデータリスト内のテンプレートデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送 (P-touch Transfer Manager 用のみ)	テンプレートデータやその他のデータをパソコンからプリンターに転送します。
	転送ファイル保存 (プリンターを接続していないとき)	データのファイル形式を他のアプリケーションに転送されるように変更します。 Wi-Fi 経由でデータを転送する場合は、「BLF」形式を、USB 経由でデータを転送する場合は、「PDZ」形式を選択します。 使用できるインターフェイスは、お使いの機種によって異なります。
	バックアップ (P-touch Transfer Manager 用のみ)	プリンターに保存されたテンプレートデータやその他のデータを検索し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Library 用のみ)	選択したテンプレートデータをプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他のデータを検索できます。
	スタイル表示	ファイル表示スタイルを変更します。

パソコンからプリンターへテンプレートデータやその他のデータを転送する

次の手順を使用して、テンプレート、データベース、画像をパソコンからプリンターに転送します。

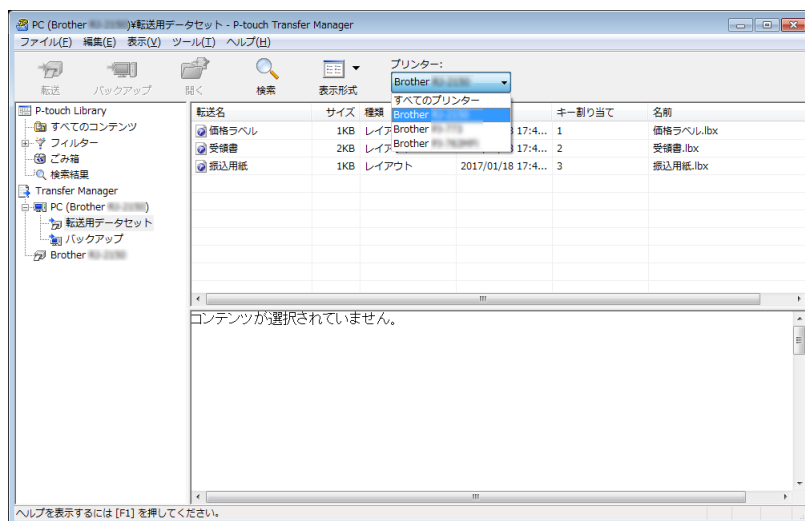
- ① USB ケーブルまたは Wi-Fi でパソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
- ② P-touch Transfer Manager を起動します。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。
フォルダー表示のプリンターを選択すると、現在のテンプレートデータとプリンターに保存されている
その他データが表示されます。



メモ

- プリンターが接続されていない、またはオフラインの場合は、フォルダー表示にプリンター名は表示されません。
- データを転送する前に、パソコンとプリンターが **USB ケーブル**または **Wi-Fi** で正しく接続されていること、およびプリンターの電源が入っていることを確認します。

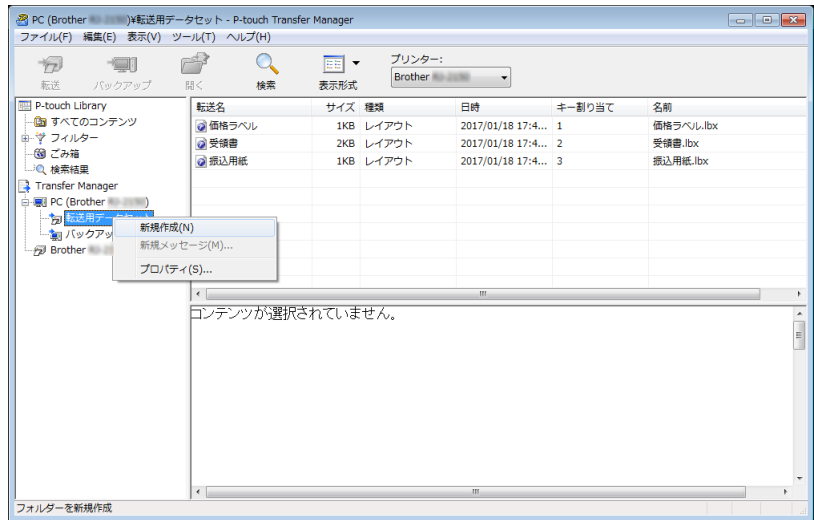
- ③ テンプレートデータやその他のデータを転送するプリンターを選択します。



メモ

データを転送する前に、パソコンとプリンターが **USB ケーブル**または **Wi-Fi** で正しく接続されていること、およびプリンターの電源が入っていることを確認します。

- ④ [転送用データセット] を右クリックし、[新規作成] を選択し、新しいフォルダーを作成します。



- ⑤ 転送するテンプレートデータやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

転送機能仕様

データタイプ	最大転送可能項目数	制限詳細
テンプレート	255	■ 各テンプレートには最大 255 オブジェクトを収納できます。
データベース	255	■ *.csv ファイルのみ転送できます。 ■ 各 *.csv ファイルには、 65,000 レコードを収納できます。
画像 (ユーザー定義文字)	255	■ *.bmp ファイルのみ転送できます。 ■ モノクロ *.bmp ファイルを推奨します。 ■ サイズ制限は 432X432 ピクセルです。

メモ

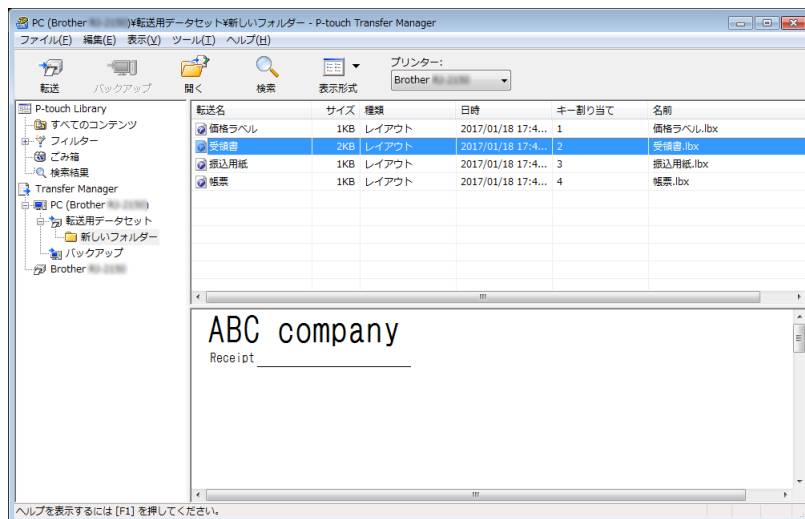
本体設定情報を印刷することで、転送ファイルメモリの空き領域を確認できます。
プリンターの $\uparrow$ (フィード) ボタンを長押しして、本体設定情報を印刷します。
空き領域については [RomFree] を参照してください*。

* 「Memory = *****byte」に表示される空き領域は、実際の空き領域とは異なることがあります。

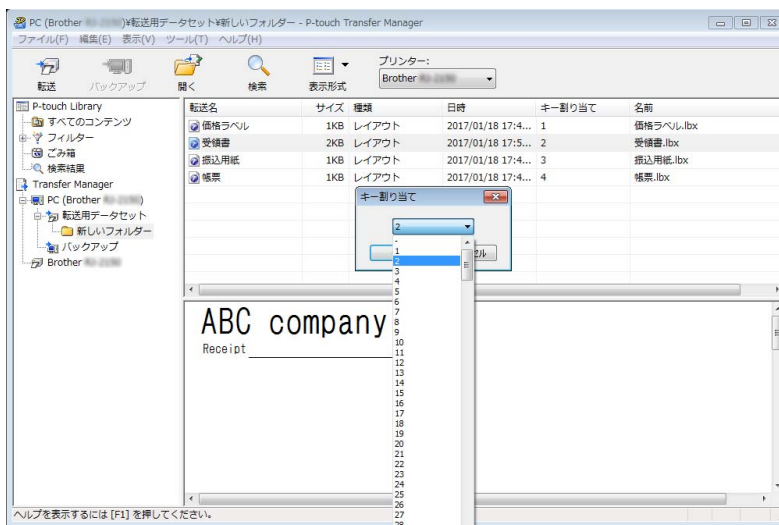
[転送用データセット] フォルダー内のフォルダーを選択し、[すべてのコンテンツ] を選択する、または [レイアウト] など、[フィルター] にあるカテゴリの 1 つを選択することで、テンプレートデータやその他のデータを表示できます。

複数のテンプレートデータやその他のデータを転送する場合は、転送するすべてのファイルをドラッグし、新しいフォルダーに格納します。

各ファイルを新しいフォルダーに格納すると、キー割り当て番号（プリンター内のメモリ場所）が割り当てられます。



- 6 キー割り当て番号を変更する場合は、ファイルを右クリックし、[キー割り当て] を選択して、キー割り当て番号を選択します。

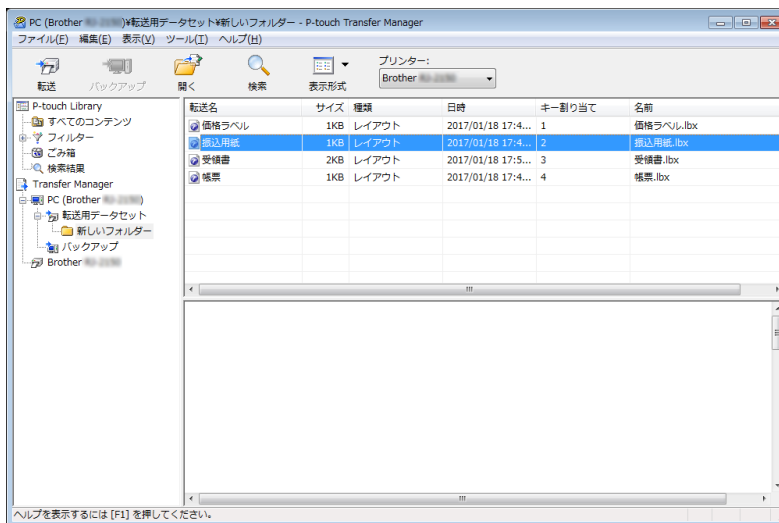


メモ

- プリンターに転送するすべてのデータに、キー割り当て番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されたテンプレートデータやその他のデータが、すでにプリンターに保存されている他のテンプレートデータと同じキー番号の場合は、新しいテンプレートデータが上書きされます。プリンターに保存されたテンプレートキー番号の割り当ては、テンプレートデータやその他のデータをバックアップすることで確認できます（「プリンターに保存されたテンプレートデータやその他のデータをバックアップする」(97 ページ) をご覧ください）。
- メモリがいっぱいの場合は、プリンターに保存されているテンプレートデータを 1 ～ 2 ファイル削除してください。（「プリンターに保存されたテンプレートデータやその他のデータをバックアップする」(97 ページ) をご覧ください）。

- 7 転送するテンプレートデータなどのデータ名を変更するには、該当のデータをクリックして新しい名前を入力します。プリンターの機種によっては、データ名として使用可能な文字数に制限がある場合があります。

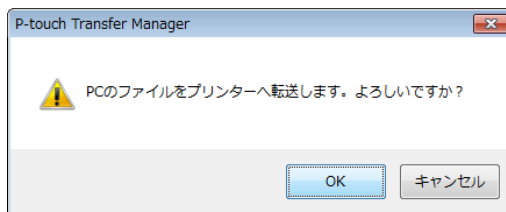
- 8 転送したいデータを含むフォルダーを選択し、**[転送]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。



メモ

- 個別のファイルを、フォルダーにまとめずにプリンターに転送することもできます。転送したいファイルを選択し、**[転送]** をクリックします。
- 複数の項目とフォルダーを選択し、1回の操作で転送できます。

- 9 **[OK]** をクリックします。



選択したテンプレートデータ、フォルダー、その他のデータがプリンターに転送されます。

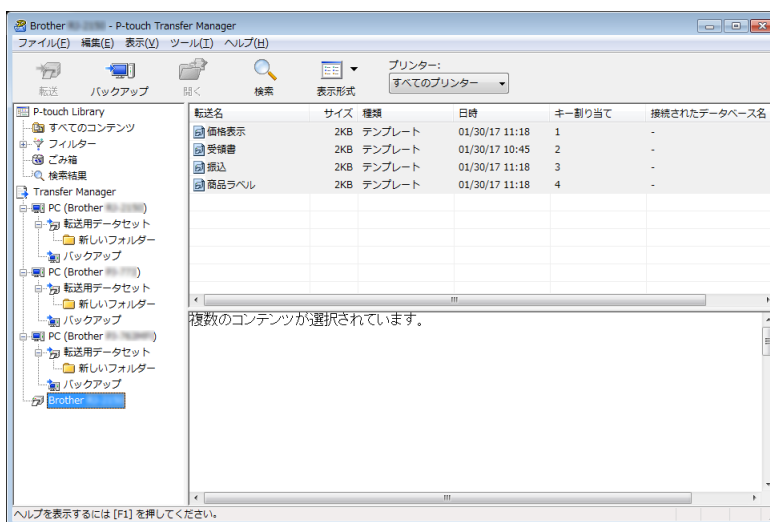
プリンターに保存されたテンプレートデータやその他のデータをバックアップする

プリンターに保存したテンプレートデータやその他のデータをパソコンに保存するには、以下の操作を行います。

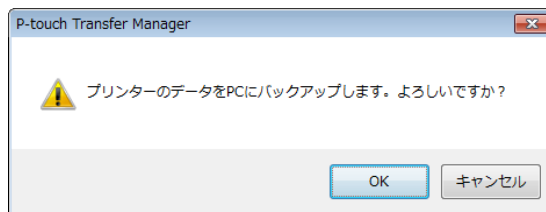
❗ 重要

- ・バックアップしたテンプレートデータやその他のデータは、パソコン上では編集できません。
- ・一部のプリンターの仕様では、オリジナルデータのバックアップ元と異なるモデルのプリンターにバックアップデータを再転送できない場合があります。

- 1 パソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
プリンターの機種名が、フォルダーリスト内に表示されます。
フォルダーリスト内のプリンターを選択すると、そのプリンターに保存されているテンプレートデータやその他のデータが表示されます。
- 2 バックアップするプリンターを選択し、[バックアップ] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。



- 3 [OK] をクリックします。
フォルダーリスト内のプリンターのフォルダーの下に、新しいフォルダーが作成されます。バックアップの日時がフォルダー名になります。
プリンターのテンプレートデータなどのデータが、すべて新しいフォルダーに転送され、パソコンに保存されます。



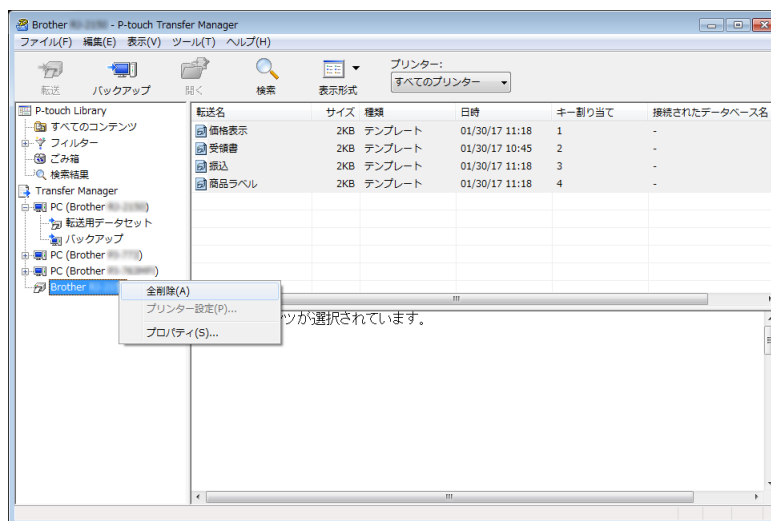
プリンター内のすべてのデータを削除する

プリンターに保存されたすべてのテンプレートデータやその他のデータを削除するには、以下の操作を行います。

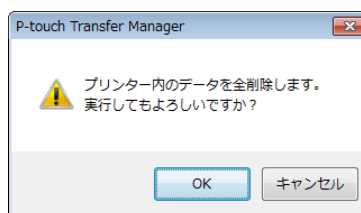
❗ 重要

この機能は、パソコンとプリンターを USB で接続しているときにのみ使用できます。

- 1 パソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
プリンターの機種名が、フォルダーリスト内に表示されます。
- 2 プリンターを選択して右クリックし、**[全削除]** を選択します。



確認メッセージが表示されます。



- 3 **[OK]** をクリックします。
プリンターに保存されているすべてのテンプレートデータやその他のデータが削除されます。

BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する

P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager を使って、BLF 形式または PDZ 形式で保存することができます。それらの形式ファイルは、ネットワーク経由でパソコンやモバイル端末からプリンターに登録できます。BLF 形式で保存されたファイルは、マスのストレージ機能での印刷にも使用します。

- 1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成し、Transfer Manager に転送します。
詳しくは、「テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する」(89 ページ) をご覧ください。
- 2 プリンターとパソコンを接続しない状態で、Transfer Manager 画面で **「転送データセット」** を選択し、保存するテンプレートデータを選択します。



メモ

一度に複数のテンプレートデータを選択できます。

- 3 **「ファイル」** - **「転送ファイル保存」** をクリックします。

重要

プリンターがパソコンと接続されていない、またはオフラインの場合に **「転送ファイル保存」** は表示されません。



メモ

- **「転送用データセット」** または作成したフォルダーを選択してから **「転送ファイル保存」** をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートデータが Transfer ファイル (.blf) または Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。
 - 複数のテンプレートデータを、1 つの Transfer ファイル (.blf) または Transfer Package ファイル (.pdz) にまとめることができます。
- 4 **「ファイルの種類」** で保存したい形式を選び、名前を付けて保存します。
マスのストレージ機能での印刷またはモバイル端末とプリンターを Wireless Direct か Wi-Fi で接続する場合は BLF 形式を、Bluetooth で接続する場合は PDZ 形式を選択します。
テンプレートデータは Transfer ファイル (.blf) または Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。

P-touch Library を使用する

P-touch Library を起動する

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合

[スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Library 2.2] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

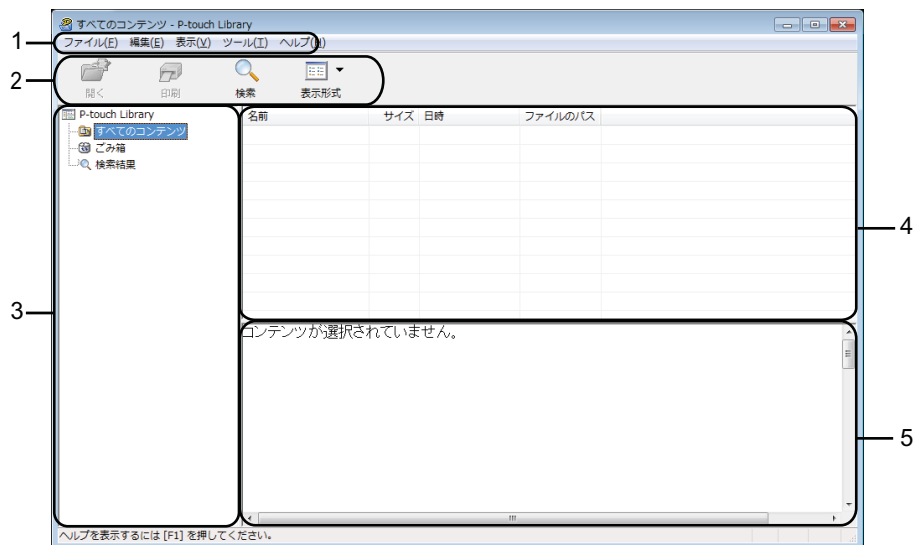
[アプリ] 画面で、[P-touch Library 2.2] をクリックします。

Windows 10 の場合

スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] 下の [P-touch Library 2.2] をクリックします。

P-touch Library が起動すると、メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル ([ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、[ヘルプ]) の下にグループ化された使用可能なすべてのコマンドにアクセスできます。

2 ツールバー

頻繁に使用するコマンドへアクセスできます。

3 フォルダーリスト

フォルダーのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択フォルダー内のテンプレートデータやその他のデータがテンプレートデータリストに表示されます。

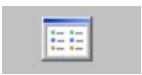
4 テンプレートデータリスト

選択フォルダー内のテンプレートデータやその他のデータのリストを表示します。

5 プレビュー

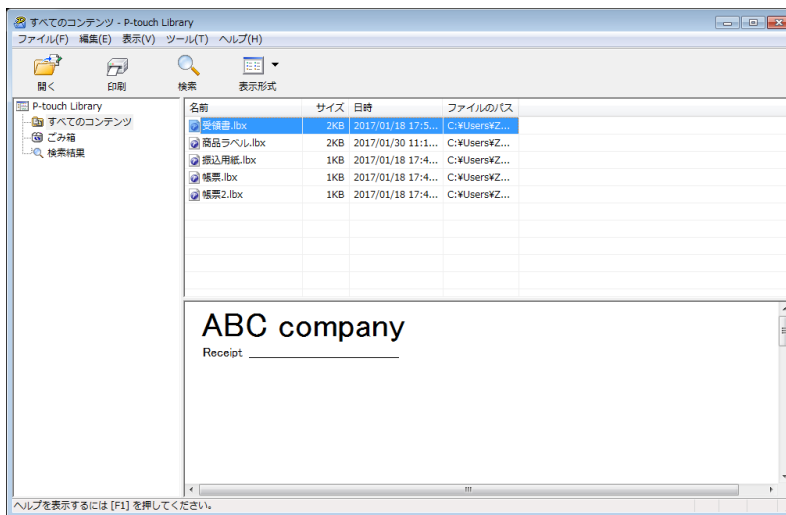
テンプレートデータリストで選択したテンプレートデータやその他のデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Library 用のみ)	選択したテンプレートデータをプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他のデータを検索できます。
	スタイル表示	ファイル表示スタイルを変更します。

テンプレートデータを開いて編集する

開く、または編集するテンプレートデータを選択し、[開く] をクリックします。



テンプレートデータに関連するアプリケーションが起動し、テンプレートデータの編集が可能になります。

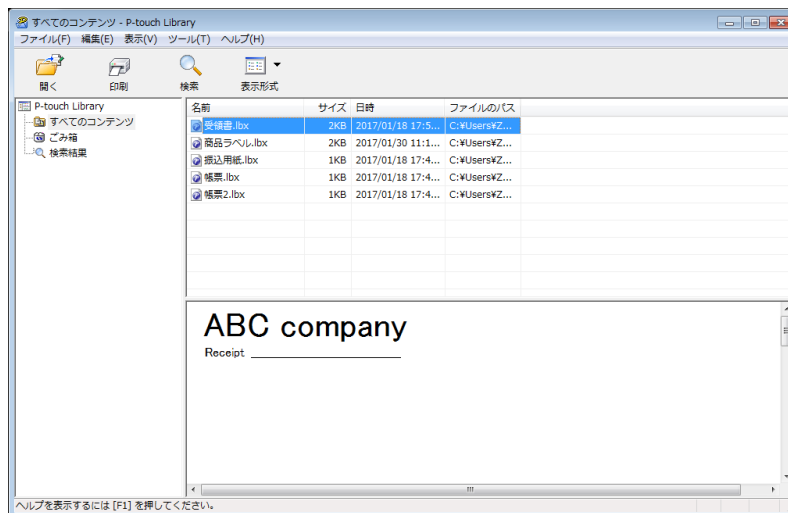


メモ

起動するアプリケーションは選択するファイルの種類によって異なります。たとえば、P-touch Template を選択すると、P-touch Editor が起動します。

テンプレートデータを印刷する

印刷するテンプレートデータを選択し、[印刷] をクリックします。

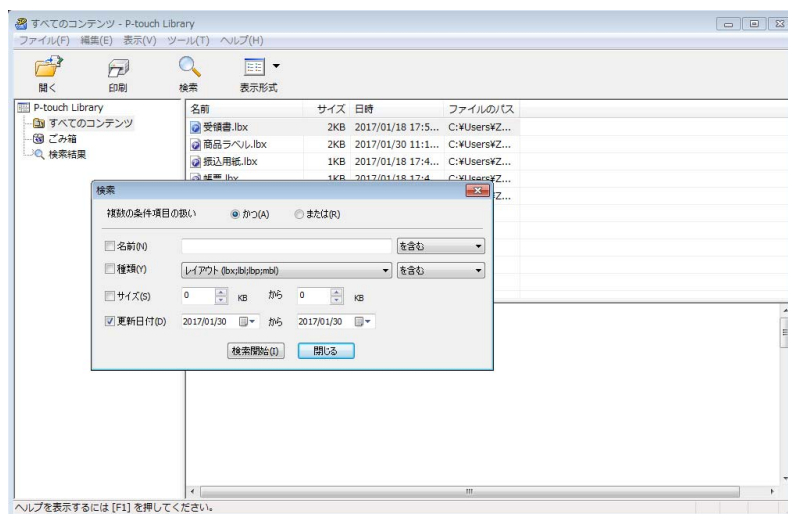


接続されたプリンターでテンプレートデータが印刷されます。

テンプレートデータやその他のデータを検索する

P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他のデータを検索できます。

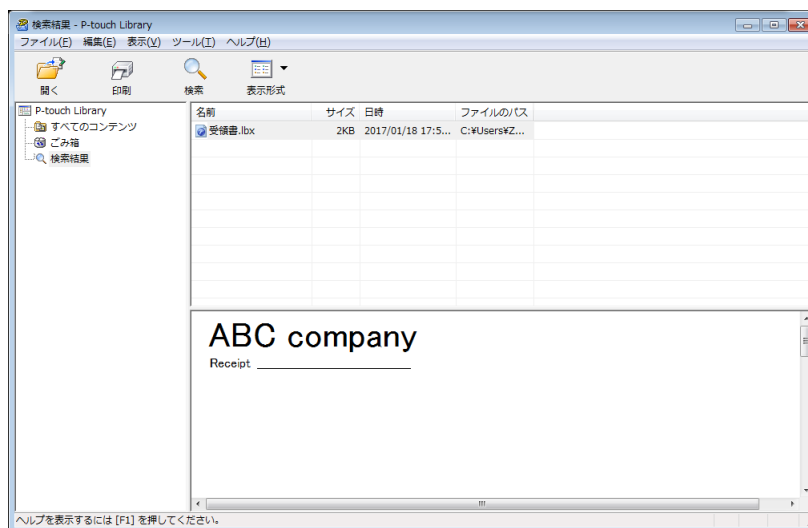
- 1 [検索] をクリックします。
[検索] ダイアログボックスが表示されます。



- ② 検索基準を指定します。
設定可能な検索項目は、以下の通りです。

設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の検索項目の組合せ方法が設定されます。[かつ] を選ぶと、すべての条件を満たすファイルが検索されます。 [または] を選ぶと、条件のいずれか 1 つを満たすファイルが検索されます。
名前	ファイル名を指定することで、テンプレートデータやその他のデータを検索できます。
種類	ファイルの種類を指定することで、テンプレートデータやその他のデータを検索できます。
サイズ	ファイルサイズを指定することで、テンプレートデータやその他のデータを検索できます。
更新日付	ファイルの更新日付を指定することで、テンプレートデータやその他のデータを検索できます。

- ③ [検索開始] をクリックします。
検索が開始されます。



- ④ [検索] ダイアログボックスを閉じます。
検索結果は、フォルダーリスト内の [検索結果] で確認できます。

メモ

テンプレートデータやその他のデータを P-touch Library に登録するには、[すべてのコンテンツ] フォルダーまたはフォルダーリストにドラッグアンドドロップします。テンプレートデータを自動的に P-touch Library に登録する場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 P-touch Editor のメニューで [ツール] - [オプション] を選択します。
- 2 [オプション] ダイアログボックスの [全般] タブで、[登録条件の設定] をクリックします。
- 3 P-touch Editor で作成したテンプレートデータを登録するタイミングを選択し、[OK] をクリックします。

P-touch Transfer Express でテンプレートデータを転送する

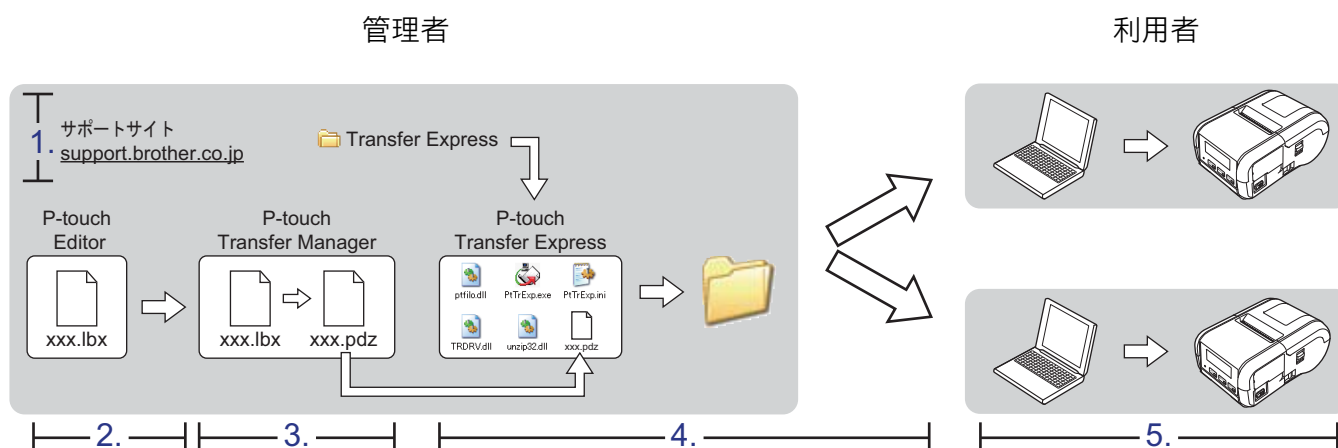
P-touch Transfer Express を使って、テンプレートデータをプリンターに簡単に転送することができます。管理者がテンプレートデータを作成し、テンプレートデータと P-touch Transfer Express を利用者に配布します。

利用者は P-touch Transfer Express を使って、テンプレートデータをプリンターに転送します。

1 人の管理者がラベルを作成するので、それぞれの利用者がラベルを作成する手間を省くことができます。

❗ 重要

- テンプレートデータを新しいテンプレートデータとして転送する場合は、必ず、P-touch Transfer Manager で現在使用していない [キー割り当て] 番号を指定してください。指定した [キー割り当て] 番号がすでに使用されている場合は、既存のテンプレートデータは新しいテンプレートデータで上書きされます。
- この機能には、USB 接続が必要です。



- 1 P-touch Transfer Express を準備する (105 ページ)
- 2 テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する (106 ページ)
- 3 テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する (107 ページ)
- 4 Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express を利用者に配布する (109 ページ)
- 5 Transfer Package ファイル (.pdz) を プリンターに転送する (110 ページ)

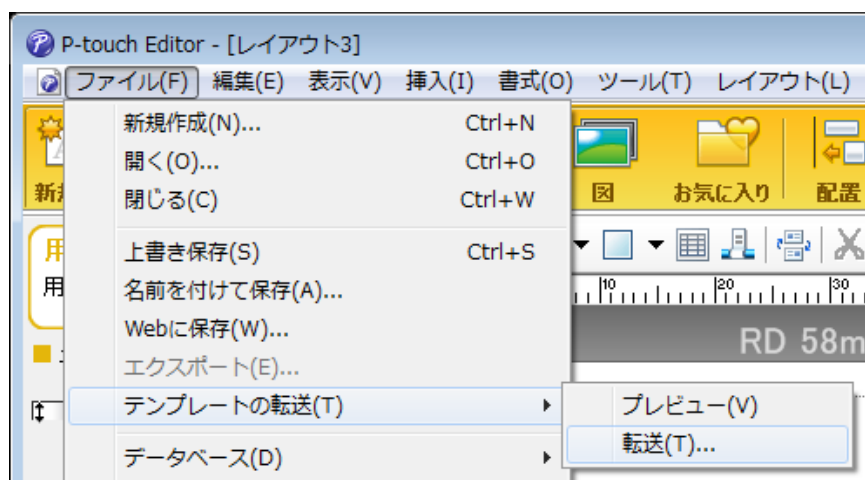
P-touch Transfer Express を準備する

テンプレートデータをプリンターに転送するには、P-touch Transfer Express の準備をする必要があります。

- 1 最新の P-touch Transfer Express は、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードできます。
[ダウンロード] をクリックします。
- 2 P-touch Transfer Express をパソコンの任意の場所にダウンロードします。
- 3 ダウンロードしたファイル (.zip) を解凍します。

テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する

- 1 テンプレートデータとして使用するラベルレイアウトを P-touch Editor で作成し、[ファイル] - [名前を付けて保存] メニューを選択してテンプレートファイル (*.lbx) として保存します。
- 2 [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。



テンプレートデータが P-touch Transfer Manager に転送されます。
P-touch Transfer Manager が自動的に起動します。

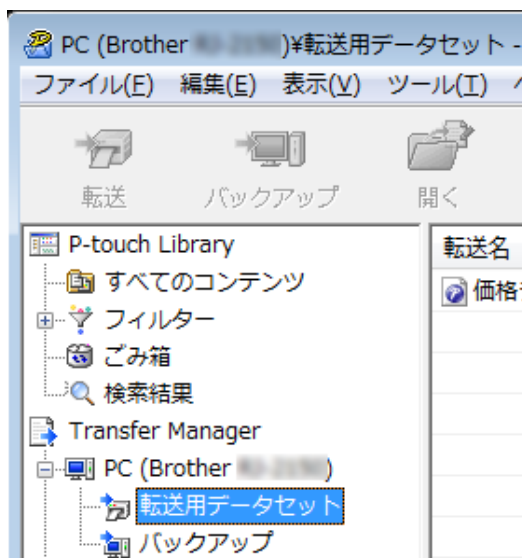
メモ

- **Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合**
スタートボタン - [すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。
- **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。
- **Windows 10 の場合**
スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager ウィンドウにドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。

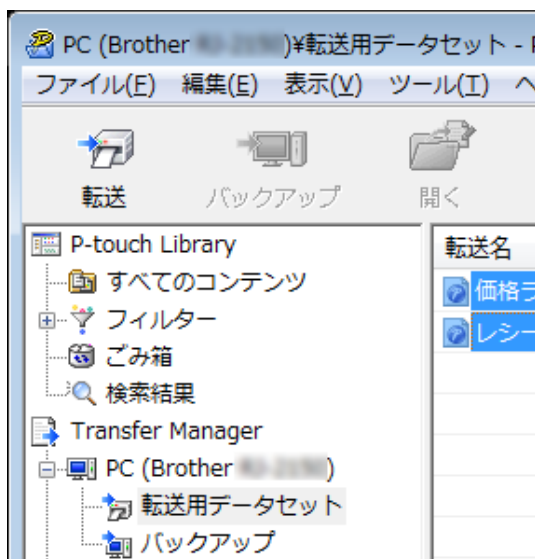
テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する

P-touch Transfer Express が使用できる形式でファイルを作成するために、テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存します。

- 1 フォルダービューで、[転送用データセット] を選択します。

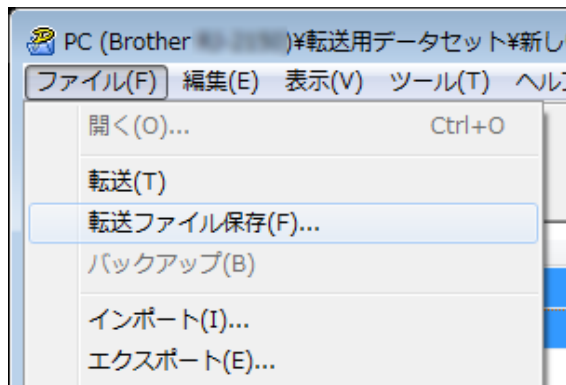


- 2 配布するテンプレートデータを選択します。



複数のテンプレートデータを選択できます。

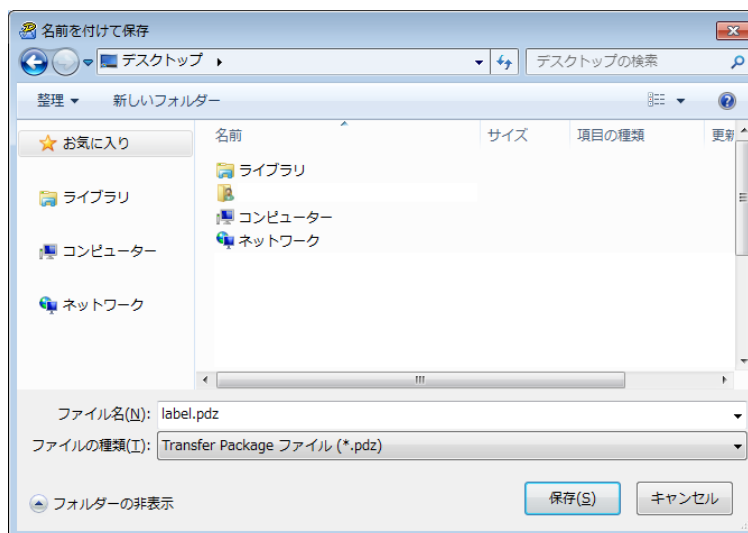
- ③ [ファイル] - [転送ファイル保存] をクリックします。



メモ

- [転送用データセット] または作成フォルダーを選択しながら [転送ファイル保存] をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートデータが Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。
- 複数のテンプレートデータを、1 つの Transfer Package ファイル (.pdz) にまとめることができます。

- ④ 名前を入力し、[保存] をクリックします。



テンプレートデータは Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。

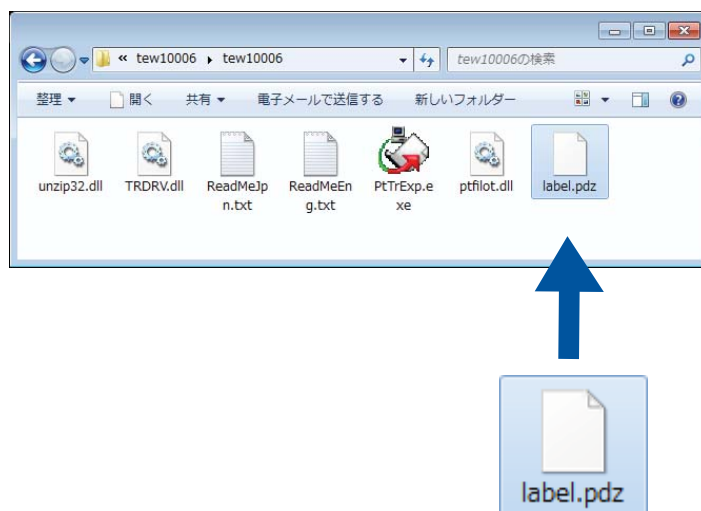
Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express を利用者に配布する



メモ

利用者がすでに P-touch Transfer Express をダウンロードしている場合は、管理者は P-touch Transfer Express を利用者に配布する必要はありません。利用者は、受け取った Transfer Package ファイルをダウンロードしたフォルダーの中に入れてから、**[PtTrExp.exe]** を実行してください。

- 1 Transfer Package ファイル (.PDZ) をダウンロードしたフォルダーに移動します。



- 2 ダウンロードしたフォルダー内のすべてのファイルを利用者に配布します。

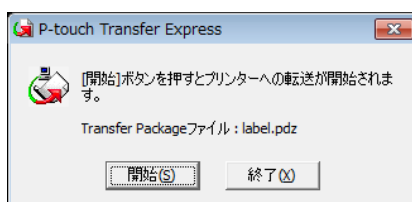
Transfer Package ファイル (.pdz) をプリンターに転送する

利用者は、管理者から受け取った P-touch Transfer Express を使って、Transfer Package ファイル (.pdz) をプリンターに転送します。

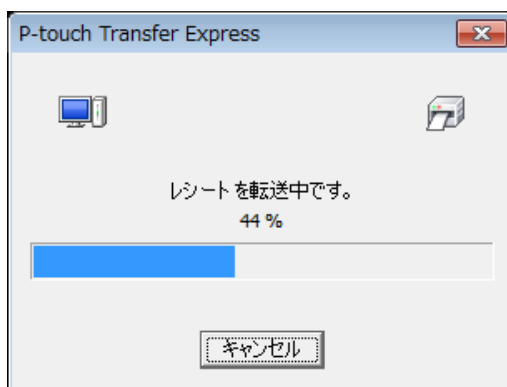
❗ 重要

テンプレートデータを転送中は電源を切らないでください。

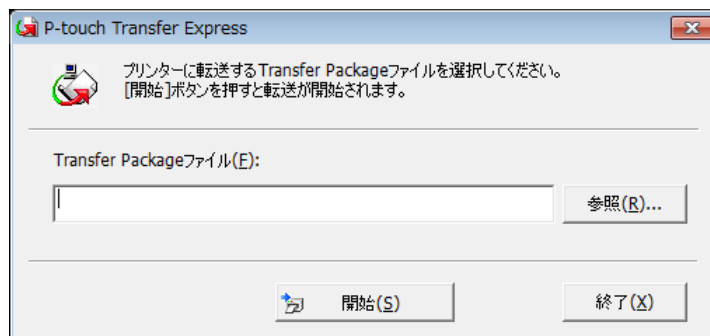
- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 3 管理者から受け取った **[PtTrExp.exe]** をダブルクリックします。
- 4 **[PtTrExp.exe]** と同じフォルダー内に、Transfer Package ファイル (.pdz) が 1 つあるときは **[開始]** をクリックします。



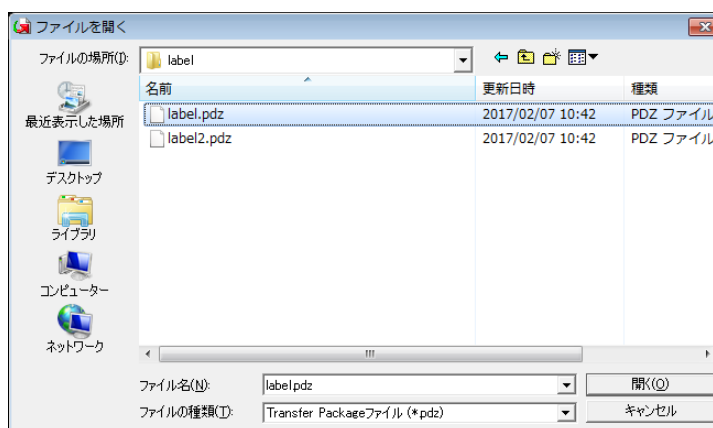
Transfer Package ファイルの転送が開始します。



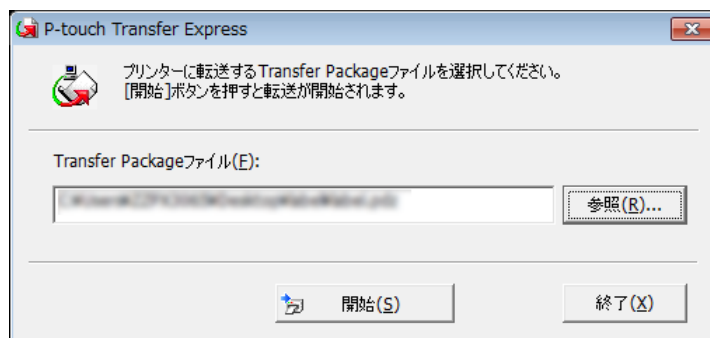
[PtTrExp.exe] と同じフォルダー内に、複数の Transfer Package ファイル (.pdz) がある、または 1 つもない場合は、[参照] をクリックします。



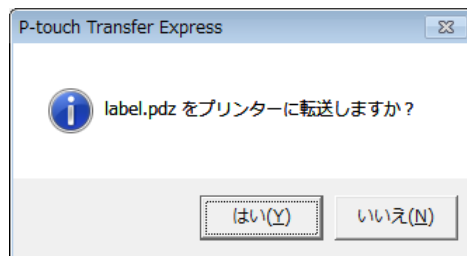
転送する Transfer Package ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



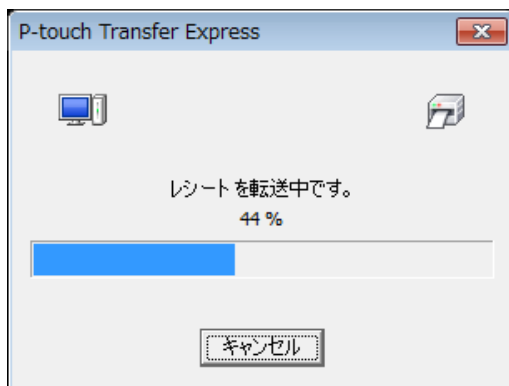
[開始] をクリックします。



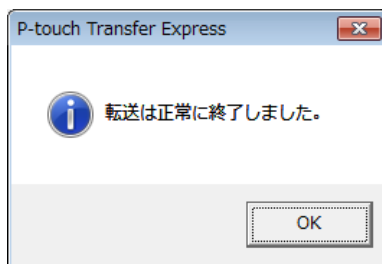
[はい] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が開始します。



5 [OK] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が完了しました。

ソフトウェアは、このツールを使用して最新の使用可能なバージョンにアップグレードできます。以下に示す手順に、XX-XXXX という表記があります。「XX」はプリンター名を表しています。



メモ

- P-touch Update Software を使用するには、弊社サポート サイト (install.brother) からダウンロードし、インストールしてください。インストールガイドはダウンロードページにあります。
- P-touch Update Software を使用するには、インターネットに接続する必要があります。
- ソフトウェアと本書の内容が異なる場合があります。
- P-touch Update Software をインストールすると、デスクトップにアイコンが自動的に表示され便利です。
- データを転送する場合またはファームウェアを更新する場合は、電源を切らないでください。

P-touch Editor をアップデートする



- 1 Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。



メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

Windows 8/ Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

Windows 10 の場合

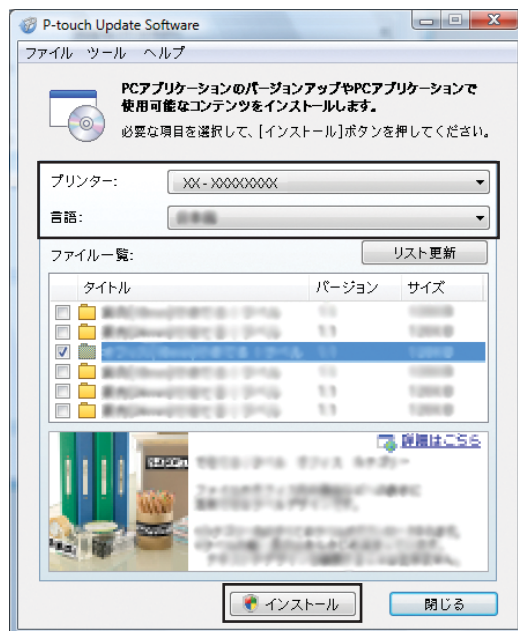
スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



② [PC 系アップデート] アイコンをクリックします。



③ [プリンター] と [言語] を選択し、P-touch Editor の隣にあるチェックボックスを選択し、[インストール] をクリックします。



④ インストール完了のメッセージが表示されます。

ファームウェアを更新する

❗ 重要

- ・ファームウェアを更新するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- ・データを転送する場合またはファームウェアを更新する場合は、電源を切らないでください。
- ・他のアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを終了してください。

- 1 プリンターの電源を入れ、USB ケーブルを接続します。
- 2 Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。

メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

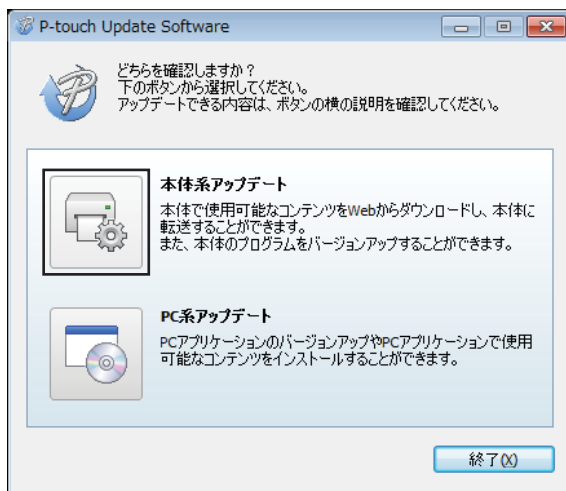
Windows 8/ Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

Windows 10 の場合

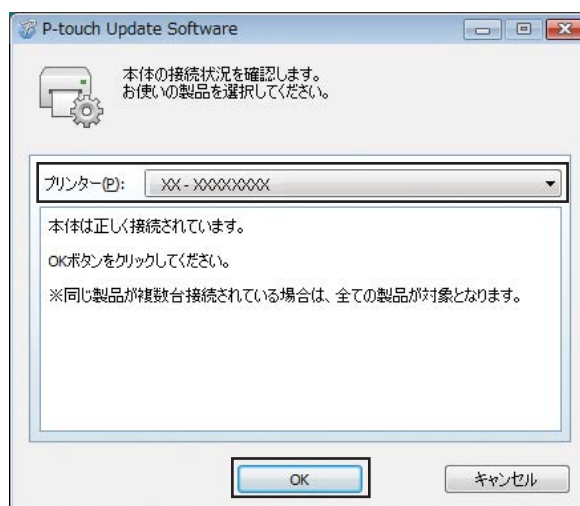
スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



- 3 [本体系アップデート] アイコンをクリックします。



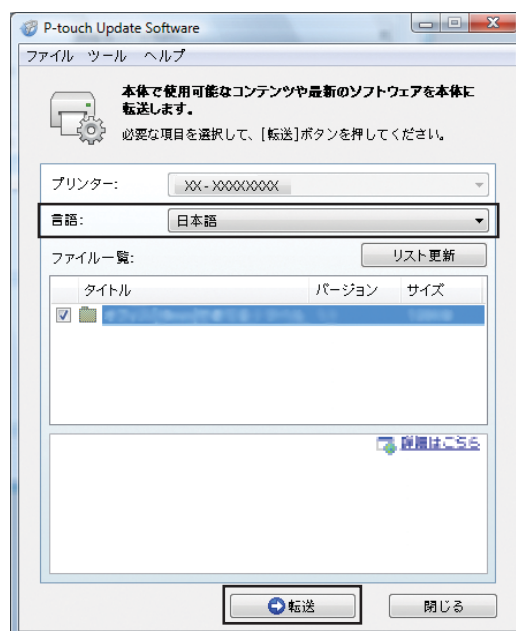
- 4 [プリンター] を選択し、[本体は正しく接続されています。] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



- 5 [言語] を選択し、更新するファームウェアの隣にあるチェックボックスを選択し、[転送] をクリックします。

重要

データ転送中は、プリンターの電源を切ったり、ケーブルを取り外したりしないでください。



- 6 アップデートしたい項目のチェックボックスをチェックして、[開始] をクリックします。ソフトウェアのダウンロードが開始します。



メモ

アップデート中に本機の電源を切らないでください。



無線ネットワーク (RJ-2150/2140/2050 のみ)

はじめに	118
プリンターのネットワーク設定を変更する	119
ウェブブラウザ (Web Based Management) で管理する	122

ネットワーク機能

プリンターは、内部ネットワークプリントサーバーを使用して IEEE 802.11b/g/n 無線ネットワークで共有できます。プリントサーバーは、使用しているオペレーティングシステムに応じて、ネットワーク対応 TCP/IP に関する様々な機能および接続方式をサポートします。

プリンターのネットワーク設定 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ) を変更する

BRAdmin Light ユーティリティを使用する

BRAdmin Light ユーティリティは、ブラザーネットワークに接続可能な装置の初期設定用に設計されています。また、TCP/IP 環境でブラザー製品を検索してステータスを表示し、IP アドレスなど基本ネットワーク設定を行うこともできます。

BRAdmin Light をインストールする

- 1 ソフトウェアのインストーラーとマニュアルは、弊社サポート サイト (install.brother) からダウンロードできます。
- 2 ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、BRAdmin Light を選択します。



メモ

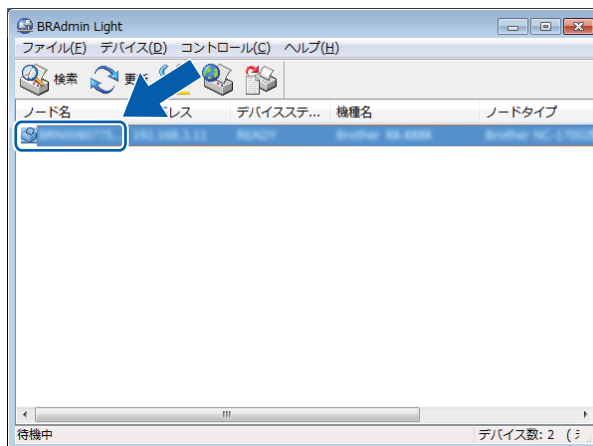
- より高度なプリンター管理が必要な場合は、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードした最新の Brother BRAdmin Professional ユーティリティを使用してください。
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウイルスソフトウェアを使用している場合は、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、有効に戻します。
- 現在の BRAdmin Light 画面にノード名が表示されます。プリンター内のプリントサーバーの初期設定ノード名は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。

BRAdmin Light を使用して IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを設定する

- 1 BRAdmin Light ユーティリティを起動します。
 - Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [BRAdmin Light] - [BRAdmin Light] をクリックします。
 - Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で、[BRAdmin Light] をクリックします。
 - Windows 10 場合
スタートボタンから、([すべてのアプリ] を選択し、) [Brother] 下の [BRAdmin Light] をクリックします。[BRAdmin Light] をクリックします。
- 2 BRAdmin Light は自動的に新しいデバイスを検索します。

プリンターのネットワーク設定を変更する

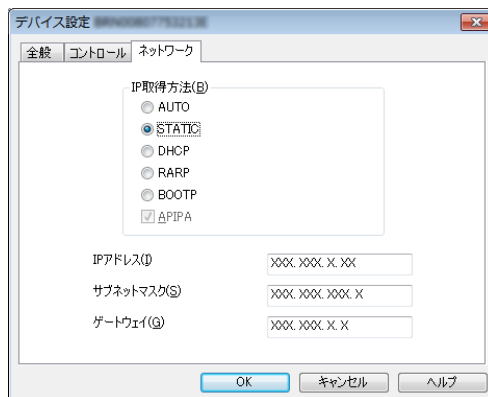
- 3 新しいデバイスをダブルクリックします。



メモ

DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用しない場合は、検索されたデバイスは「未設定」と表示されます。

- 4 「IP 取得方法」の「**STATIC**」を選択します。必要に応じて、プリントサーバーの「IP アドレス」、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]を入力します。



- 5 「**OK**」をクリックします。
- 6 IP アドレスが正しく設定されると、リストに本機のノード名やプリンター名が表示されます。

その他の管理ユーティリティ

プリンターは、BRAdmin Light ユーティリティ以外に次の管理ユーティリティで使えます。これらのユーティリティを使用して、ネットワーク設定を変更できます。

ウェブブラウザ（Web Based Management）を使用する

HTTP（ハイパーテキストトランスファープロトコル）を使用してプリントサーバーの設定を変更できます。（「ウェブブラウザを使用して本機を設定する」（123 ページ）をご覧ください。）

BRAdmin Professional ユーティリティを使用する

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続された本製品の管理をより詳細に行うためのユーティリティです。このユーティリティは、お使いのネットワーク上にある本製品を検索し、Windows のエクスプローラー形式画面に機器の状態を表示します。各機器の状態を分かりやすく表示させるため、画面上の色は変更されます。



メモ

- 弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから BRAdmin Professional 3 ユーティリティの最新版をダウンロードします。
 - BRAdmin Professional で表示される本製品のお買い上げ時のノード名は、[BRWxxxxxxxxxxxx] となっています。（「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。）
 - Windows ファイアウォール、アンチスパイウェアまたはアンチウイルスアプリケーションのファイアウォール機能を使用している場合、それらを一時的に無効にします。インストールが完了し、印刷等が可能であることを確認したら、ソフトウェアの指示に従ってそれらを有効に戻します。
-

概要

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本機を管理することができます。

- 本機のステータス情報
- TCP/IP などのネットワーク設定変更
- 本機とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- ネットワークと本機の詳細設定



メモ

Microsoft® Internet Explorer® 7.0 以降または Firefox® 25.0.1 以降を推奨します。

いずれのブラウザを使用している場合でも、JavaScript およびクッキーが常に有効であることを確認してください。

本機とパソコンが有効な IP アドレスを割り当てられ、TCP/IP プロトコルによってネットワーク接続されていることを確認してください。

ウェブブラウザを使用して本機を設定する

HTTP (ハイパーテキスト転送プロトコル) を使用し、プリントサーバーの設定を変更できます。

- 1 ウェブブラウザのアドレス欄に、「http://printer_ip_address/」と入力します。
(「printer_ip_address/」はご使用になる本機の IP アドレスです。)

■ 例 (プリンターの IP アドレスが 192.168.1.2. の場合)

http://192.168.1.2/



メモ

ホストファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機に割り当てた名前を入力します。本機は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本機の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンター設定一覧に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。初期設定では、「BRWxxxxxxxxxxx」と表示されます。「xxxxxxxxxxx」はイーサネットアドレスです。

- 2 以下の手順でプリントサーバー設定を変更できます。



メモ

パスワードを設定する

ウェブブラウザへの不正アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することを推奨します。

- 1 [ネットワーク管理者] をクリックします。
- 2 任意のパスワードを入力します (32 文字まで)。
- 3 [新しいパスワードの確認] ボックスにパスワードを再入力します。
- 4 [OK] をクリックします。
次回ウェブブラウザにアクセスするときは、[ログイン] ボックスにパスワードを入力し、→ をクリックします。
設定後、→ をクリックしログアウトします。

ログインパスワードを設定していない場合は、プリンターのウェブページの [パスワードを設定してください] をクリックすると、パスワードを設定できます。



付録

製品仕様	125
困ったときは	127
サポートされるプロトコルとセキュリティ機能	137
ネットワーク用語および情報	138

13 製品仕様

モデル名	RJ-2150	RJ-2140	RJ-2050	RJ-2030
印刷				
印刷方式	感熱方式			
印字解像度	203 dpi			
印刷速度（ご使用の用紙によって異なります。）	最高速度 152 mm/ 秒 (弊社標準環境下)			
最大印字幅	54 mm			
最大印字長	1 m			
最小印字長	12.7 mm			
本体サイズ				
重量	充電電池付きプリンター： 約 545 g		充電電池付きプリンター： 約 465 g	
寸法	約 100（奥行き）×151（幅） × 73（高さ）mm		約 100（奥行き）× 122（幅） × 57（高さ）mm	
インターフェイス				
USB	USB Ver.2.0 Full Speed 準拠（ミニ B タイプ）			
Bluetooth	Ver 2.1 + EDR サポートされている プロファイル： SPP、OPP、BIP、 HCRP サポートされてい るプロトコル： iAP	—	Ver 2.1 + EDR サポートされてい るプロファイル： SPP、OPP、BIP、 HCRP サポートされてい るプロトコル： iAP	Ver 2.1 + EDR サポートされてい るプロファイル： SPP、OPP、BIP、 HCRP
無線 LAN	IEEE802.11g/n（Wireless Direct） IEEE802.11b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE802.11b/g/n（アドホックモード） ²			—
環境				
使用温度	使用時：-10℃～50℃ 充電時：0℃～40℃			
使用湿度	10～90%（結露なきこと、最高湿球温度：27℃）			
保管温度	-20℃～60℃			
保管湿度	10～90%（結露なきこと、最高湿球温度：45℃）			

モデル名	RJ-2150	RJ-2140	RJ-2050	RJ-2030
電源				
電池	リチウムイオン充電電池（Li-ion 充電電池）：7.2V			
アダプター（別売品）	AC アダプター（15V）			
カーアダプター（別売品）	シガレットライターカーアダプター（12VDC）			
印刷可能枚数	6400 枚 ※ 弊社の印刷テストデータ＜51×25.4 mm、印字率 13 %＞を使用し、温度 23℃の環境下にて満充電状態の新品リチウムイオン充電電池を用いて USB 接続で連続印刷した場合			
充電時間	3 時間 （プリンターをオフにして、新しいリチウムイオン充電地を使用し、23℃で充電した場合）			
用紙仕様				
用紙の種類	レシート用紙、ラベル		レシート用紙、ラベル ¹	
用紙幅	25.4 mm ～ 58 mm		58 mm	
ラベル間空きスペース	3 mm 以上		－	
用紙厚さ	レシート用紙：0.058 mm ～ 0.090 mm ラベル：0.080 mm ～ 0.170 mm ¹			
ロール外径（最大）	60 mm		40 mm	
コア径（最小）	レシート用紙、ラベル：10.2 mm		レシート用紙、ラベル ¹ ：10.2 mm	
用紙センサー	透過型、反射型		反射型	
対応するオペレーションシステム				
ソフトウェアの更新リストについては、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) をご覧ください。				

¹ RJ-2050/2030 : 剥離紙裏面に黒マークがある場合のみ

² アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります

14 困ったときは

概要

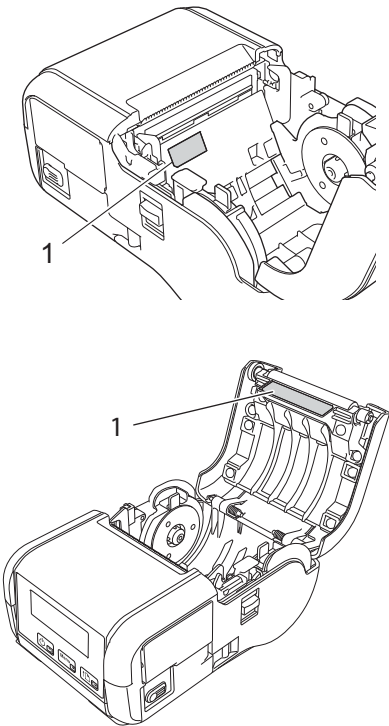
本章では、プリンターの使用時によくある問題を解決する方法について説明します。プリンターに問題がある場合、まず、次の作業を正しく実行したことを確認してください。

- 充電電池を正しく取り付けていますか？（「リチウムイオン充電電池を取り付ける」（6 ページ）をご覧ください。）
- すべての保護パッケージが本機から取り外されていますか？
- 正しいプリンタードライバーを選択してインストールしていますか？（「プリンタードライバーとアプリケーションをインストールする（パソコンを使用する場合）」（21 ページ）をご覧ください。）
- 本機をパソコンまたは携帯端末に接続していますか？（「本機とパソコンまたはモバイル端末を接続する」（22 ページ）をご覧ください。）
- ロール紙カバーが完全にしまっていますか？
- 用紙を正しくセットしていますか？（「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。）

まだ問題が解決しない場合、本章の困ったときの対処方法をお読みください。本章を読んだ後でも問題が解決しない場合、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

印刷の問題

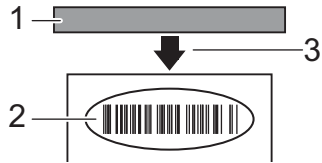
問題	解決方法
印刷できない、または印刷エラーになる。	■ ケーブルが外れていませんか（USB ケーブルを使用している場合）？ ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。 ■ 用紙が正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙を取り外してセットしなおしてください。 （「用紙を取り外す」（16 ページ）または「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。） ■ 用紙を使い切っていませんか？ 使い切っている場合は、新しい用紙をセットしてください。 ■ ロール紙カバーが開いていませんか？ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。 ■ 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ このような場合は本機の電源を切り、再度電源を入れてください。それでも問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。 ■ 用紙幅ガイドが用紙から離れていませんか？（RJ-2150/2140 のみ） 用紙幅ガイドを用紙の幅に合わせてください。 （「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。）
用紙送りされない。	■ ロールーにほこりや汚れが溜まり、ロールーの回転を妨げていませんか？ ロールーを掃除してください。（「ロールーのお手入れ」（76 ページ）をご覧ください。） ■ 用紙の排出経路に障害物がないことを確認してください。 ■ 用紙を一旦取り外して、正しくセットしなおしてください。 （「用紙を取り外す」（16 ページ）または「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。） ■ ロール紙カバーがきちんと閉じているか確認してください。
断続的に用紙送りされる。	■ 本機のロール紙カバーを開けてください。 ■ （電源） ボタンを押して、印刷ジョブをキャンセルしてください。 ■ 本機の電源を切ってください。

問題	解決方法
ラベルとラベルの間で停止しない。	■ 用紙情報が正しく入力されているかどうかを確認してください。用紙情報はプリンター設定ツールの「用紙サイズ設定」で設定できます。 ■ センサーが汚れていないか確認してください。センサーが汚れている場合はセンサーを乾いた綿棒で拭いてください。  1 用紙センサー ■ センサーを遮断しているものがないかを確認してください。

問題	解決方法
USB ケーブル経由で印刷すると、本機がたびたび一時停止した後、印刷を継続する。	本機が連続印刷に設定されていますか？ その場合は、印刷モードをバッファ印刷に設定してください。 Windows Vista/Windows Server 2008 の場合 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] からプリンタープロパティを開き、設定を変更するプリンターをクリックし、[印刷設定の選択] を選択します。[その他の設定] タブをクリックし、[一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。) Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 [デバイスとプリンター] から、プリンタープロパティを開き、設定を変更するプリンターを右クリックし、[印刷設定] を選択します。[その他の設定] タブをクリックし、[一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。 Windows 10 の場合 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] からプリンタープロパティを開き、設定を変更するプリンターを右クリックし、[印刷設定] を選択します。 [その他の設定] タブをクリックし、オプション [一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。
用紙の頭出しができない。エラーが起きる。	紙送りエラーが出る場合は、プリンター設定ツールの [用紙サイズ設定] を使用して、本機に正しい用紙サイズを指定してください。

印刷結果の問題

問題	解決方法
印刷した用紙に筋が入る。文字品質が低い。用紙が正しく送られない。	プリントヘッドやローラーが汚れていませんか？ プリントヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーからのほこりや汚れがプリントヘッドに溜まる場合があります。このような場合は、ローラーを掃除してください（「ローラーのお手入れ」（76 ページ）をご覧ください）。
印字品質が低い、印刷に白筋が入る。	■ プリントヘッドまたはローラーにほこりや汚れが溜まり、ローラーの回転を妨げていませんか？ このような場合は、プリントヘッドまたはローラーを掃除してください（「プリントヘッドのお手入れ」（76 ページ）と「ローラーのお手入れ」（76 ページ）をご覧ください）。 ■ 印刷濃度を調整します。印刷濃度は、プリンター設定ツールで調整できます。

問題	解決方法
印刷されたバーコードが読めない。	■ 以下のように、バーコードがプリントヘッドと並ぶようにセットしてください。  1 プリントヘッド 2 バーコード 3 印刷の向き ■ 他のスキャナーを試してください。 ■ [印刷速度] をより遅いオプションに設定します。印刷速度は、プリンター設定ツールで設定できます。（「本体設定」(51 ページ) をご覧ください。） ■ [印刷の濃さ] を調整してください。印刷濃度は、プリンター設定ツールで調整できます。（「本体設定」(51 ページ) をご覧ください。） ■ 本機は、バーコードラベルの作成専用には設計されていません。バーコードリーダーがバーコードラベルを読み込めることを必ず確認してください。

プリンターの問題

問題	解決方法
LED 表示ランプまたは液晶ディスプレイが点灯しない。	■ 充電池が正しく挿入されていますか？ 充電池が正しく挿入されていることを確認してください。正しく挿入されている場合は、十分な充電池残量があることを確認してください。 ■ 上記を確認しても、LED 表示ランプまたは液晶ディスプレイが点灯しない場合は、販売店にお問い合わせください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	■ 正しいポートが選択されていますか？ 正しいポートが選択されているか確認してください。 ■ 本機がクーリングモードになっていませんか？ 液晶ディスプレイに「クーリング中」とメッセージが表示されます。 表示ランプの点滅が停止するまで待ち、再度印刷してください。 ■ 他のユーザーがネットワーク経由で印刷していませんか？ 他のユーザーが大量のデータを印刷している場合、プリンターは処理中の印刷が終了するまで新しい印刷ジョブを受け付けることができません。 その場合は、他の印刷ジョブの終了後に、印刷ジョブを再度実行してください。

問題	解決方法
プリンターをリセットしたい / パソコンから転送したデータを削除したい。	本機をリセットするには、次の手順にしたがってください。 1  (電源) ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。 2  (フィード) ボタンを長押しし、 (電源) ボタンを約 3 秒間押します。 3  (電源) ボタンを押しながら、 (フィード) ボタンを 6 回押します。 4  (電源) ボタンを離します。 パソコンから転送したデータがすべて削除され、プリンターはお買い上げいただいたときの状態にもどります。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	本機の電源が入っていることを確認して、 (電源) ボタンを押します。
プリントヘッドまたはモーターまたはリチウムイオン充電池が高温になりました。	プリントヘッドまたはモーターまたはリチウムイオン充電池が高温になりました。 プリントヘッド： プリントヘッドが高温になると、意図しない印刷が実行される場合があります。印字濃度が濃い文書を多量に印刷すると、この現象が起こる場合があります。 本機は印刷を一旦停止します。プリントヘッドがクールダウンすると、印刷を再開します。 この現象の発生頻度の軽減や回避するためには、印字濃度を薄く設定し、黒く印字する部分を減らしてください（例えば、文書から背景の陰影やグラフの色などを省きます）。また、本機は、密閉された場所ではなく十分に換気された環境でご使用ください。 モーター・リチウムイオン充電池： 本機を連続して使用しないでください。連続使用すると、モーター・リチウムイオン充電池が過熱します。この場合、本機は印刷を停止します。モーターまたはリチウムイオン充電池がクールダウンされると、印刷を再開します。  メモ 高所（3,000m 以上）など気圧の低い環境では、本機のクールダウンに使用する空気が薄いため、このような現象が発生しやすくなります。
LED 表示ランプがブートモード中を示す。	ファームウェアの更新中に充電池を本体から取り外すと、本機はブートモードで再起動します。 販売店またはブラザーコールセンターにお問い合わせください。

ネットワーク設定の問題

問題	解決方法
セキュリティーソフトウェアを使用している。	■ インストーラーダイアログボックスの設定を確認してください。 ■ プリンターインストール時にセキュリティーソフトウェアの警告メッセージが表示された場合、アクセスを許可してください。
セキュリティー設定（SSID/ネットワークキー）が正しくない。	正しいセキュリティー設定を確認し、正しく選択してください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカー名またはモデル番号は、デフォルトセキュリティー設定として使用できます。 ■ セキュリティー設定を特定する詳細は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに添付されているマニュアルをご覧ください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカーにお問い合わせください。または、インターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Wi-Fi、Bluetooth での接続ができない。	■ Wi-Fi 設定時には、本機と接続する機器の間が約 1 メートルになるように設置してください。
Wi-Fi、Bluetooth での印刷ができない。	■ 障害物のない場所に本機を移動してください。 ■ 本機または無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに、ワイヤレスパソコン、Bluetooth 搭載機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話またはその他のデバイスがある場合には、それらの機器を本機または無線 LAN アクセスポイント/ルーターから遠ざけてください。
MAC アドレスのフィルタリング機能を使用している。	■ 本体設定情報を印刷すると、MAC アドレスを確認できます。プリンターの  (フィード) ボタンを長押しして、本体設定情報を印刷してください。 ■ プリンターの MAC アドレスを接続許可対象として設定してください。設定方法は無線 LAN アクセスポイント/ルーターのマニュアルを参照ください。
無線 LAN アクセスポイント/ルーターがステルスモードになっている（SSID をブロードキャストしていない）。	■ インストール時、またはプリンター設定ツールで [通信設定] を使用する場合は、正しい SSID 名を入力する必要があります。 ■ 無線 LAN アクセスポイント/ルーターのマニュアルで SSID 名を確認し、無線ネットワークセットアップを再構成してください。
本機がネットワークに正しく接続されていない。	液晶ディスプレイで無線 LAN アイコンを確認してください。  : ネットワークは正しく接続されています。  : 本機がネットワークを検索中です。 アイコン表示無し : 無線ネットワーク設定が無効になっています。
上記のすべての項目を確認し、試したが、それでも無線 LAN の設定を完了できない場合。	本機の電源を切り、再度電源を入れてください。その後、Wi-Fi 設定を再度構成してください。

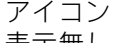
ネットワーク経由で印刷できない インストール完了後、ネットワーク上で本機が見つからない

問題	解決方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	「セキュリティソフトウェアの問題」(135 ページ) をご覧ください。
本機に使用可能な IP アドレスが割り当てられていない。	■ IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。 お使いのパソコンと本機の IP アドレスおよびサブネットマスクがすべて正しく、また同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください ■ プリンター設定ツールの 【通信設定】 で、IP アドレス、サブネットマスク、およびその他のネットワーク設定を確認してください。 「プリンター設定ツール」(31 ページ) をご覧ください。
前回の印刷ジョブが失敗した。	■ 失敗した印刷ジョブがまだパソコンの印刷キューに残っている場合、削除してください。 Windows 7 の場合 、【デバイスとプリンター】、【プリンターと FAX】 からプリンターを選択します。プリンターのアイコンをダブルクリックし、【プリンター】 メニューで 【すべてのドキュメントの取り消し】 を選択します。
本機がネットワークに正しく接続されていない。	液晶ディスプレイで無線 LAN アイコンを確認してください。  : ネットワークは正しく接続されています。  : ネットワークは正しく接続されていません。  : 本機がネットワークを検索中です。 アイコン表示無し : 無線ネットワーク設定が無効になっています。
上記のすべての項目を確認し、試したが、それでも印刷できない場合。	プリンターのドライバーとソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。

セキュリティソフトウェアの問題

問題	解決方法
標準インストール中、BRAdmin Light のインストール中、または印刷時にセキュリティ警告ダイアログボックスが表示された場合にアクセスを許可するよう選択していない。	セキュリティ警告ダイアログボックスの受諾を選択していない場合、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能はアクセスを拒否することがあります。セキュリティソフトウェアによっては、セキュリティ警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックすることもあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧ください。メーカーに問い合わせてください。
Brother ネットワーク機能に必要なポート番号が正しくない。	ブラザーネットワーク機能では、次のポート番号を使用します。 ■ BRAdmin Light → ポート番号 161/ プロトコル UDP ポートの開き方について詳細は、セキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧ください。メーカーに問い合わせてください。

ネットワーク機器の操作を確認する

問題	解決方法
本機と無線 LAN アクセスポイント/ルーターがオンになっていない。	「概要」(127 ページ) のすべての項目を確認してください。
IP アドレスなどの本機のネットワーク設定がわからない。	プリンター設定ツールの [通信設定] を確認してください。 「プリンター設定ツール」(31 ページ) をご覧ください。
本機がネットワークに正しく接続されていない。	液晶ディスプレイで無線 LAN アイコンを確認してください。  : ネットワークは正しく接続されています。  : 本機がネットワークを検索中です。  : 無線ネットワーク設定が無効になっています。

本機のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因 / 解決方法
指定したテンプレートなし 選択し直してください	■ 指定した番号のテンプレートがありません。 正しい番号を指定してください。 ■ テンプレートを印刷するときに、指定したテンプレートデータが存在しないと、エラーランプが表示されます。
データベース検索失敗 再度実行してください	■ 指定した番号のデータベースがありません。 正しい番号を指定してください。 ■ リンクしているデータベースの検索に失敗すると、エラーランプが表示されます。

エラーメッセージ	原因 / 解決方法
用紙エラー 用紙状態をご確認ください	■ 正しい用紙がセットされていますか？ ダイカットサイズの正しい用紙（種類がダイカットラベルまたはロール紙など）がセットされていることを確認してください。 ■ 用紙が正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙を取り外して、セットしなおしてください。詳しくは、「用紙を取り外す」（16 ページ）または「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。 ■ 用紙幅ガイドが用紙の両側に接触していますか？（RJ-2150/2140 のみ） 用紙幅ガイドを用紙の幅に合わせてください。詳しくは、「用紙をセットする」（11 ページ）をご覧ください。 ■ 用紙を使い切っていませんか？ 使い切っている場合は、新しい用紙をセットしてください。
カバーを閉めてください	□ ロール紙カバーが開いていませんか？ □ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。
通信エラー データ／接続をご確認ください	■ データの転送に失敗しました。 .blf ファイルでテンプレートデータを送る ときに、ファイル内のモデル名が違っているとエラーランプが表示され ます。 ■ 無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されていませんか？ 無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されました。本機の電源を切り、 再度電源を入れてください。
WPS 失敗 再度実行してください	■ アクセスポイントを検索できませんでした。 ■ 接続を確立するアクセスポイントを特定できませんでした。
マストレージ操作失敗 電源をオフにしてください	本機がマストレージモードになっていませんか？ ファイルシステムが壊れたときや、マストレージのファイル进行处理してい る最中にファイルの処理を行うとエラーになります。電源を切ってくださ い。
電池残量なし 充電してください	充電電池の電池残量が少なくなっていないですか？ AC アダプターと電源コードを使用して、本機を電源コンセントに接続、ま たはカーアダプターを使用して、本機を電源コンセントに接続して充電電池を 充電します。
システムエラー XX 修理をご依頼ください	このエラーメッセージが表示される場合は、販売店にお問い合わせくださ い。
メモリー容量オーバー 不要なファイルを削除ください	■ 1m を超える印刷ジョブまたは互換性のないファイルは印刷できません。 ■ ユーザーのストレージ領域の容量を超過するデータが転送されると、エ ラーが表示されます。

インターフェイス	無線 LAN (RJ-2150/ 2140/2050 のみ)	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャーモード) IEEE 802.11b/g/n (アドホックモード) IEEE 802.11g/n (Wireless Direct)
ネットワーク (共通)	プロトコル (IPv4)	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), mDNS, WINS, NetBIOS name resolution, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, SNTP client, ICMP, LLNMR responder, SNMPv1/v2c
	プロトコル (IPv6)	NDP, RA, LPR/LPD, mDNS, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, ICMP, LLNMR responder, SNMPv1/v2c
ネットワーク (セキュリティ)	無線 LAN	WEP 64/128 bit、WPA/WPA2-PSK、LEAP、EAP-FAST、PEAP、 EAP-TTLS、EAP-TLS

ネットワーク接続およびプロトコルの種類

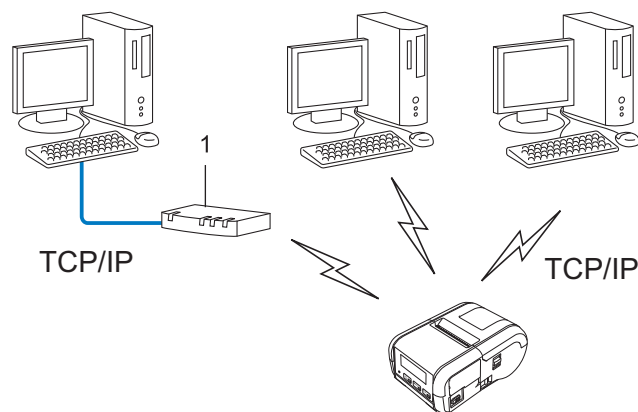
一般的なネットワーク構築および共通用語に加え、プリンターの高度なネットワーク機能について基本情報を提供します。

サポートされるプロトコルとネットワーク機能は、使用するモデルによって異なります。

ネットワーク接続方法について

TCP/IP を使用したピアツーピア印刷

ピアツーピア接続では、各パソコンがお使いのプリンターと直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。

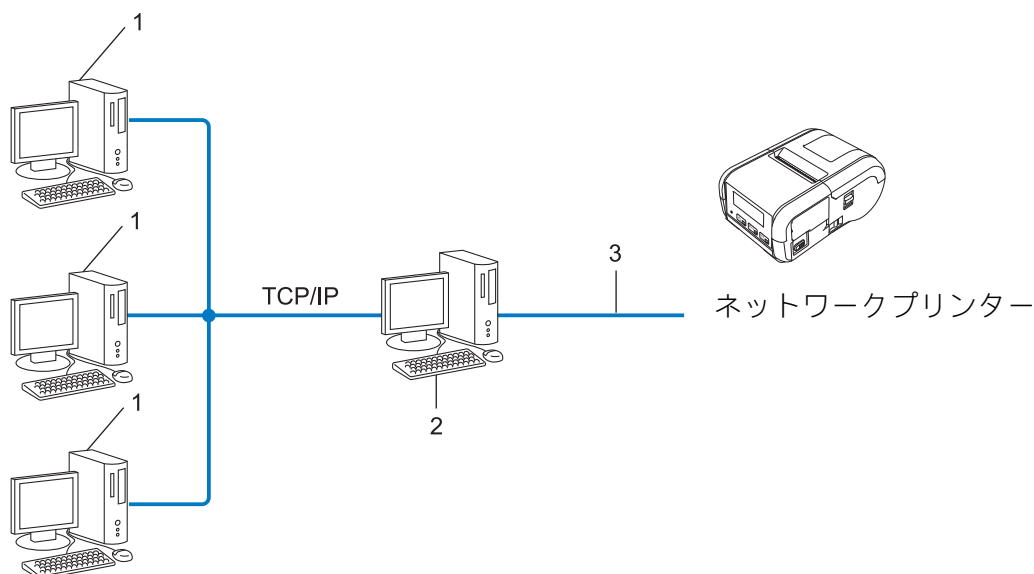


1 ルーター

- パソコン 2、3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をお勧めします。「ネットワーク共有印刷」(139 ページ) をご覧ください。
- 各パソコンに TCP/IP プロトコルの設定を行います。
- お使いのプリンターにも IP アドレスを設定する必要があります。
- ルーターをご使用の場合は、パソコンとプリンターにゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各パソコンは中央制御されたパソコンを介してデータを送信します。この種類のパソコンは、通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。すべての印刷ジョブの印刷を管理します。



- 1 クライアントパソコン
- 2 「サーバー」または「プリントサーバー」とも言われます。
- 3 TCP/IP または USB

- 大規模なネットワークには、ネットワーク共有型の印刷環境を推奨します。
- 「サーバー」または「プリントサーバー」は TCP/IP 印刷プロトコルを使用する必要があります。
- サーバーまたはプリントサーバーに USB を経由して接続する場合以外は、お使いのプリンターに適切な IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワークの設定について

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて

ネットワーク型 TCP/IP 環境でプリンターを使用するには、IP アドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。プリントサーバーに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピュータと同じ論理ネットワーク上にあることが必要です。同じ論理ネットワークにない場合は、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。

IP アドレスとは

IP アドレスとは、ネットワークに接続している各機器の住所に当たるものです。IP アドレスは、0 ～ 254 までの数字を「. (ピリオド)」で 4 つに区切って「192.168.1.3」のように表現します。

■ 例) ローカルネットワークでは、通常は最後の下線部の数字（ホストアドレス部）を変更します。

- 192.168.1.1
- 192.168.1.2
- 192.168.1.3

IP アドレスをプリントサーバーに割り当てる方法

ネットワークに DHCP/BOOTP/RARP サーバーがある場合は、プリントサーバーはそのサーバーから自動的に IP アドレスを取得します。



メモ

小規模なネットワークでは、DHCP サーバーはルーターも兼ねる場合もあります。

DHCP/BOOTP/RARP サーバーがない場合は、Automatic Private IP Addressing (APIPA) プロトコルが 169.254.0.1 から 169.254.254.254 までの範囲で IP アドレスを自動的に割り当てます。サブネットマスクは自動的に 255.255.0.0 に設定され、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に設定されます。

デフォルトでは、APIPA が有効になっています。APIPA プロトコルを無効にする場合は、BRAdmin Light またはウェブブラウザを使用します。

サブネットマスクとは

サブネットマスクはネットワーク通信を制限します。

■ 例) パソコン 1 はパソコン 2 と通信できます。

- パソコン 1

IP アドレス : 192.168.1.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

- パソコン 2

IP アドレス : 192.168.1.3

サブネットマスク : 255.255.255.0

サブネットマスクに 0 が含まれている場合、アドレスのその部分に関しては、通信する機器を制限しないことを意味します。上記の例では、192.168.1.x. (x は 0 ~ 254 の数字) の IP アドレスが割り当てられたすべての機器と通信できることを表しています。

ゲートウェイ (ルーター) とは

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として動作し、ネットワークを介して伝送されたデータを正確な宛先に送信するネットワークポイントです。ルーターはゲートウェイに到着したデータの宛先を識別します。宛先が外部ネットワークにある場合、ルーターはデータを外部ネットワークに伝送します。ネットワークが他のネットワークと通信する場合、ゲートウェイ IP アドレスを設定する必要があります。ゲートウェイ IP アドレスが不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線ネットワークの用語と概念

セキュリティ用語

認証と暗号化

ほとんどの無線ネットワークはある種のセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定は認証（装置が自らをネットワークに特定する方法）と暗号化（データがネットワークで伝送されたとき暗号化する方法）を定義します。**無線プリンターを構成する場合、これらのオプションを正しく指定しないと、無線ネットワークに接続できなくなります。**そのため、これらのオプションを構成する場合は注意が必要です。

個人無線ネットワーク用の認証と暗号化の方式

個人無線ネットワークは、たとえば、自宅で IEEE 802.1x をサポートしない無線ネットワークでプリンターを使用する小規模なネットワークです。

IEEE 802.1x をサポートする無線ネットワークでプリンターを使用する場合は、「エンタープライズ（無線ネットワーク）モードでの認証方式と暗号化について」（144 ページ）をご覧ください。

認証方式

■ オープンシステム

無線装置は認証なしにネットワークにアクセスできます。

■ 共有キー

無線ネットワークにアクセスするすべての装置が、既定の未公開キーを共有しています。

ブラザー無線プリンターは WEP キーを既定キーとして使用します。

■ WPA-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK）を有効にします。WPA-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP を使用して無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA2-PSK）を有効にします。WPA2-PSK は、WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA/WPA2-PSK

Wireless Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK/WPA2-PSK）を有効にします。

WPA-PSK/WPA2-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP または WPA-PSK および WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して、無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

暗号化方式

■ なし

暗号化方式は使用しません。

■ WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) を使用すると、データをセキュアキーで送受信します。

■ TKIP

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、およびリキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard (AES) は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

[接続モード] を [アドホック] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP

[接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP
共有キー認証	WEP
WPA-PSK	TKIP
WPA2-PSK	AES
WPA/WPA2-PSK	TKIP
	AES

ネットワークキー

■ オープンシステム /WEP との共有キー

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値で、ASCII または 16 進形式で入力する必要があります。

- 64 (40) ビット ASCII :

「WSLAN」など 5 文字のテキスト文字を使用します (大文字と小文字を区別します。)

- 64 (40) ビット 16 進数 :

「71f2234aba」など、10 桁の 16 進数データを使用します。

- 128 (104) ビット ASCII :

「Wirelesscomms」など 13 文字のテキスト文字を使用します (大文字と小文字を区別します。)

- 128 (104) ビット 16 進数 :

「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」など、26 桁の 16 進数データを使用します。

■ WPA-PSK/WPA2-PSK と TKIP または AES、AES による WPA2

長さが 8 文字以上 63 文字までの Pre-Shared Key (PSK) を使用します。

エンタープライズ（無線ネットワーク）モードでの認証方式と暗号化について

エンタープライズモードとは、例えば、大規模な企業などの大規模な無線 LAN で、IEEE802.1x 認証方式をサポートしているモードです。IEEE802.1x 認証方式をサポートしている無線ネットワークで本機を使用する場合は、次の認証方式と暗号化方式を使用することができます。

認証方式

■ LEAP（無線ネットワーク用）

Cisco LEAP（Light Extensible Authentication Protocol）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワードを使用します。

■ EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunnel）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用して、トンネル型の認証処理を実行します。

プリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

■ PEAP

PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）は、Microsoft Corporation、Cisco Systems と RSA Security が開発しました。PEAP は、ユーザー ID とパスワードを送信するためにクライアントと認証サーバー間に、暗号化した SSL（Secure Sockets Layer）/TLS（Transport Layer Security）トンネルを作成します。PEAP はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

プリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

■ EAP-TTLS

EAP-TTLS（Extensible Authentication Protocol Tunnelled Transport Layer Security）は Funk Software と Certicom が開発しました。EAP-TTLS は、ユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に PEAP と同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

プリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

■ EAP-TLS

EAP-TLS（Extensible Authentication Protocol Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーの両方でデジタル証明書の認証が必要です。

暗号化方式

■ TKIP

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、リキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard (AES) は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

■ CKIP

Cisco Systems 社の LEAP 用のオリジナル Key Integrity Protocol

[接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP
	AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-FAST/GTC	TKIP
	AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
PEAP/GTC	TKIP
	AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP
	AES
EAP-TLS	TKIP
	AES

ユーザー ID およびパスワード

次のセキュリティ方式は長さが 64 文字以下のユーザー ID と 32 文字以下のパスワードをサポートします。

- LEAP
- EAP-FAST
- PEAP
- EAP-TTLS
- EAP-TLS (ユーザー ID 用)

brother